

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 **Z840DR**

シリアルNo.

お買い上げ日

年 月 日

お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。

保 証 期 間

対象部分 機器本体(消耗部品は除く)

お買い上げの日から3年

お客様

お名前
ご住所

〒

様

TEL ()

販売店

店名・住所

上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お持ちください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

- ※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2280-C

ドライブレコーダー付レーザー&レーダー探知機

Z840DR

取扱説明書

12V車専用

ダウンロード対応



このたびはユピテル製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



安心してお使いいただくために、**必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。**(● P.15)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、**必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。**



電源ONの状態カメラユニット用SDカードの抜き差しを行わないでください。カメラユニット用SDカード破損の原因となります。**必ず電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認し、カメラユニット用SDカードの抜き差しを行ってください。**

※ 本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」「SDカードアダプター」を「SDカード」と表記しています。

はじめに

安全上のご注意	6
使用上のご注意	11
もしも事故が起きたら…	14
SDカードをフォーマットする	15

基礎知識

各部の名称と働きについて	16
1. 付属品	19
2. 別売品	20
3. 付属品・別売品の追加購入について	21
本機について	22
1. 測位可能な衛星の種類	22
2. GPSの測位機能について	22
3. 測位アナウンス	23
4. リラックスチャイム	23
5. 時報	23
6. 受信可能な電波	23
7. トンネル内の警報・警告について	24
8. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)…	24
取締のミニ知識	25
1. スピード違反の取締方法	25
2. 取締レーダー波について	25
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信 しにくい場合	26
4. ステルス型取締について	26

オービス・取締系 & コンテンツ データ更新について	26
-------------------------------------	----

公開取締情報について	27
------------------	----

録画について	28
--------------	----

1. 常時録画	32
2. 駐車監視録画	32
3. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、 DMSわき見記録、DMS居眠り記録)	33
4. 駐車監視イベント記録(Gセンサー記録) …	35

上書きモードについて	36
------------------	----

駐車監視録画について	38
------------------	----

1. 駐車監視録画する	39
2. 駐車監視キャンセルエリアを登録/解除する …	41

DMS(ドライバーモニタリングシステム) について	42
------------------------------------	----

1. キャリブレーション	43
2. わき見警告	44
3. 居眠り警告	44

メンテナンスについて	45
------------------	----

取り付け

取り付けについて	46
----------------	----

ディスプレイユニットの取り付け …	47
-------------------------	----

A. ダッシュボードに取り付ける ①	48
B. ダッシュボードに取り付ける ②	51
C. ダッシュボードに取り付ける ③	52
D. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける …	53

カメラユニットの取り付け	55
--------------------	----

1. フロントカメラユニットを取り付ける …	56
2. リアカメラユニット(OP-CM203)を取り付ける …	59

アンテナユニットの取り付け	62
---------------------	----

A. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける …	63
B. ダッシュボードに取り付ける	65

DMSユニット(OP-EWS3)の取り付け…	66
------------------------------	----

A. フロントガラスに取り付ける	69
B. 純正ルームミラーに取り付ける	70

ジャンクションユニットの取り付け…	73
-------------------------	----

電源コードの配線	74
----------------	----

A. 電源直結コードによる配線	75
B. マルチバッテリー(OP-MB4000)による配線 …	76
C. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線…	79
D. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線…	80

配線処理について	81
----------------	----

操作方法

電源 ON/OFFについて	82
---------------------	----

1. 電源 ON する	82
2. 電源 OFF する	83

操作方法	84
------------	----

1. ジャンプウィンドウについて	84
2. 音量の調整について	84
3. 待受変更について	84
4. 公開取締情報の表示について	85

5. 警報音のミュートについて	85
6. 録画操作について	86
7. ワンタッチ記録について	86
8. 画面切替(ライブビュー)について	86

ディスプレイユニット用 SD カードの 取り外し / 装着のしかた 87

1. SD カードを本体から取り外す	87
2. SD カードを本体へ装着する	87

カメラユニット用 SD カードの 取り外し / 装着のしかた 88

1. SD カードをカメラユニットから取り外す	88
2. SD カードをカメラユニットへ装着する	88

登録について 89

マイエリアについて 91

マイキャンセルエリアについて 92

ピン登録について 93

ピン投稿について 94

1. ピンを投稿する	94
2. ピンを削除投稿する	97

ログ機能について 98

1. 走行データを記録する	99
2. 走行データをコピーする	99
3. 走行軌跡を確認する	100

カスタムについて 101

1. お好みの音源でお知らせする	101
2. お好みの画像を表示する	102
3. お好みの画像をオープニングで表示する	103
4. 待受画面に背景を表示する	104

ディスプレイユニットで再生する 105

1. 再生モードを表示する	105
2. 録画ファイルを再生する	105
3. 録画を再開する	108

録画ファイルの保護について 109

録画ファイルの削除について 110

1. 個別に削除する	110
2. フォルダ別に削除する	111

待受について

待受画面について 112

待受画面の種類について 114

項目 / 配置変更のしかた 120

1. 表示項目を変更する	120
2. 項目設定一覧	121
3. 配置を変更する	139
4. 配置項目一覧	140

警報について

警報画面について 142

1. 警報画面について	142
2. メッセージウィンドウについて	144
3. ジングルについて	145
4. Wアラーム(ダブルアラーム)について	145
5. オートクワイアットについて	145

警報ボイスについて 146

1. GPSターゲット 58 識別について	146
2. 左右方位認識ボイスについて	150
3. オービスロケーションガイドについて	150

レーザ式取締について 151

取締レーダー波について 152

1. レーダー波 4 識別 (iDSP) について	152
2. 後方受信について	152
3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)について	152

無線について 153

1. 無線 14 バンド受信機能	153
2. ベストパートナー 6 識別	155
3. 無線警報音について	155

設定について

設定変更のしかた 156

設定項目について 157

1. 警報設定について	157
2. マップ・待受設定について	160
3. 画面・LED 設定について	162
4. 音声設定について	163
5. システム設定について	166
6. 外部機器設定について	167

警報モードについて 171

マニュアル個別設定について 174

リマインダーについて 179

OBD について 181

1. 満タンスタートをする	181
---------------------	-----

2. 満タン補正をする	182
3. 係数補正をする	183

WLAN設定(無線LAN)について ...184

1. 新規登録(検索)	184
2. 自動登録(プッシュ認証)	185
3. My Yupiteru設定	186

データのダウンロードについて187

1. 自動でダウンロードする	187
2. 手動でデータをダウンロードする	188

Googleカレンダーの準備190

1. Googleカレンダーを作成する	190
2. Googleアカウントのセキュリティを設定する	192
3. Googleカレンダー設定をする	195

Googleカレンダーへ登録する197

1. 自動でGoogleカレンダーに 月間記録データを登録する	197
2. 手動でGoogleカレンダーに 月間記録データを登録する	198

ファームウェアの更新について199

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する200

1. 準備する	200
2. 専用ビューアソフトを起動する	200
3. 録画ファイルを再生する	200
4. 専用ビューアソフトを終了する	201

専用ビューアソフト202

その他

録画ファイルの読み出しについて ...206

こんなときは208

故障かな?と思ったら212

動作一覧219

地図データ220

仕様221

カメラユニット用SDカード対応一覧表...224

1. 録画時間の目安	224
2. イベント記録の最大記録件数	225

アフターサービス223

保証書裏表紙

●重要事項●



必ず 1 ～ 2 週間に一度、本機でカメラユニット用 SD カードのフォーマットを行ってください。

なぜ SD カードのフォーマットが必要なのか…

カメラユニット用SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1 ～ 2 週間に一度カメラユニット用SDカードをフォーマット(● P.15)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル(保護したファイル含む)」も全て削除されます。

必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。

●SD カードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー(● P.208)が頻繁に起こる場合は、カメラユニット用SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SD カードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.227「アフターサービス」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

絵表示について

- ⚠ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

- ❌ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

- ❌ 本機を改造しないでください。

故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

- ⚠️ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。



- ❌ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

- ⚠️ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて：共通

⚠️ 警告

- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。

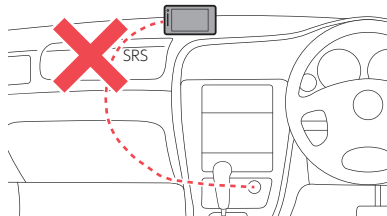
粘着力を弱め、本機が脱落するおそれがあります。

- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

- ❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

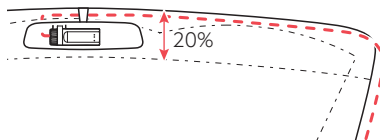


⚠ 注意

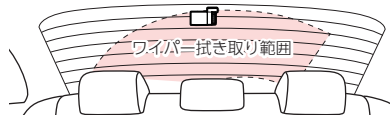
- ❗ **取り付けは確実に行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。
- ❗ **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。
- ❗ **接続部は確実に奥まで挿し込んでください。**
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ **本機は車外に取り付けしないでください。**
本機は防水構造ではありません。

●取り付けについて：フロントカメラユニット**⚠ 警告**

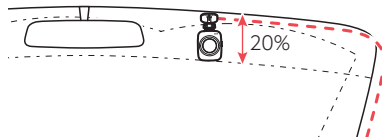
- ❗ **フロントガラスの上部20%以内に取り付けてください。**
※保安基準の改定によりフロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。

**●取り付けについて：リアカメラユニット (別売品)****⚠ 警告**

- ❗ **リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。**
- ❗ **リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。**
ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ❗ **リアカメラ用両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。**
- ❗ **リアカメラ用両面テープで取り付け前にディスプレイユニットで映像の確認をしてください。**
誤った方法で取り付けた場合、映像が反転します。

**●取り付けについて：DMSユニット (別売品)****⚠ 警告**

- ❗ **DMS フロントガラス取り付け用ブラケットで取り付ける場合は、フロントガラスの上部20%以内に取り付けてください。**



● OBDIIアダプター (別売品) について

⚠ 注意

- ❗ OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。



- ❗ お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

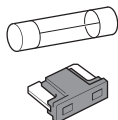
- ❗ 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

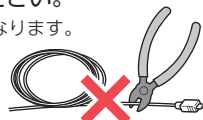


- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

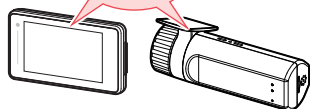
故障や感電の原因となります。



● SDカードについて

⚠ 注意

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFFを確認してから行ってください。



- ⚠ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ⊘ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

- ⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



●その他

⚠ 注意

- ❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源OFFしてください。

バッテリー上がりの原因となります。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為（スピード違反など）に関し、当社では補償いたしかねます。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ レーダー / レーザーアラームに関する注意

- ・ 走行環境や測定条件などにより、取締レーダー波 / レーザー光の探知距離が変わることがあります。
- ・ 狙い撃ちの取締機(ステルス型取締機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・ レーダー波を使用しない速度取締(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの周辺では、取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ・ 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの一部)
- ・ フロントガラス上部の色が付いた部分や、ドット部がある箇所は透過率が低下し受信に影響が出る可能性があるため取り付けは避けてください。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・ GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ 本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどの GPS ターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■ 無線 14 バンド受信機能に関する注意

- ・ カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、受信した音声聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・ カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は、はたらかしません。

■ 表示部に関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 取り付けに関する注意

- ・アンテナユニットは、GPS衛星からの電波やレーダー波/レーザー光を受信しやすいため、障害物や遮へい物の無い視界の良い場所で道路に対して水平且つ矢印(▲)が進行方向を向くようにして取り付けてください。
- ・アンテナユニットの矢印(▲)面が必ず上になるように取り付けてください。矢印(▲)面を下にした場合、GPSを受信できないことがあります。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ・ディスプレイユニットを道路に対して水平に、また進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを[照度センサ+衛星情報]にした場合にフレックスディマーが常時動作することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定を[衛星情報]にしてご使用ください。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 収録データに関する注意

- ・収録されているオービス・取締系&コンテンツデータおよび地図データは、製品製造時のデータとなります。
- ・制限速度は普通自動車に対する表示となります。
- ・本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。
- ・事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応していません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ 電源コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーをはがす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

■ ディスプレイユニット用 SDカードに関する注意

- ・付属のSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
- ・SDカードに保存した画像データや音楽データなどのデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ カメラユニット用SDカードに 関する注意

- ・付属のSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
- ・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントロールから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・別売品のSDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ DMSユニット(別売品)の 取り扱いに関する注意

- ・本機は運転者の顔の向きと、まぶたの開閉を検知し警告を行う装置です。
- ・装置に頼った運転は行わないでください。
- ・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようになってください。
- ・周辺状況、個人差によりキャリブレーション範囲が低下する場合があります。
- ・安全運転のために、走行中は本機の位置調整を行わないでください。
- ・本機は精密電子機器のため、分解や改造は絶対に行わないでください。
- ・右左折時や駐車時の顔の動きを検知して、警告を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

■ DMSユニット(別売品)のフィル タリング機能に関する注意

- ・本機はGPSで車速を測定し、車速が約10km/h未満の場合、警告しないようにフィルタリングする機能を搭載しております。車速が約10km/h以上になるとフィルタリングを解除します。ただし、本機の電源ON後GPSが補足されるまでの間や、GPSを受信できない場所ではフィルタリング機能は動かないため、車速に関わらず警告を行う場合があります。

■ OBDIIアダプター(別売品)で 接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBDIIアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDIIコネクターへ本機のOBDIIアダプターを挿し込んでください。

もしも事故が起きたら…

事故発生



記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※ 事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
 ※ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

1

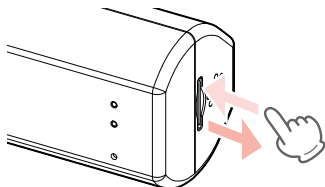
ディスプレイユニット背面の電源スイッチを OFF する



<ディスプレイユニット> <フロントカメラユニット>

2

カメラユニット用SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
 ※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。
 SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3

SDカードを保管する

<保管場所について>

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。



バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマット
するの？



- ・付属以外のSDカードを使用するとき。(初回)
- ・1～2週間に一度。(定期的)

※ 定期的にフォーマットをしない場合、エラーの原因になります。

※ フォーマットすると録画ファイル(保護したファイルを含む)は全て削除されるため、必要に応じてバックアップをしてください。

※ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

SDカードフォーマットの手順

1 車両を始動 (ACC ON) する

5 [はい] にタッチする

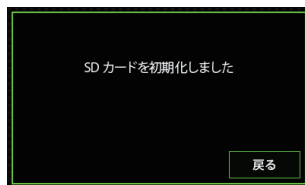
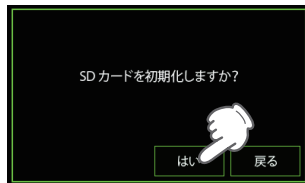
2 待受画面にタッチする



3 [DR 操作] にタッチする



4 [SD カードフォーマット] に
タッチする



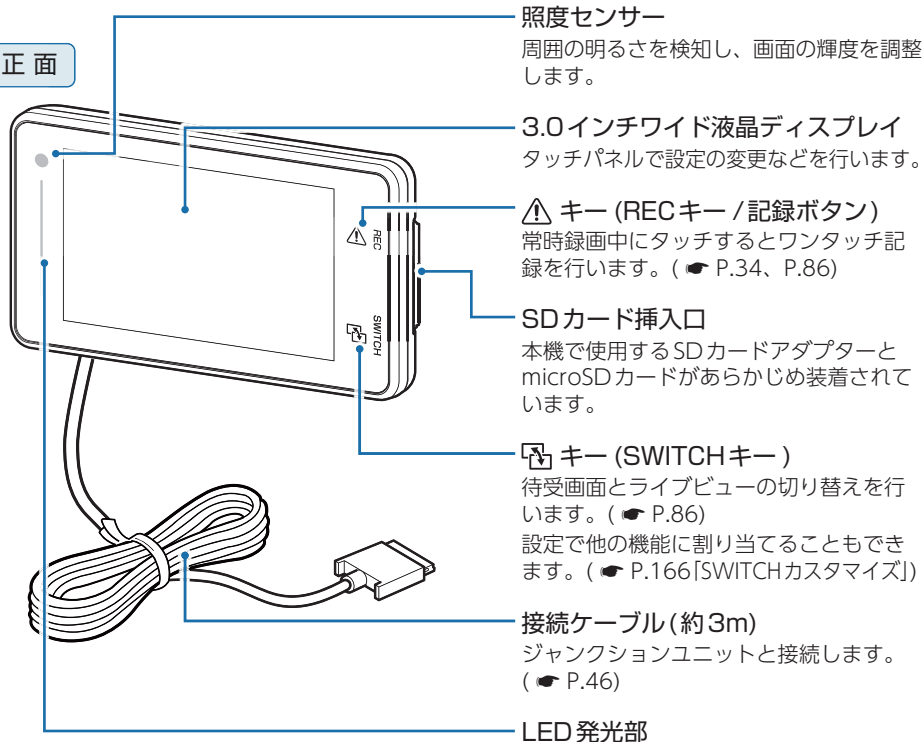
フォーマット完了後、『SDカードを初期化しました』と数秒表示して待受画面に戻り、自動で録画を開始します。

※ 自動で録画を開始しない場合は、手動で録画を開始してください。(▶ P.86)

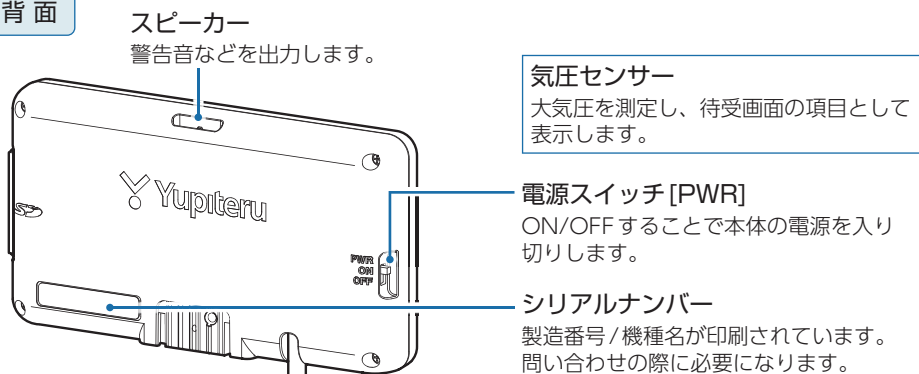
各部の名称と働きについて

■ ディスプレイユニット(本体)

正面

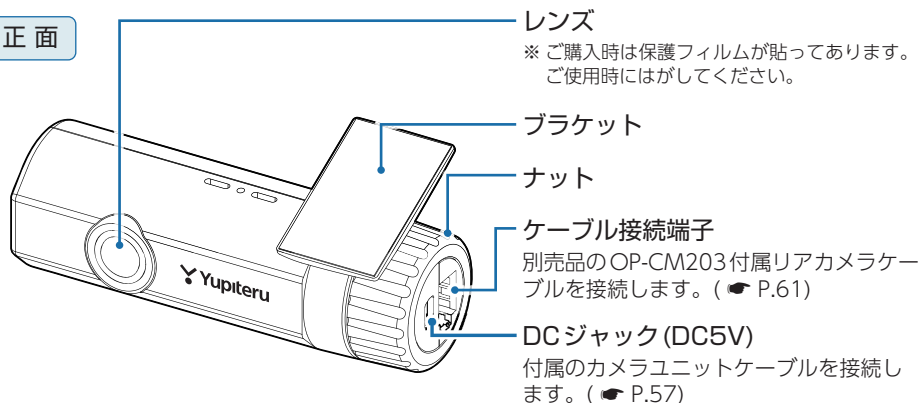


背面

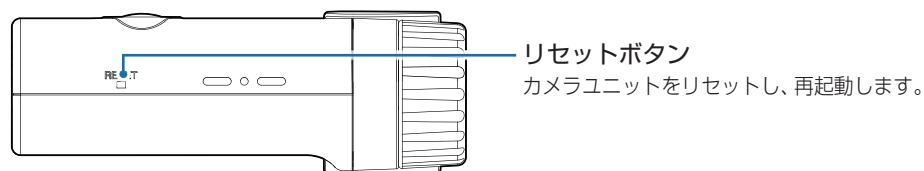


■ フロントカメラユニット

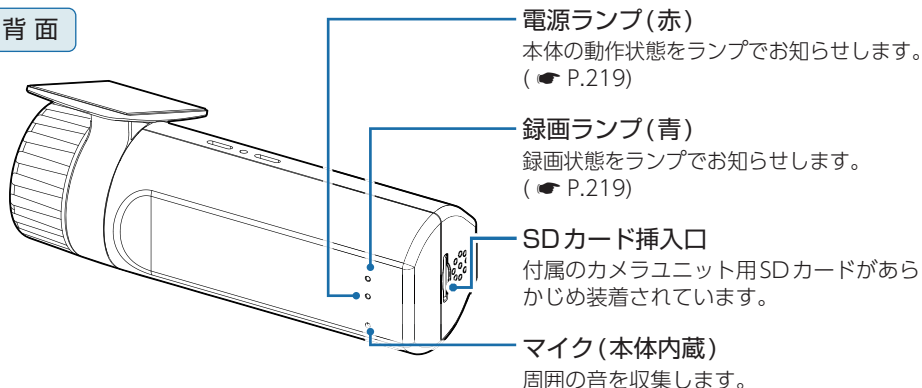
正面



下面



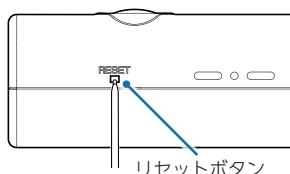
背面



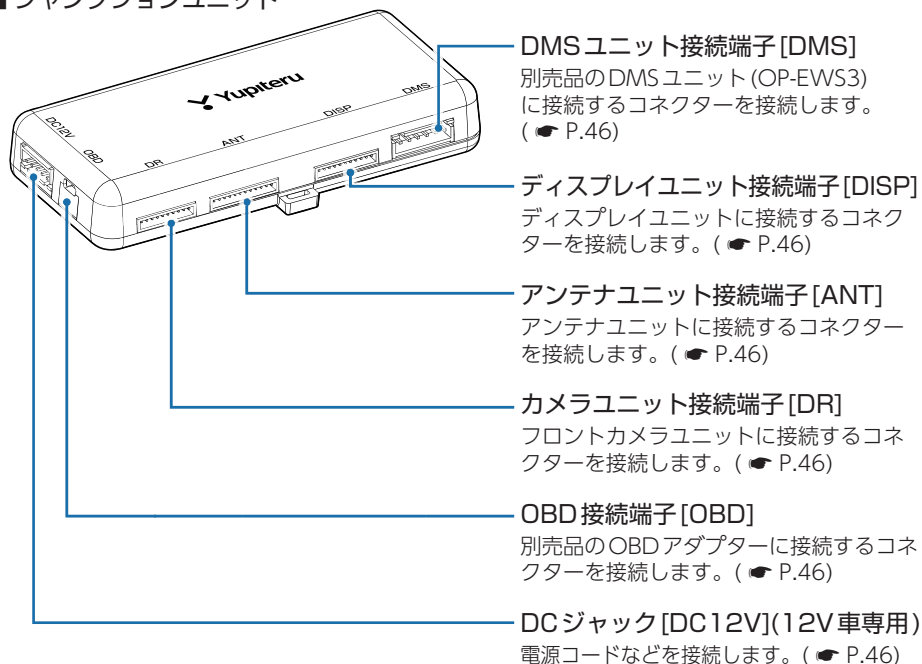
■ リセットボタンについて

動作しなくなったり、誤動作を起こしたときはフロントカメラユニット下部のリセットボタンを押してシステムを再起動してください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。



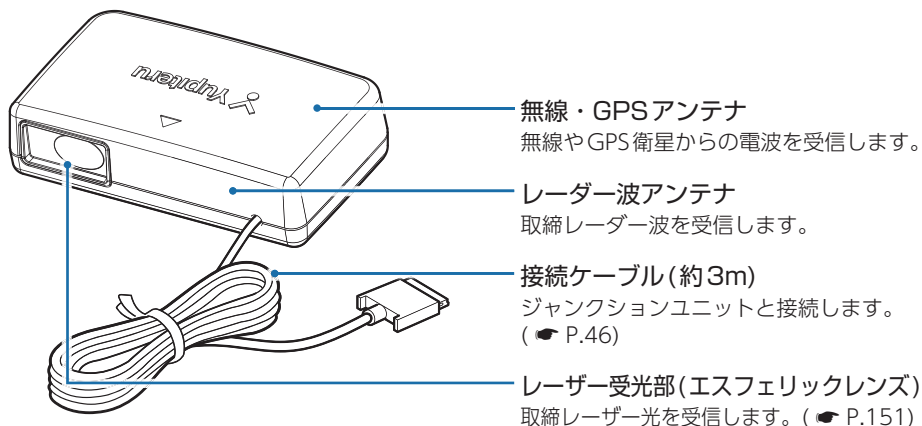
■ ジャンクションユニット



⚠ 注意

ジャンクションユニットのDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本体をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

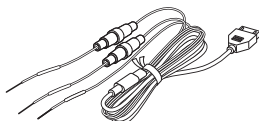
■ アンテナユニット



1. 付属品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

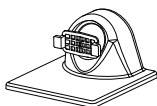
- 電源直結コード(3A)
(DC12V出力) 約2m 1



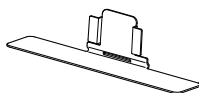
- カメラユニットケーブル(約3m)..... 1



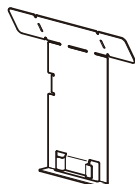
- ダッシュボード取付け用
ブラケット 1



- ダッシュボード取付けステー 1



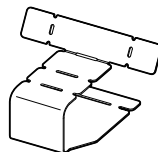
- ディスプレイ用宙吊り取付けステー..... 1



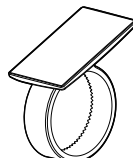
- ドライブレコーダー搭載
ステッカー 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。

- アンテナ用宙吊り取付けステー 1



- フロントカメラ用ブラケット 1



- フロントカメラ用ナット 1



- 各種両面テープ

- ・ ディスプレイ / アンテナ用
(70mm × 12mm) 3
- ・ アンテナ / ジャンクション用
(35mm × 25mm) 2
- ・ フロントカメラ用
(38mm × 24mm) 1

- 粘着シート 1

- 粘着マット 1

- ディスプレイユニット用SDカード

- ・ SDカードアダプター 1
 - ・ microSDカード 1
- ※ ディスプレイユニットにあらかじめ装着されています。

- カメラユニット用SDカード

- ・ microSDカード(16GB) 1
- ※ フロントカメラユニットにあらかじめ装着されています。

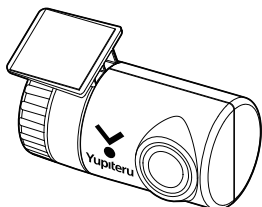
- 取扱説明書・保証書(本書) 1

2. 別売品

■ リアカメラユニット OP-CM203

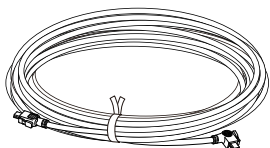
後方の様子が記録できるカメラです。

本体	1
リアカメラケーブル(6m)	1
リアカメラ用ブラケット	1
リアカメラ用ナット	1
リアカメラ用両面テープ	1
ドライブレコーダー搭載ステッカー	1



■ 9mリアカメラケーブル OP-CB005

別売品のリアカメラユニット(OPCM203) 付属のリアカメラケーブル(約6m)では短い場合に使用します。

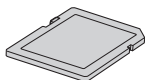


■ 無線LAN機能付SDカード OP-WLSD16

無線LAN機能が付いたSDカードです。公開取締情報^{※1}やオービス・取締系&コンテンツデータ^{※2}、本体のファーム^{※1}などをパソコンを介さず更新することができます。(P.184)

※1：無料でご使用になれます。

※2：ity.クラブへのご入会が必要となります。(有料)

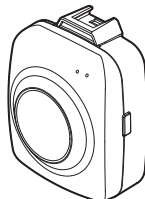


■ 専用microSDカード(カメラユニット用) OP-SD32M (32GB)

■ DMSユニット OP-EWS3

わき見・居眠りなどを検知した場合に、警報表示と警報音でお知らせします。

本体	1
DMS通信ケーブル(4m)	1
DMS フロントガラス取付け用ブラケット	1
DMSルームミラー取付け用ブラケット	1
六角レンチ	1

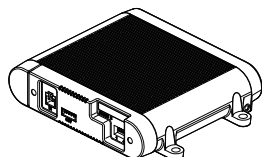


■ マルチバッテリー OP-MB4000^{※3} (12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両のバッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。

※3：別売品の接続ケーブル(OP-CB006)が必要になります。

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1



■ 接続ケーブル OP-CB006(約4m)

ジャンクションユニットとマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続します。

■ OBDⅡアダプター

⚠ 注意

- ・OBDⅡアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDⅡアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

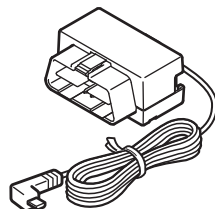
OBD12-MⅢ(約4m)

国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m)

トヨタハイブリッド車専用

- ・アクティブ機能対応
(車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)



付属の電源コードの代わりに本機への電源供給を行うと同時に、車両のOBDⅡコネクタから車両情報を取得して待受画面に表示させたり、トンネル内など衛星情報が受信できない場所でも速度情報を取得できるので、より正確な警報を行うことができます。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDⅡアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDⅡアダプターと表記します。

※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもありますので、取り付けに関してはお客様のご判断で行ってください。

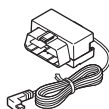
※ ディーラーに入庫する際は、OBDⅡアダプターを車両から取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…

アダプターなし

GPS電波を受信できない

速度??



があると…

アダプターあり

速度表示



3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大84基の衛星を受信することができます。

※ 2021年1月18日現在稼働数より(一時使用禁止衛星を除く)

※ 今後打ち上げられる、下記の測位システム衛星にも受信対応。

■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、より正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球航法衛星システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締や検問が行われていた場所など、58種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS58 識別]

■ マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知し全国地図と照合して、ルートのがずれを補正します。

※ トンネル内のマップマッチングシステムは、全国的高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらきます。

※ 新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。

※ 状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。



■ クイック測位対応

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



■ ジャイロセンサー&Gセンサー&気圧センサー&照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。
Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。



■ OBDⅡ車速検知 (※別売品のOBDⅡアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。



マップマッチングシステム、気圧センサー&Gセンサー&ジャイロセンサ、別売品のOBDⅡアダプターを接続することによるOBDⅡ車速度検知により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能になります。

ただし次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機を電源OFFしてから6日間以上経過した場合。
- ・最後に本機を電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS電波の受信を妨げる遮へい物や妨害波がある(存在する)場所で本機を電源ONした場合。

3. 測位アナウンス

GPS測位時/非測位時に音声でお知らせします。

ビルの谷間などGPSの電波受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『測位しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源ONにしてから、しばらくGPSを受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

※ 測位アナウンスはON/OFFすることができます。(● P.164「サウンドカスタム」⇒「測位アナウンス」)

4. リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。初期値では電源ON後、2時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

※ リラックスチャイムはお知らせする時間を選択できます。(● P.163「その他の音」⇒「リラックスチャイム」)

5. 時報

毎時、正時に時刻をお知らせします。[〇〇時です]。

※ 時報はON/OFFすることができます。(● P.163「その他の音」⇒「時報」)

※ 24時間制でお知らせします。

6. 受信可能な電波

レーザー光、取締レーダー波のX・Kツインバンド、GPSの4バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\text{Xバンド}} + \boxed{\text{Kバンド}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \text{18 BAND}$$

7. トンネル内の警報・警告について

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品のOBDIIアダプターで接続した場合は、OBDII車速検知により高精度な警報を行います。

※ 走行状況によっては警報できない場合があります。



OBDIIアダプターで接続するとGPS受信できなくても速度情報を得ることができます。

トンネル内オービス3段階警報



トンネル内追尾式取締エリア警告



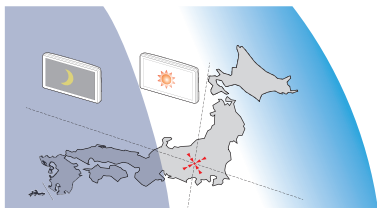
トンネル出口直後速度式取締エリア警告



8. 画面の明るさ調整 (フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているので、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

また、OBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を接続し、イルミ信号を取得すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。※ すべての車両でイルミ信号を受信することはできません。あらかじめご了承ください。



※ 図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

取締のミニ知識

本書では取締方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締方法

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。スピード違反の取締は大きく分けて4つの方法があります。

■ レーザー光を使って算出する方法(レーザー方式)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締レーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※ この方式は、取締レーダー波を発射しておりません。GPS ターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※ 追尾方式等で取締レーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

2. 取締レーダー波について

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。取締レーダー波は大きく分けて3つの種類があります。

■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締レーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



■ 自動速度取締機(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



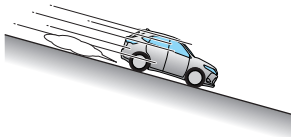
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合

取締レーダー波/レーザー光の発射方法や周囲の環境、条件などにより受信しにくいことがあります。

- ※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締ができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ※ 前方に走行している車両（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波やレーザー光が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前方に走行中の車両がある場合〕



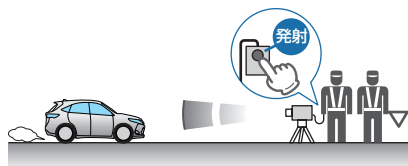
〔下り坂〕



〔コーナー〕

4. ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締機です。



- ※ ステルス型取締機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締には電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ※ ステルス型取締機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

オービス・取締系&コンテンツデータ更新について

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

※ 本サービスは有料になります。詳しくは下記ホームページをご確認ください。

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY **Yupiteru** <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）



0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

公開取締情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締情報を、画面上に表示することができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。本機には公開取締情報のデータが入っていますが、最新のデータに無料で更新することができます。詳しくは、弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp/>) をご覧ください。

- ※ 公開取締情報を表示している場合でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。
- ※ GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。また、公開取締情報が発表されていない地域では表示されません。
- ※ 公開取締情報でのお知らせ以外でも各都道府県にて取締を実施しております。
- ※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を確認し、最新の情報に更新してください。
- ※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を「バージョン情報」(P.166) で確認し、最新の情報に更新してください。
- ※ 公開取締情報設定が「テロップ1周」[パネル]の場合、待受画面の左上にタッチすることで公開取締情報を再表示できます。(P.85)

速度管理指針について

速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締の方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締を重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

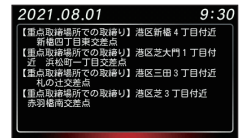
取締情報の表示について

取締情報がある路線に侵入した場合、取締情報をテロップ、またはパネルで表示します。公開取締情報は赤背景、速度取締指針は青背景、その他の情報は背景色なしで表示します。

- ※ 公開取締情報の表示方法は変更できます。(P.157)
- ※ テロップ表示の場合、「情報種類と署轄名」⇒「道路名称」⇒「区間や大体の場所」⇒「規制速度」⇒「日時や時間」の順に表示します。
- ※ 取締エリアの場合は「取締ターゲット名」が表示されます。
- ※ パネル表示の場合、約10秒間情報を表示します。
- ※ パネル表示の画面をタッチすると待受画面に戻ります。
- ※ 待受画面左上にタッチすると取締情報を再表示することができます。



<テロップ表示>



<パネル表示>

取締路線の表示について

- ※ 取締路線を表示するためには、待受画面をマップにしてください。



公開取締情報の場合、取締路線を「赤点滅」で表示します。

速度取締指針の場合、取締路線を「青点滅」で表示します。

録画について

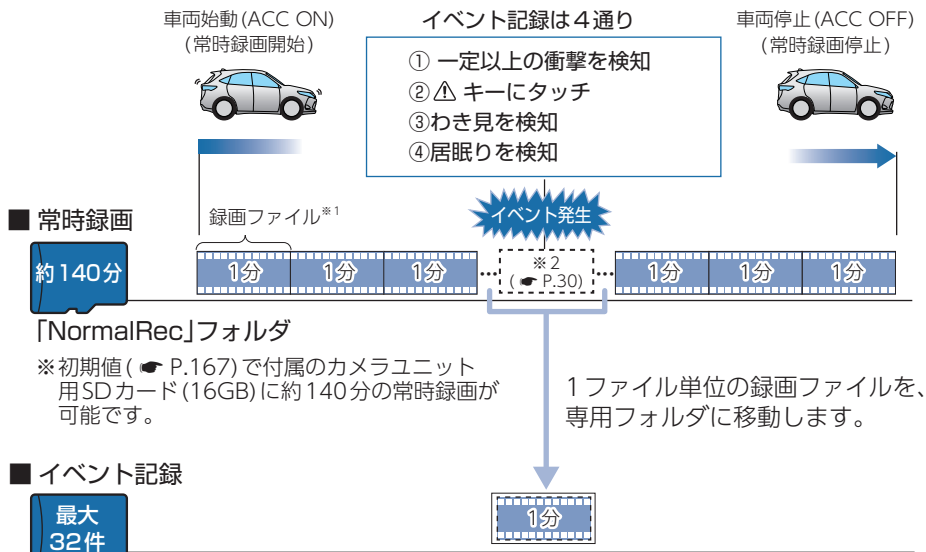
本機は、車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動して録画を開始/停止します。記録方法は、車両始動(ACC ON)時に行う常時録画/イベント記録、車両停止(ACC OFF)時に行う駐車監視録画/駐車監視イベント記録があります。

※ 手動で録画を開始/停止することができます。(☛ P.86)

※ 自動録画開始の設定で、自動録画のON/OFFができます。(☛ P.167)

※ ドライブレコーダー設定時/再生時は自動で録画停止になるためその際は録画をすることはできません。

フロントカメラユニットのみ



「Gsensor」フォルダ …………… Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ …………… ワンタッチ記録

「Distracted」フォルダ …………… DMS わき見記録

「Fatigue」フォルダ …………… DMS 居眠り記録

※ 付属のカメラユニット用SDカード(16GB)では、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMS わき見記録/DMS 居眠り記録/駐車監視イベント記録を合わせて32件のイベント記録が可能です。

※ DMS わき見記録、DMS 居眠り記録は、別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ記録を行います。

※ 1：駐車監視録画中は30分の映像が1ファイルになります。(☛ P.38)

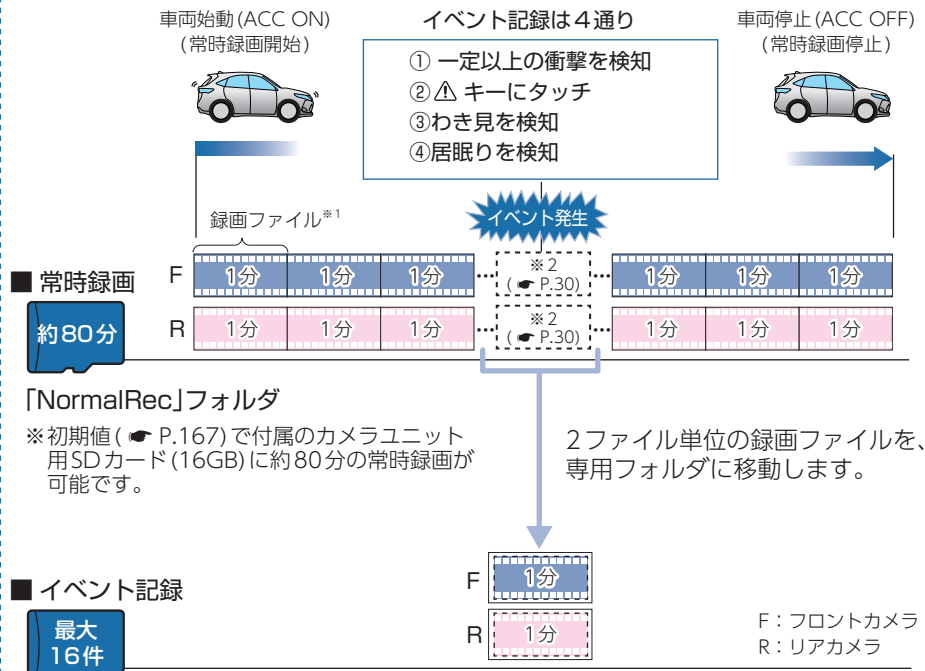
駐車監視録画は「ParkRec」フォルダ、駐車監視イベント記録は「ParkEV」フォルダへ移動されます。

(☛ P.206)

フロントカメラユニット



リアカメラユニット(OP-CM203) 別売品



「Gsensor」フォルダ Gセンサー記録
「EVSW」フォルダ ワンタッチ記録
「Distracted」フォルダ DMS わき見記録
「Fatigue」フォルダ DMS 居眠り記録

※ 付属のカメラユニット用SDカード(16GB)では、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMS わき見記録/DMS 居眠り記録/駐車監視イベント記録を合わせて16件のイベント記録が可能です。

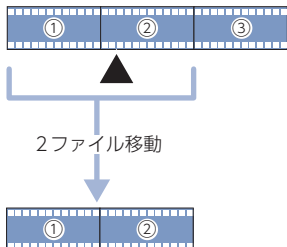
※ DMS わき見記録、DMS 居眠り記録は、別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ記録を行います。

※ 1: 駐車監視録画中は30分の映像が1ファイルになります。(P.38)
 駐車監視録画は「ParkRec」フォルダ、駐車監視イベント記録は「ParkEV」フォルダへ移動されます。
 (P.206)

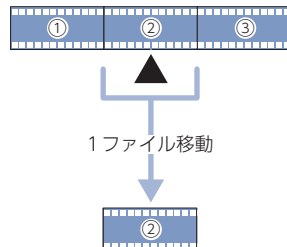
※ 2：イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。

フロントカメラユニットのみ

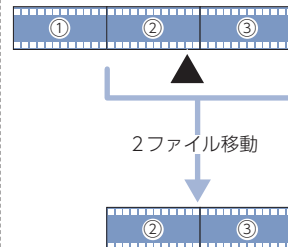
- イベント発生タイミングが②の「0～15秒」の場合



- イベント発生タイミングが②の「16～45秒」の場合



- イベント発生タイミングが②の「46～60秒」の場合

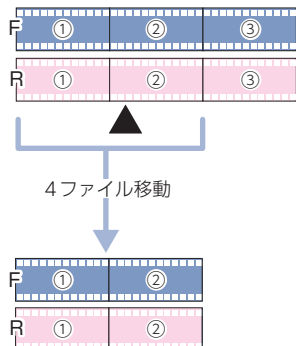


フロントカメラユニット

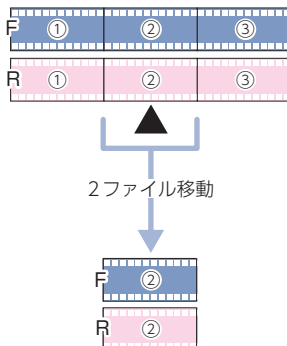


リアカメラユニット(OP-CM203) 別売品

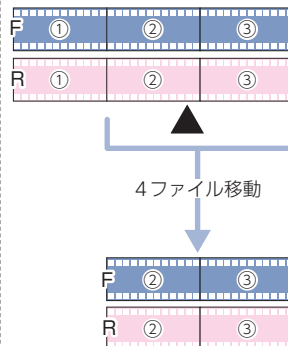
- イベント発生タイミングが②の「0～15秒」の場合



- イベント発生タイミングが②の「16～45秒」の場合



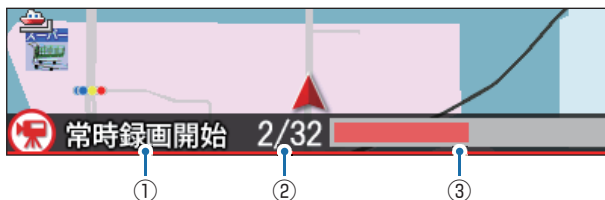
- イベント発生タイミングが②の「46～60秒」の場合



F：フロントカメラ、R：リアカメラ

■ 録画時のテロップ表示について

録画動作/イベント記録件数/録画可能容量を数秒テロップ表示します。



No.	設定値	説 明	
①	録画動作	録画動作を表示します。	
		 常時録画開始	常時録画開始時に表示します。
		 常時録画停止	常時録画停止時に表示します。
		 Gセンサー記録	Gセンサー記録時に表示します。
		 ワンタッチ記録	ワンタッチ記録時に表示します。
		 DMS わき見記録 ※1	DMS わき見記録時に表示します。
		 DMS 居眠り記録 ※1	DMS 居眠り記録時に表示します。
②	イベント記録件数	現在のイベント記録件数/最大記録件数を表示します。	
③	録画可能容量	常時録画の録画可能容量を表示します。 : 100% : 50% : 0% ※ 上書きモード[上書き禁止]設定時のみ表示されます。	

※ 1 : 別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ表示されます。

1. 常時録画

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までの映像をカメラユニット用SDカード (「NormalRec」フォルダ) に常時録画します。常時録画開始時に音が鳴り、テロップ表示し、フロントカメラユニットの録画ランプ (青) が点灯します。

※ 音量ー (0) では、録画開始時に音は鳴りません。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約1分で生成します。

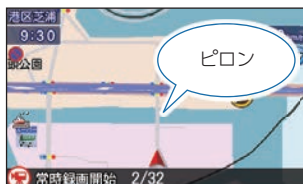
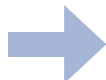
・録画可能時間

初期値 ( P.167) で、付属のカメラユニット用SDカード (16GB) に約140分の常時録画が可能です。SDカードの容量や別売品のリアカメラユニット (OP-CM203) 接続によって録画可能時間は異なります。 ( P.224)

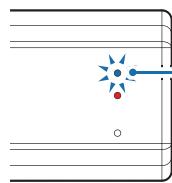
・上書きモード

初期値では、上書きモードは [全て上書き] のため、140分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。 ( P.36)

車両始動
(ACC ON)



<ディスプレイユニット>



<フロントカメラユニット>

2. 駐車監視録画

車両停止 (ACC OFF) から車両始動 (ACC ON)、またはDR設定の駐車監視で設定した時間や電圧までの映像をカメラユニット用SDカード (「ParkRec」) に常時録画します。駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。ディスプレイユニットは画面OFFしカメラユニットの録画ランプ (青) が遅点滅します。

※ 駐車監視録画を行うには設定が必要になります。 ( P.39)

※ 録画開始時に音は鳴りません。

※ 駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。

・録画ファイル構成

録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定され、1ファイルあたり約30分で生成します。

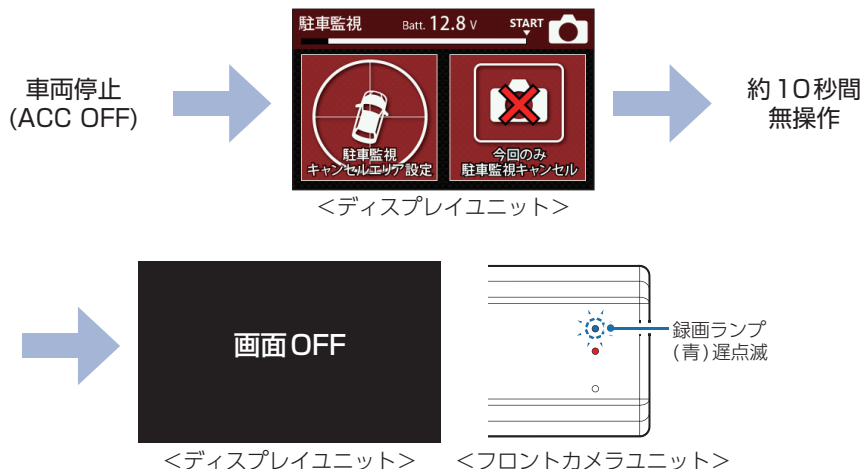
・録画可能時間

初期値 ( P.167) で、付属のカメラユニット用SDカード (16GB) に約70時間の駐車監視録画が可能です。SDカードの容量や別売品のリアカメラユニット (OP-CM203) 接続によって録画可能時間は異なります。 ( P.224)

・上書きモード

初期値では、上書きモードは [全て上書き] のため、70時間以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。 ( P.36)

■ 例：駐車監視エリア内の場合



3. イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録、DMS わき見記録、DMS 居眠り記録)

イベント記録には、G センサー記録 / ワンタッチ記録 / DMS わき見記録 / DMS 居眠り記録があります。イベント開始時に音が鳴り、イベント記録中はディスプレイユニットにイベント種類をテロップ表示し、マップ画面上にイベント記録が行われた場所をアイコン(❗)で表示します。フロントカメラユニットの録画ランプ(青)は早点滅します。

※ 音量- (0) では、録画開始時に音は鳴りません。

※ マップ画面上からイベント記録地点(❗アイコン)を消去する場合は「消去」⇒「イベント記録地点」(P.166)から行ってください。

※ DMS わき見記録、DMS 居眠り記録は、別売品の DMS ユニット (OP-EWS3) 接続時のみ記録を行います。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 1 分で生成します。

・最大記録件数

付属のカメラユニット用 SD カード (16GB) に 32 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量や別売品のリアカメラユニット (OP-CM203) 接続時によって最大記録件数は異なります。(P.225)

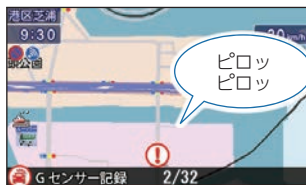
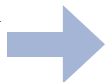
・上書きモード

初期値では上書きモードが [全て上書き] のため、記録件数が 32 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(P.36)

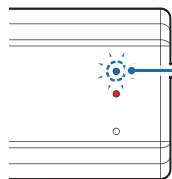
■ Gセンサー記録

Gセンサー記録が一定以上の衝撃を検知すると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「Gsensor」フォルダに移動します。

一定以上の衝撃を検知



<ディスプレイユニット>



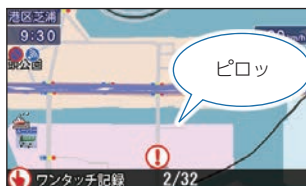
録画ランプ
(青) 早点滅

<フロントカメラユニット>

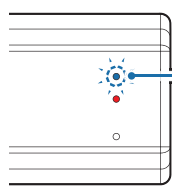
■ ワンタッチ記録

常時録画中にディスプレイユニットの△キーにタッチすると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

⚠ キーにタッチ



<ディスプレイユニット>



録画ランプ
(青) 早点滅

<フロントカメラユニット>

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

■ DMS わき見記録 **別売品**

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、約3秒以上わき見をしたことを検知した場合、警告して録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「Distracted」フォルダに移動します。

※ 別売品のDMSユニット(OP-EWS3) 接続時のみDMSわき見記録を行います。

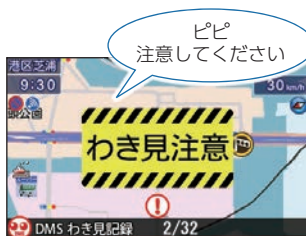
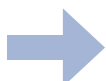
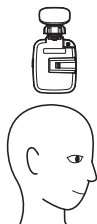
※ 時速10km/h未満では警告しません。

※ 正面を向くと警告は止まります。

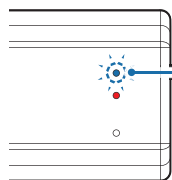
※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.43)

※ DMS設定のわき見検知が[OFF]、またはDMSイベント記録のわき見検知が[OFF]の場合はDMSわき見記録は行いません。

わき見を検知



<ディスプレイユニット>



録画ランプ
(青) 早点滅

<フロントカメラユニット>

■ DMS 居眠り記録 **別売品**

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、まぶたを閉じていることを検知した場合、警告して録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「Fatigue」フォルダに移動します。

※ 別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみDMS居眠り記録を行います。

※ 時速10km/h未満では警告しません。

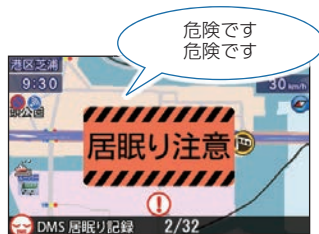
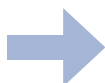
※ まぶたを開く(両目を1秒以上開ける)と警告は止まります。

※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.43)

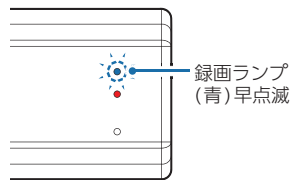
※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。

※ DMS設定の居眠り検知が[OFF]、またはDMSイベント記録の居眠り検知が[OFF]の場合はDMS居眠り記録は行いません。

居眠り運転を検知



<ディスプレイユニット>



<フロントカメラユニット>

4. 駐車監視イベント記録(Gセンサー記録)

駐車監視録画中に一定以上の衝撃を検知すると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「ParkEV」フォルダに移動します。駐車監視イベント中はフロントカメラユニットの電源ランプ(青)が早点滅します。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約30分で生成します。

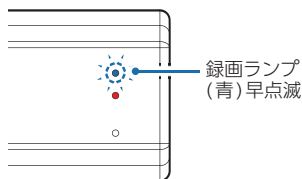
・最大記録件数

付属のカメラユニット用SDカード(16GB)に32件のイベント記録が可能です。SDカードの容量や別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時によって最大記録件数は異なります。(P.225)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、記録件数が32件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(P.36)

一定以上の衝撃を検知



<フロントカメラユニット>

上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(P.167)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画 / 駐車監視録画	イベント記録 / 駐車監視イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	常時録画/駐車監視録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※ 上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

※ 1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(P.15)

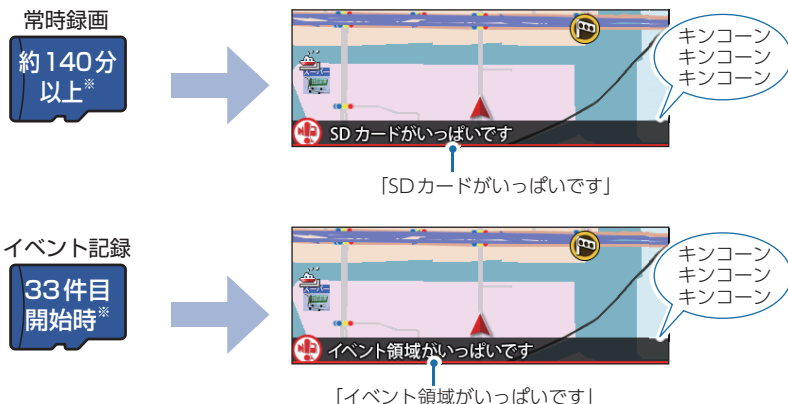
■ 上書き禁止

録画ファイルが上限に達すると、録画を停止します。

例①：イベント記録/駐車監視イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画/駐車監視録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画/駐車監視録画がカメラユニット用SDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録/駐車監視イベント記録も記録件数にかかわらず記録を停止します。

※ イベント記録/駐車監視イベント記録は、常時録画/駐車監視録画を移動した録画ファイルです。



※ 録画可能時間/イベント記録件数は、カメラユニット用SDカードの容量や別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続の有無により異なります。

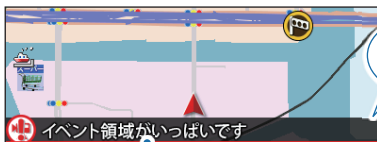
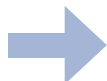
※ 音はテロップ表示時に数秒鳴ります。

■ 常時録画上書※¹

常時録画/駐車監視録画は上限に達すると、保護していない古い常時録画/駐車監視録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録/駐車監視イベント記録は最大記録件数に達した時点で記録を停止します。

イベント記録



「イベント領域がいっぱいです」

※ イベント記録件数はカメラユニット用SDカードの容量や別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続の有無により異なります。

※ 音はテロップ表示時に数秒鳴ります。

■ 全て上書き(初期値)※¹

録画ファイルが上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※ 1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。

駐車監視録画について

車両停止(ACC OFF)後、自動で駐車記録用に録画コマ数を1コマ/秒に変更して録画を行う駐車監視録画があります。駐車時に録画を行いたい場合にご使用ください。

駐車監視録画には設定が必要になります。設定方法は、 P.39「駐車監視録画する」を参照ください。

※ 駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、専用ソフトなどで再生すると早送りの映像になります。

※ 駐車監視録画中は「.nmea ファイル( P.207)」が作成されないため、再生時に地図などは表示されません。

※ 駐車監視録画中はワンタッチ記録を行うことはできません。

※ 駐車監視録画中は音声録音されません。

※ Gセンサー記録が[OFF]、または駐車監視イベント記録が[OFF]では駐車監視イベント記録は行いません。

■ 画面説明

駐車監視録画が[ON]で車両停止(ACC OFF)時に下記の画面を表示します。

※ GPS非測位時は下記画面を表示せず、駐車監視録画を開始します。



＜駐車監視エリア内＞



＜駐車監視キャンセルエリア内＞

No.	表示名	説 明
①	バッテリー電圧表示	車両バッテリーの電圧を表示します。 ※ 別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) 接続時は表示されません。
②	カウントバー	「START」で駐車監視録画を開始します。 「OFF」で電源 OFF します。
③	駐車監視キャンセル エリア設定	タッチで駐車監視キャンセルエリアに登録され、半径50m以内では駐車監視録画を行いません。
④	今回のみ駐車監視 キャンセルエリア	タッチで今回のみ駐車監視録画は行いません。
⑤	駐車監視キャンセル エリア解除	タッチで駐車監視キャンセルエリアを解除します。
⑥	今回のみ駐車監視 ON	タッチで今回のみ駐車監視録画を行います。

1. 駐車監視録画する

⚠ 注意

- ・駐車監視時間の設定に関係なく、駐車監視終了電圧以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- ・車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) で接続時は駐車監視時間の設定に関係なく、使用状況 (使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等) により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000の内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。

1-1 待受画面にタッチする



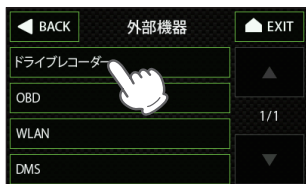
1-2 [設定]にタッチする



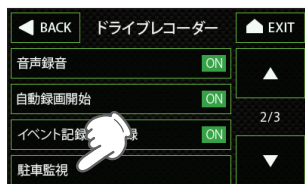
1-3 [外部機器]にタッチする



1-4 [ドライブレコーダー]にタッチする



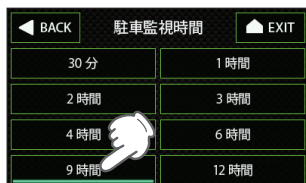
1-5 [駐車監視]にタッチする



1-6 [駐車監視録画]にタッチし、[ON]にする



1-7 [駐車監視時間]にタッチする



駐車監視を行う時間を設定します。
※ 駐車監視時間内であっても、駐車監視終了電圧の設定電圧以下になった場合は、電源 OFF します。

1-8 [駐車監視終了電圧]にタッチする



駐車監視を終了する車両バッテリー電圧を設定します。

※ 別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) を接続した場合、駐車監視終了電圧は無効になり設定することはできません。

1-9 [EXIT]にタッチする



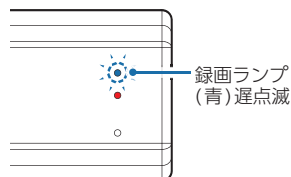
1-10 車両を停止 (ACC OFF) し、約 10 秒間無操作で待つ



※ 画面の詳細は P.38 を参照ください。



画面 OFF



<フロントカメラユニット>

駐車監視録画を開始します。
駐車監視録画は車両始動 (ACC ON)、または設定した時間や電圧まで行います。

※ 駐車監視録画の詳細は P.38 を参照ください。

※ 駐車監視録画を途中で止める場合は、ディスプレイユニット背面の電源スイッチを OFF してください。電源 OFF になります。

2. 駐車監視キャンセルエリアを登録/解除する

駐車監視録画を行わないエリアを登録できます。

※ 登録数は、駐車監視キャンセルエリア/マイエリア/アイキャンセル/マイキャンセルエリア/イベント記録地点の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ 駐車監視録画が[OFF]の場合、駐車監視キャンセルエリアを登録/解除することはできません。(P.167)

※ GPS非測位時は駐車監視キャンセルエリアを登録/解除することはできません。

A：駐車監視エリア内(登録する)

A-1 車両を停止(ACC OFF)し、 [駐車監視キャンセルエリア 設定]にタッチする



A-2 約10秒間無操作で待つ



画面OFF

駐車監視キャンセルエリアに登録され、画面を約10秒間表示して電源OFFになります。

B：キャンセルエリア内(解除する)

B-1 車両を停止(ACC OFF)し、 [駐車監視キャンセルエリア 解除]にタッチする



B-2 約10秒間無操作で待つ



画面OFF

駐車監視キャンセルエリアを解除し、画面を約10秒間表示して駐車監視録画を開始します。

・登録後は地図上にアイコンを表示します。

※ アイコン表示のみでお知らせは行いません。

※ 登録地点から半径50m以内では駐車監視録画は行いません。



・全ての駐車監視キャンセルエリアを消去する場合は、「消去」⇒「駐車監視キャンセルエリア」(P.166)で行ってください。

DMS(ドライバーモニタリングシステム)について

別売品

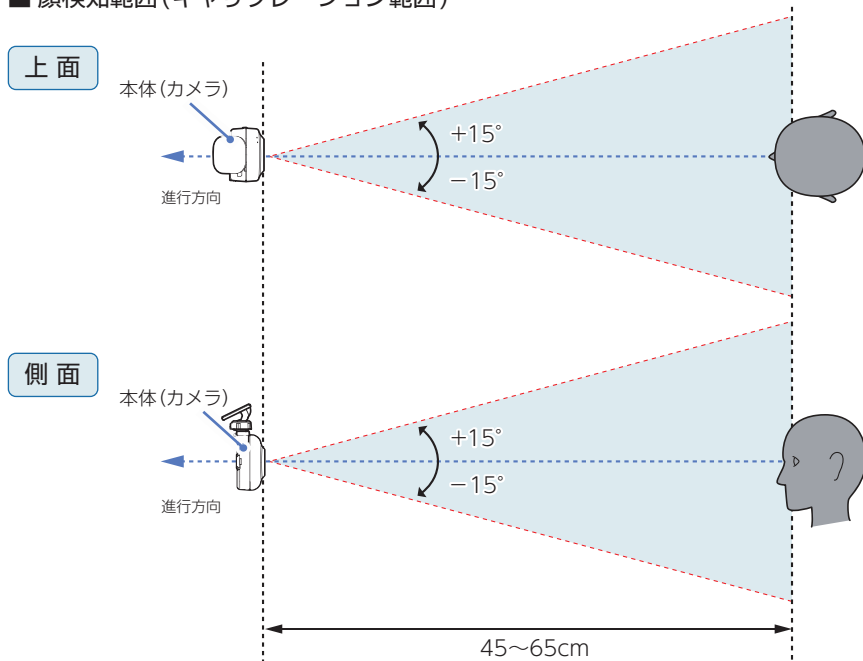
別売品のDMSユニット(OP-EWS3)を接続することでドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、フロントガラスなどに設置した本体(カメラ)で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検知し警告します。

※ レーダー探知機本体より警告を行います。自車の動作(自動ブレーキなど)とは連動しません。

⚠ 注意

- ・本機の機能を過信しないでください。すべての条件において検知、警告を保証するものではありません。
- ・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようになしてください。

■ 顔検知範囲(キャリブレーション範囲)



以下の場合、正しく警報しない場合があります。

- ・日の出や日没の前後や顔が外光に照らされている場合。
- ・目を細めている場合。
- ・あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっている場合。
- ・近赤外線カットが強いメガネ、特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合。
- ・カメラに結露がある場合。
- ・マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが常に隠れている場合。

1. キャリブレーション

キャリブレーションとは、表情の変化を正しく認識できるよう顔までの距離や目の位置などを調整する機能になります。一度キャリブレーションを行えば毎回行う必要はありません。

⚠ 注意

下記の条件が発生した場合はキャリブレーションを行ってください。

- ・本機を初めて取り付けた場合。
- ・本機の向きや取り付け位置を変えた場合。
- ・運転席のシートの位置を変えた場合。
- ・運転者が変わった場合。

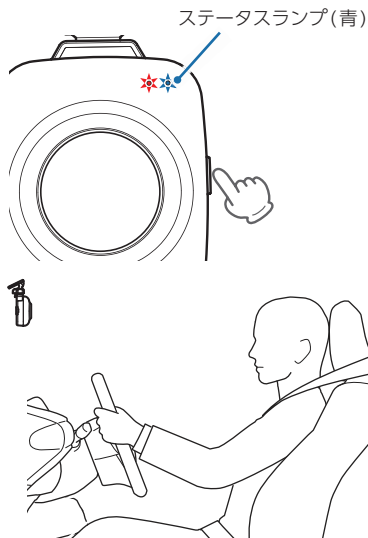
※ キャリブレーションを行う際は、車両を停車させてから行ってください。

※ マスクを着用しているとキャリブレーションに失敗します。マスクを外してからキャリブレーションを行ってください。

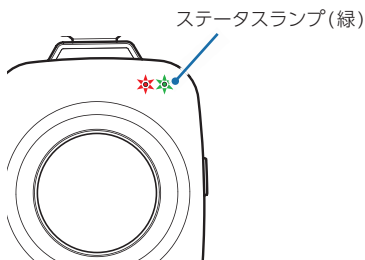
1-1 車両を始動(ACC ON)する

車両始動(ACC ON)に連動して電源ONします。

1-2 キャリブレーションボタン を押し、運転姿勢をとる



- ※ キャリブレーション中はステータスランプが青色に点灯し、完了するとステータスランプが緑色に点灯します。
- ※ キャリブレーションに失敗した場合、ステータスランプが青色の点灯のまま再度キャリブレーションを行います。
- ※ 運転姿勢を保ち、本体(カメラ)ではなく進行方向を向いてください。
- ※ 本体(カメラ)に近づくくと正しくキャリブレーションできない場合があります。
- ※ キャリブレーションが完了しない場合は、本体の角度があていない可能性があるため、角度の調整を行い、再度キャリブレーションを行ってください。



1-3 車両を停止(ACC OFF)する

車両停止(ACC OFF)に連動して電源OFFします。

2. わき見警告

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、約3秒以上わき見を検知した場合に警告を行います。

※ 時速10km/h未満では警告しません。

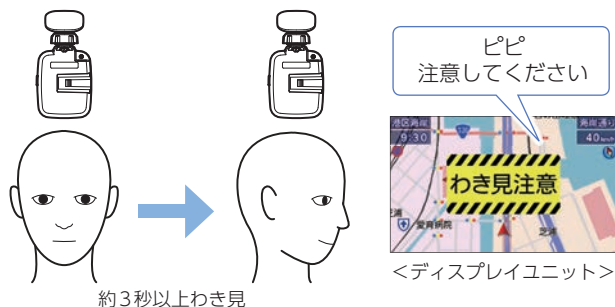
※ 正面を向くと警告は止まります。

※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.43)

※ 別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ警告を行います。

※ DMS設定のわき見検知が[OFF]の場合は、わき見警告は行いません。(初期値：HI)

■ わき見をした場合



3. 居眠り警告

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、まぶたを閉じていること(両目を閉じる、目線を下に落とす)を検知した場合に警告を行います。

※ 時速10km/h未満では警告しません。

※ まぶたを開く(両目を1秒以上開ける)と警告は止まります。

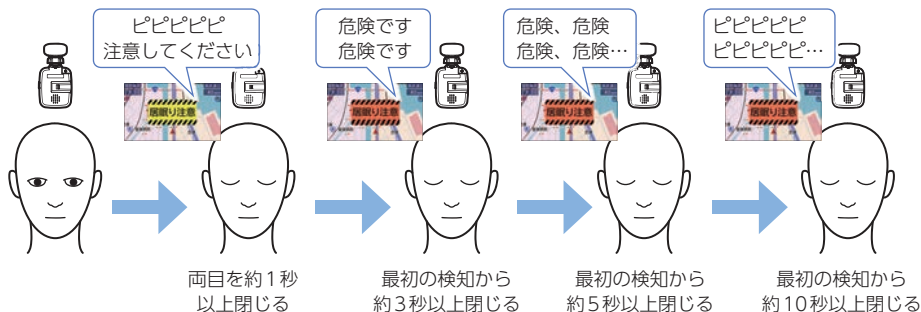
※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.43)

※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。

※ 別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ警告を行います。

※ DMS設定の居眠り検知が[OFF]の場合は、居眠り警告は行いません。(初期値：ON)

■ 居眠りした場合



メンテナンスについて

本機は定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス



注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(P.15)

■ 必要に応じてのメンテナンス

・付属の電源直結コードのヒューズ交換

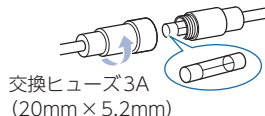
※ 交換用ヒューズ 3A (20mm × 5.2mm) × 2

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズ (3A) が切れている可能性があります。

- ① 電源コードが外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

※ OBDIIアダプター：交換用ヒューズ 2A

※ マルチバッテリー (OP-MB4000)：交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

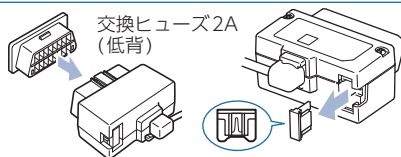
接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

< OBDIIアダプター >

OBDIIアダプターを車両側コネクタから外し、ヒューズを取り出す。

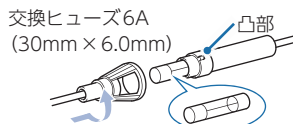
ヒューズを交換したあとは、逆の手順で取り付ける。



< OP-MB4000 >

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



取り付けについて

取り付けは「ディスプレイユニット」「カメラユニット」「アンテナユニット」「DMSユニット」「ジャンクションユニット」「電源コード」「配線処理」の手順に従って説明します。

⚠ 注意

- ・接続は確実に行ってください。外れたコードが運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。コードの接続または、取り外しをする場合は、電源直結コードを取り外した状態で行ってください。
- ・別機種のディスプレイユニット、アンテナユニットなどは絶対に使用しないでください。必ず付属品をご使用ください。
- ・ジャンクションユニットに接続する際は、必ずコネクターの向きを確認して接続してください。上下逆や斜めに接続したり、奥まで接続できていないと故障したり動作が不安定になることがあります。また、無理に接続しようとすると破損や故障の原因となります。

※下図のようにそれぞれ正しく接続してください。

※必要に応じ市販品のコードクリップなどでコードを固定してください。

■ 全体接続図

電源直結コード (☛ P.51)

マルチバッテリー

(☛ P.76) 別売品

OBDIIアダプター

(☛ P.79、80) 別売品

リアカメラユニット

(☛ P.59) 別売品

フロントカメラユニット (☛ P.56)

アンテナユニット

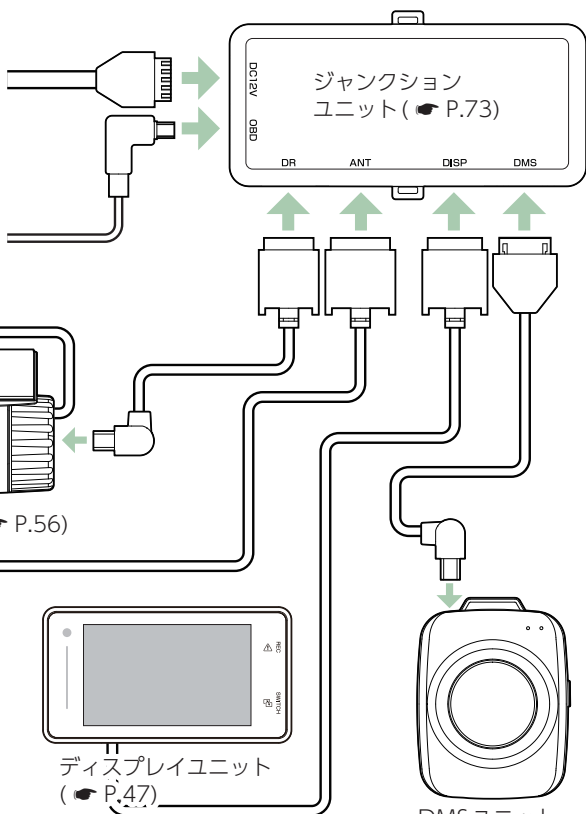
(☛ P.62)

ディスプレイユニット

(☛ P.47)

DMSユニット

(☛ P.66) 別売品



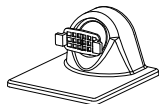
ディスプレイユニットの取り付け

下記の4通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

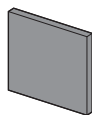
※ あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. ダッシュボードに取り付ける ① (👉 P.48)

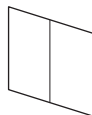
付属品



ダッシュボード取
付けブラケット



粘着マット

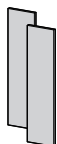


粘着シート

※ 必要に応じて (👉 P.49)

B. ダッシュボードに取り付ける ② (👉 P.51)

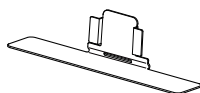
付属品



両面テープ×2
(70mm×12mm)

C. ダッシュボードに取り付ける ③ (👉 P.52)

付属品



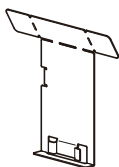
ダッシュボード取
付けステー



両面テープ
(70mm×12mm)

D. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける (👉 P.53)

付属品



ディスプレイ用
吊り付けステー

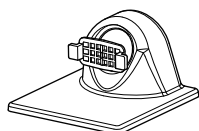


両面テープ
(70mm×12mm)

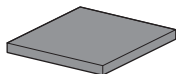
⚠ 注意

- ・取り付けにより、車両に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。ディスプレイユニットやダッシュボード取付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しはしないでください。粘着力が弱くなり、ディスプレイユニットをしっかり固定できなくなります。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
- ・両面テープは宙吊り取付けステーやダッシュボード取付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・本体あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。

A. ダッシュボードに取り付ける ①



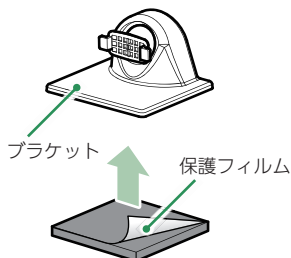
ダッシュボード取付け用ブラケット[特許 第6078725号]
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。



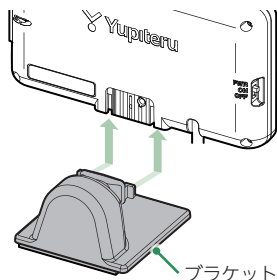
粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

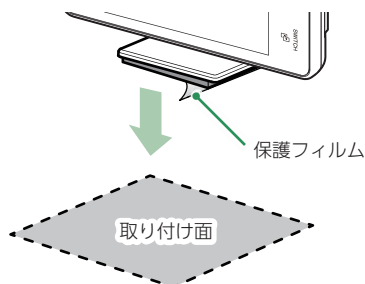
A-1 保護フィルムを片面だけ はがし、粘着マットをブラ ケットに貼り付ける



A-2 本体の溝をブラケットに 合わせ取り付ける

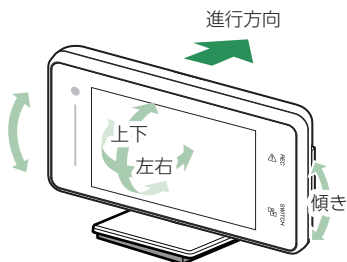


A-3 残りの保護フィルムをはがし、 ダッシュボードの取り付け面 に貼り付ける



粘着マットは水洗いできます
ホコリや汚れなどで粘着力が弱く
なった場合は、中性洗剤を使い水
洗いと粘着力が復元します。

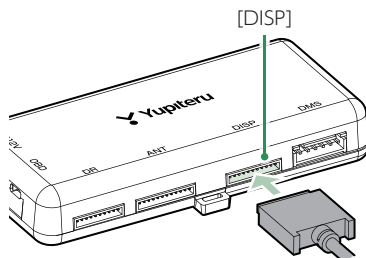
A-4 本体の向きを調整する



画面が見やすい位置に取り付けて
ください。

※ 振動によるブレ防止のためアーム部は固
くなっています。取り付け/調整時は、
けがやブラケットの破損に十分気をつけ
て行ってください。

A-5 ジャンクションユニットと 接続する

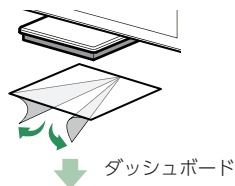


[DISP]へ接続します。

※ コネクターは、正しい向きで接続してく
ださい。誤った向きに接続すると故障や
破損の原因になります。うまく接続で
きないときは、接続部分を十分に確認し
てから接続してください。

粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。



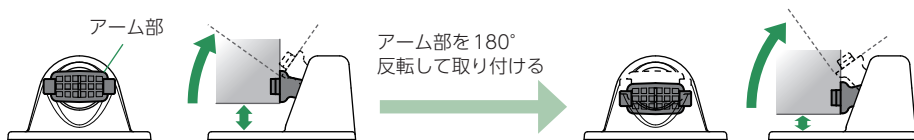
⚠ 注意

- ・振動によるブレ防止のためアーム部は固くなっています。取り付け/調整時は、けがやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。
- ・アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。

■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本体の取り付け高さを抑えることができます。

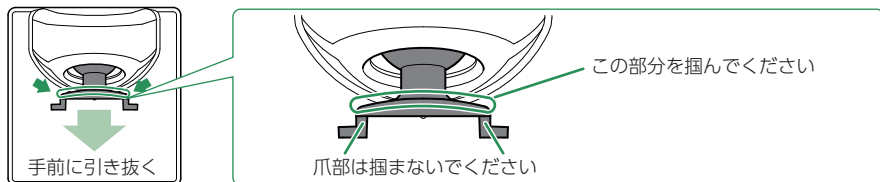
アームの向きを変えると、本体を起す方向はより広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。



■ アーム部取り外し

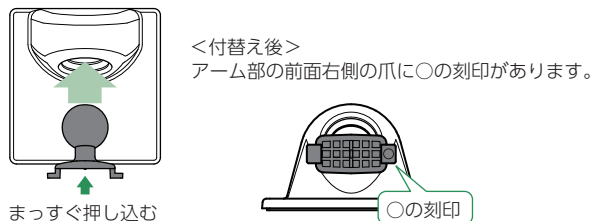
アーム部ツバの部分の布などを布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などのやわらかいもので保護してください。



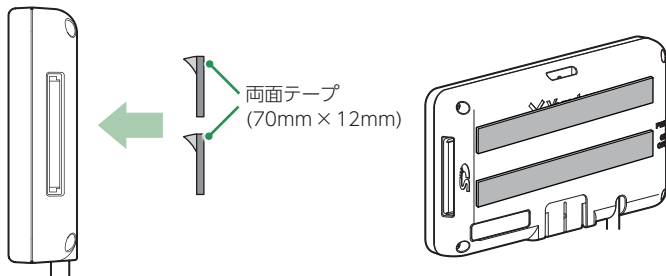
■ アーム部取り付け

アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐに押し込んでください。

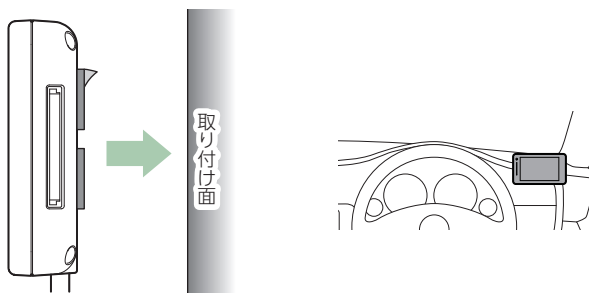


B. ダッシュボードに取り付ける ②

B-1 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、本体の背面に貼り付ける



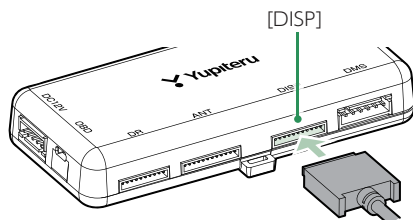
B-2 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



画面が見やすい位置に取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。

B-3 ジャンクションユニットと接続する

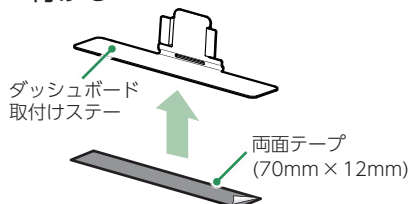


[DISP]へ接続します。

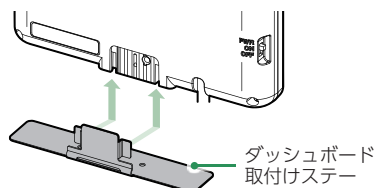
※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

C. ダッシュボードに取り付ける ③

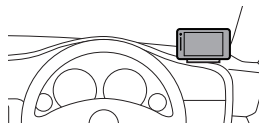
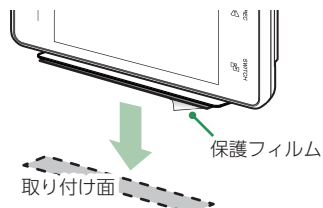
C-1 両面テープの保護フィルムを片側だけのはがし、ステーの底面に貼り付ける



C-2 本体の溝をステーに合わせ取り付ける



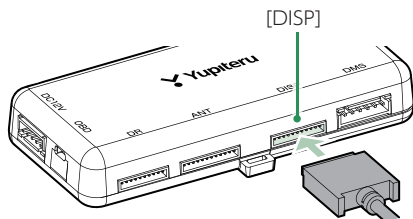
C-3 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



画面が見やすい位置に取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

C-4 ジャンクションユニットと接続する



[DISP]へ接続します。

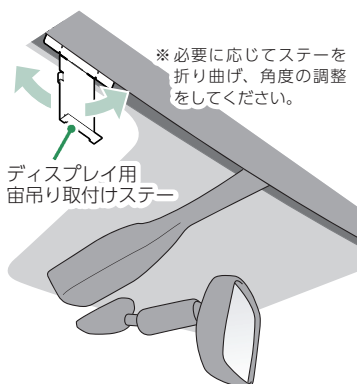
※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

D. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける

⚠ 注意

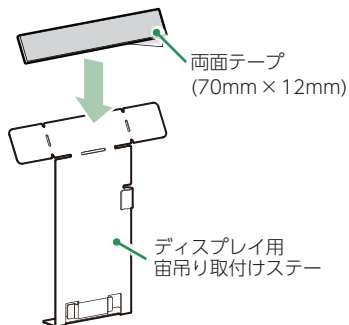
- ・ステアを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・突起部分などでケガをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステアは繰り返し折り曲げないでください。
- ・記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- ・運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

D-1 取り付け場所を確認する

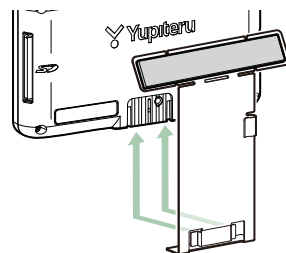


ステアはフロントガラスと天井のすき間に差し込んで取り付けてください。

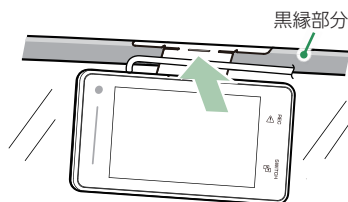
D-2 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ステアに貼り付ける



D-3 本体の溝をステアに合わせ取り付ける



D-4 確認した位置へ貼り付ける

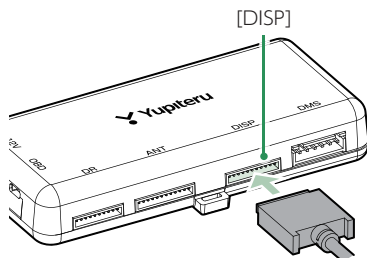


残りの保護フィルムをはがし、貼り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

ガラス面(透明部分)には貼り付けないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

D-5 ジャンクションユニットと 接続する



[DISP]へ接続します。

※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

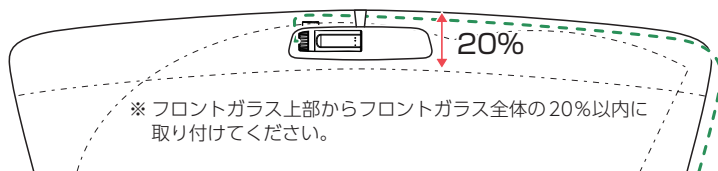
カメラユニットの取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、カメラユニットを車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

- フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- 両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- 取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



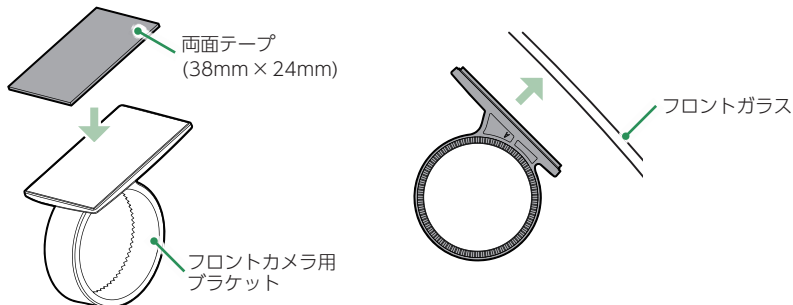
■ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)

- リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取り付けてください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし慎重に取り付けてください。

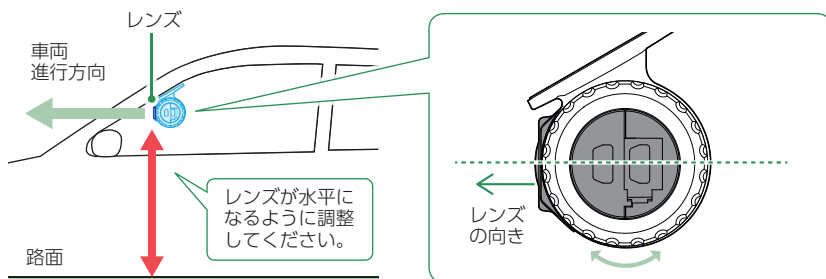
1-1 フロントカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障や両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

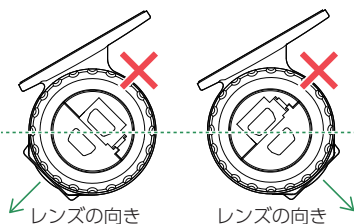
1-2 フロントカメラ用ブラケットにフロントカメラユニットを装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※ カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

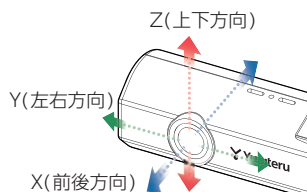
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



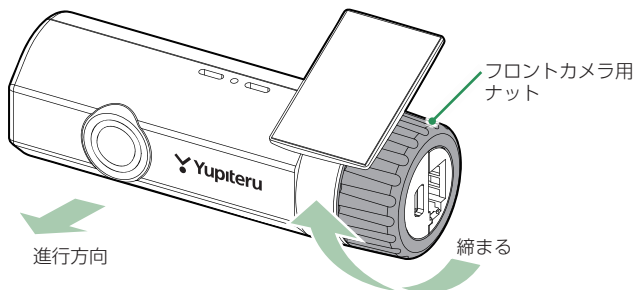
Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 4.0 G (鈍感)の0.1 G単位で設定できます。(P.167)

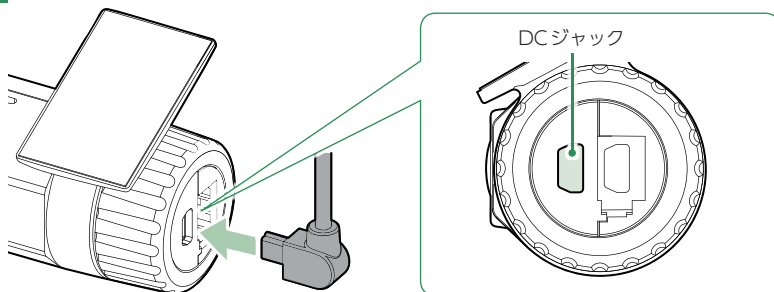


1-3 フロントカメラ用ナットを締めて固定する



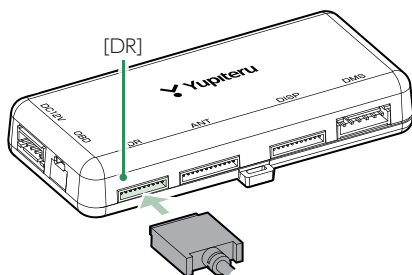
※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

1-4 フロントカメラユニットにカメラユニットケーブルを接続する



付属のカメラユニットケーブルをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※カメラユニットケーブルのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。



[DR]へ接続します。

※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2. リアカメラユニット(OP-CM203)を取り付ける

別売品

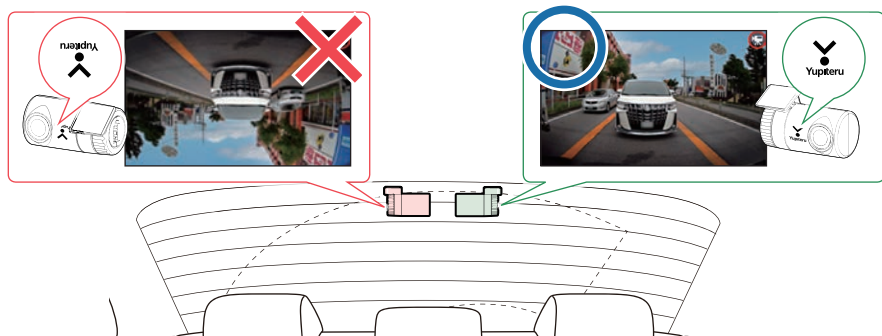
あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし慎重に取り付けてください。

※ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)を接続しなくても、付属のフロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご購入ください。

※ ライブビューのリアカメラ映像は左右反転できます。ただし、ライブビューの表示のみに反映され、記録映像は全て正像になります。(☛ P.167「映像表示」⇒「リア映像左右反転」)

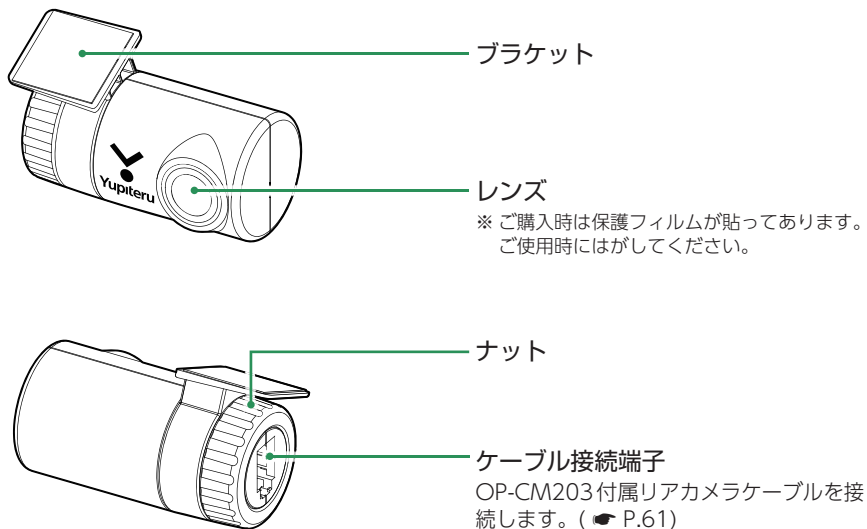
⚠ 注意

リアカメラ用両面テープで取り付ける前に、ディスプレイユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。



取り付け

■ リアカメラユニット(OP-CM203)

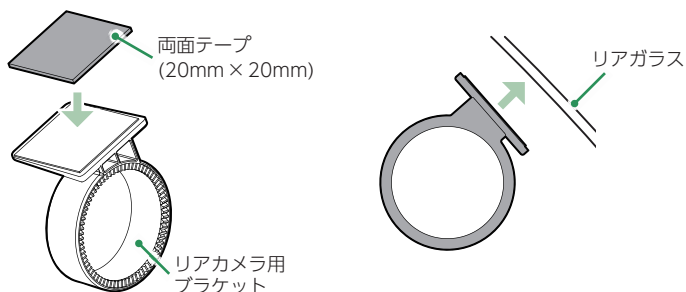


■ OP-CM203接続時に必要なもの

- ① OP-CM203 ② OP-CM203 付属リアカメラケーブル (6m)^{※1}
- ③ OP-CM203 付属リアカメラ用ブラケット ④ OP-CM203 付属リアカメラ用ナット
- ⑤ OP-CM203 付属リアカメラ用両面テープ

※ 1：OP-CM203 付属のリアカメラケーブル (6m) では短い場合、別売品の9m リアカメラケーブル (OP-CB005) を別途ご購入ください。

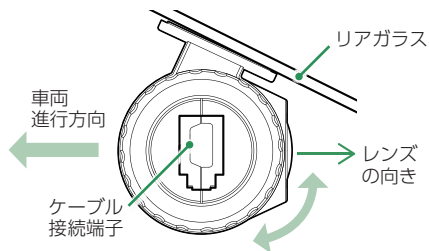
2-1 リアカメラ用ブラケットにリアカメラ用両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



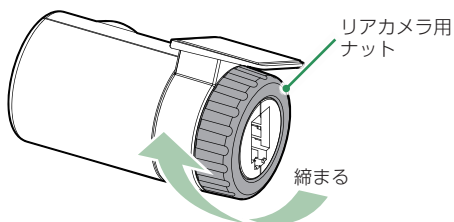
※ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

2-2 リアカメラ用ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合

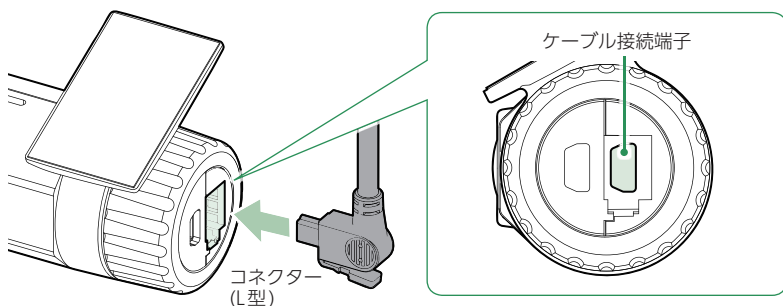


2-3 リアカメラ用ナットを締めて固定する



※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2-4 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

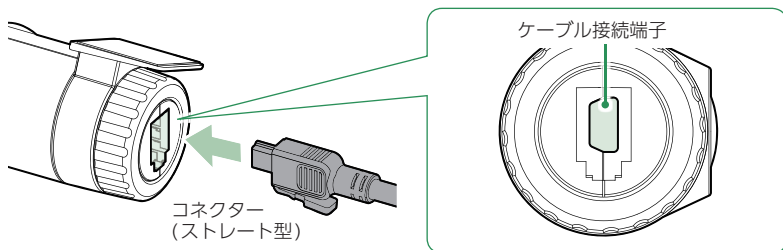


リアカメラケーブルをフロントカメラユニットのケーブル接続端子へ『カチッ』と音がするまで挿し込んでください。

※ リアカメラケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 リアカメラケーブルをリアカメラユニットまで配線する

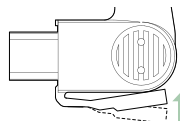
2-6 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



リアカメラケーブルをリアカメラユニットのケーブル接続端子へ『カチッ』と音がするまで挿し込んでください。

※ リアカメラケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

リアカメラケーブルを取り外す場合は、コネクタ下部を押しながら抜いてください。



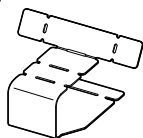
アンテナユニットの取り付け

下記の2通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける (P.63)

付属品



アンテナ用
宙吊り取付けステー



両面テープ
(35mm × 25mm)



両面テープ
(70mm × 12mm)

B. ダッシュボードに取り付ける (P.65)

付属品



両面テープ
(35mm × 25mm)

⚠ 注意

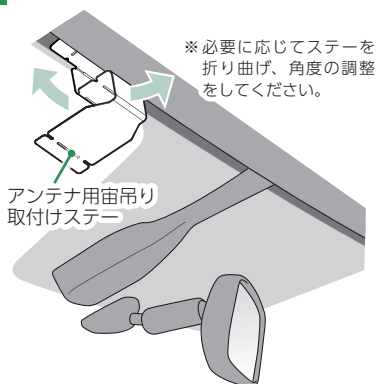
- ・アンテナユニットは、GPS衛星からの電波やレーダー波/レーザー光を受信しやすくするため、障害物や遮へい物の無い視界の良い場所で道路に対して水平且つ矢印（▲）が進行方向を向くようにして取り付けてください。
- ・防水構造ではないため、ルーフなどの車外に設置しないでください。
- ・他の機器のアンテナの近くや、金属物のかげにならない場所にアンテナユニットを固定してください。
- ・アンテナユニットのDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。
- ・本体とアンテナユニットのコネクターを接続する時は、DCジャックにDCプラグが接続されていない状態で接続してください。DCプラグが接続された状態でコネクターを接続すると、故障や破損の原因となります。

A. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける

⚠ 注意

- ・ステーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・突起部分などでケガをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。
- ・記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- ・運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ・フロントガラス上部の色が付いた部分や、ドット部がある箇所は透過率が低下し受信に影響が出る可能性があるため取り付けは避けてください。

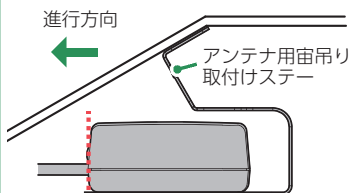
A-1 取り付け場所を確認する



アンテナユニットができるだけ道路に対して水平になるようにステーを折り曲げて、角度を調整してください。

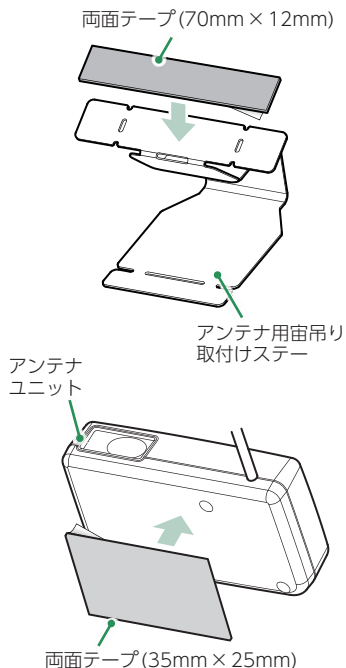
ステーはフロントガラスと天井のすき間に差し込んで取り付けてください。

■ 設置例

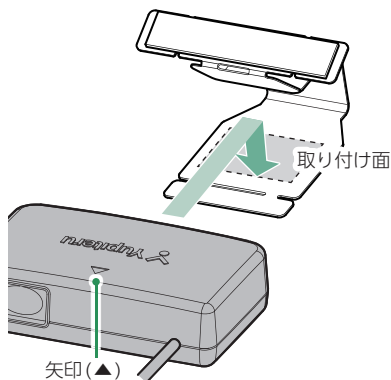


※ アンテナユニットはなるべくステーの先端側に寄せてください。

A-2 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ステーとアンテナユニットに貼り付ける



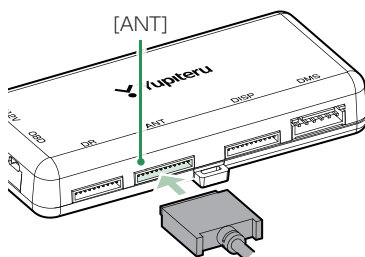
A-3 ステーにアンテナユニットを貼り付ける



残りの保護フィルムをはがし、アンテナの矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように貼り付けてください。

※ 矢印(▲)面が必ず上になるように取り付けてください。

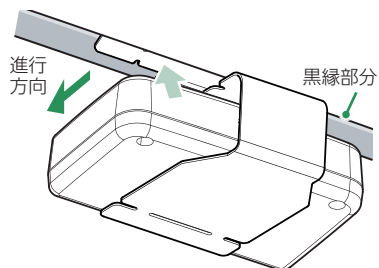
A-5 ジャンクションユニットと接続する



[ANT]へ接続します。

※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

A-4 確認した位置へ貼り付ける



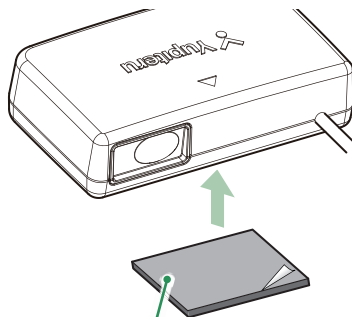
残りの保護フィルムをはがし、貼り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

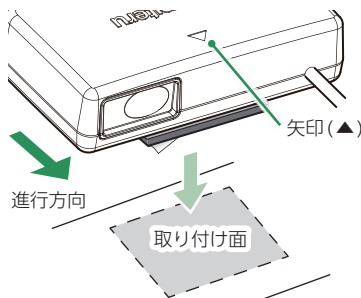
ガラス面(透明部分)には貼り付けないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

B. ダッシュボードに取り付ける

- B-1** 両面テープの保護フィルムを片側だけのはがし、アンテナユニットの底面に貼り付ける



- B-2** 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける

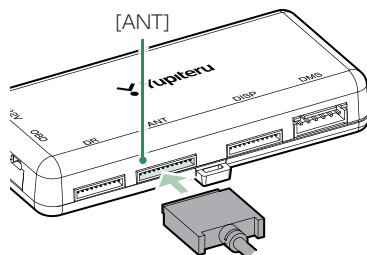


アンテナユニットが道路に対して水平に、また矢印 (▲) を進行方向 (前方) に向け、GPS 電波が受信しやすい場所に取り付けてください。

※ 矢印 (▲) 面が必ず上になるように取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ (市販品) をご用意ください。

- B-3** ジャンクションユニットと接続する



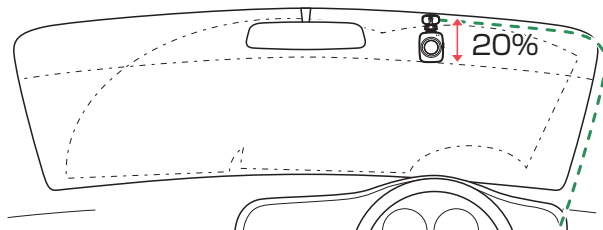
[ANT] へ接続します。

※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

※ 別売品のDMSユニット(OP-EWS3)を接続しなくても、本機は使用することができます。必要に応じてご購入ください。

取り付けの注意

- ① DMS フロントガラス取付け用ブラケットで取り付ける場合は、フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。

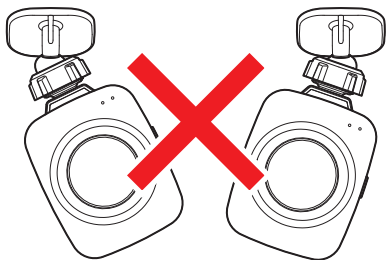


- ② 本機は運転者の顔に対して正面に取り付けてください。

※ 運転者の顔に対して正面に取り付けられない場合は正しく警告しない場合があります。

- ③ 運転者の顔と本機の距離が顔検知範囲内 (45 ~ 65cm) になるように取り付けてください。
 ④ 運転者の顔と本機の距離が 65cm を超える場合は付属のルームミラー取付け用ブラケットを使用してください。
 ※ 運転者から見て左側へのわき見が警告されにくくなり、右側へのわき見が警告されやすくなります。

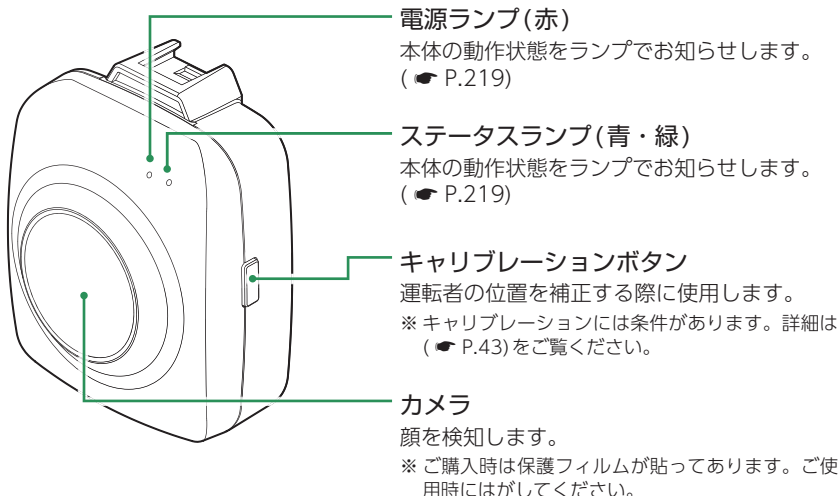
- ⑤ 取り付け角度が水平であること。(右図参照)



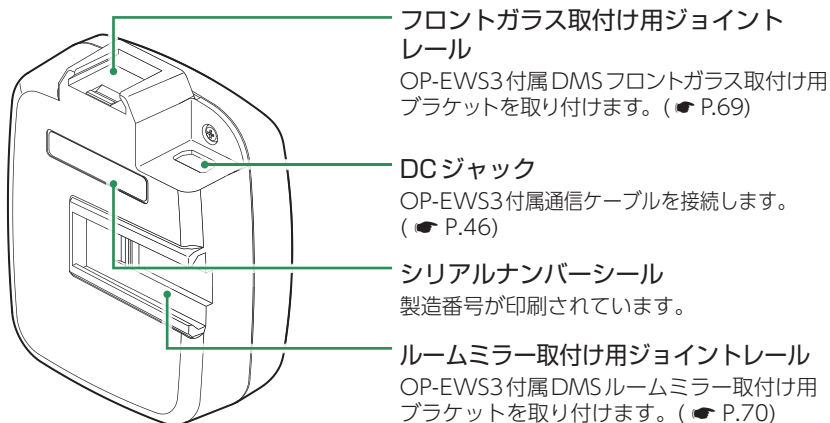
- ・両面テープは所定の位置にしっかりと取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける場合があります。
- ・ルームミラーに取り付けるとサンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ルームミラーに取り付ける際は、しっかりと装着されていることを確認のうえ、走行してください。
- ・本機は純正ルームミラーに取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまうことやミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で接続ケーブルが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両の取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。

■ DMSユニット(OP-EWS3)

正面



背面



■ OP-EWS3接続時に必要なもの

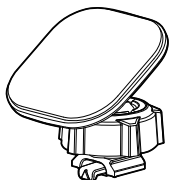
- ① OP-EWS3 ② OP-EWS3 付属通信ケーブル
- ③ OP-EWS3 付属DMS フロントガラス取付け用ブラケット
- ④ OP-EWS3 付属DMS ルームミラー取付け用ブラケット ⑤ OP-EWS3 付属六角レンチ

下記の2通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. フロントガラスに取り付ける (➡ P.69)

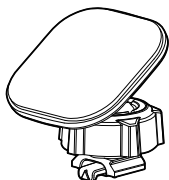
OP-EWS3 付属品



DMS フロントガラス
取り付け用ブラケット

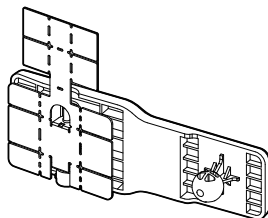
B. 純正ルームミラーに取り付ける (➡ P.70)

OP-EWS3 付属品



DMS フロントガラス
取り付け用ブラケット

※ ボールジョイントと
ナットのみ使用します。



DMS ルームミラー取付け用
ブラケット



六角レンチ

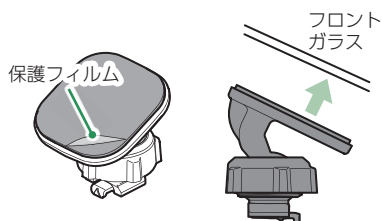
電源コードを配線後にキャリブレーションを行ってください。(➡ P.43)

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- フロントガラス、ルームミラーの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。
- サンシェードなどの日よけを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因になります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてから貼り付けをしてください。
- 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- 貼り直しはテープの粘着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープが接着面に貼り付いていないとはがれることがあります。

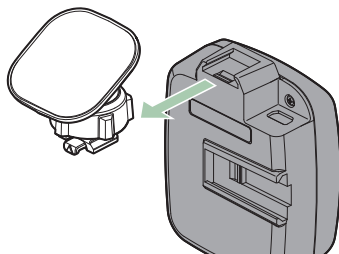
A. フロントガラスに取り付ける

A-1 フロントガラスにブラケットを貼り付ける



両面テープの保護フィルムをはがし、フロントガラスに貼り付けます。

A-2 ブラケットにDMSユニットを取り付ける

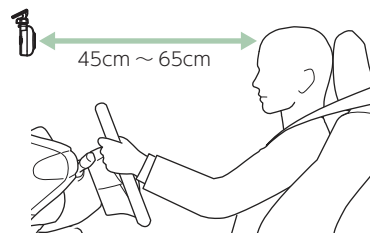


フロントガラス取り付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付けます。

※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるおそれがあります。

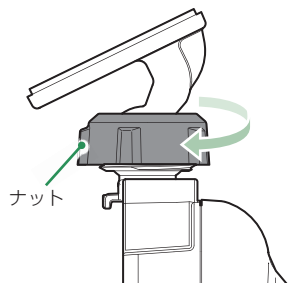
A-3 DMSユニットの向きを調整する



運転姿勢で、本体(カメラ)が運転者の顔(両目)の中心を向くように向きを調整します。

※ 向きの調整は本体ではなくブラケットで行ってください。本体で調整すると、両面テープのはがれや、本体が破損することがあります。

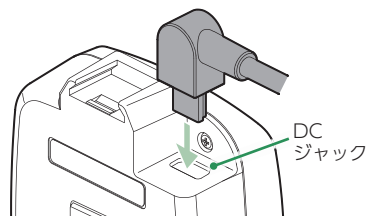
A-4 ナットを締めて固定する



※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

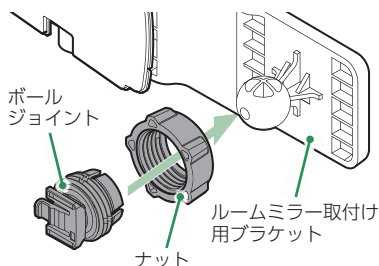
※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が掛かり破損するおそれがあります。

A-5 DMSユニットに通信ケーブルを接続する

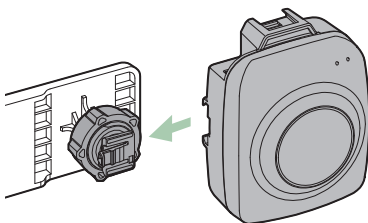


※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

B-3 ブラケットにナットとボールジョイントを取り付ける



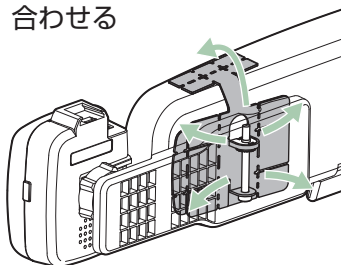
B-4 ボールジョイントにDMSユニットを取り付ける



ルームミラー取付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付ける。

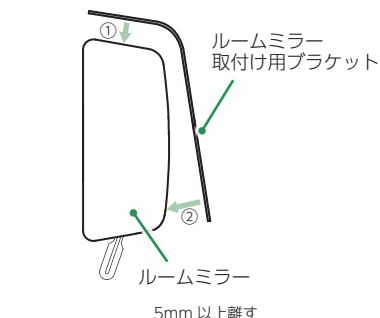
- ※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。
- ※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるおそれがあります。

B-5 ルームミラー取付け用ブラケットをミラー背面形状に合わせる



- ※ 保護フィルムをはがさないでミラー背面の形状に合わせてください。

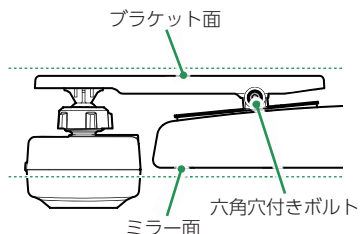
B-6 両面テープの保護フィルムをはがし、ミラーに貼り付ける



ルームミラー取付け用ブラケットは上面①から貼り付けてください。

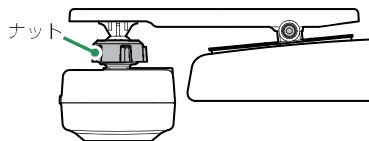
- ※ 本体とルームミラーの干渉を避けるため、必ず5mm以上離して取り付けてください。

B-7 ブラケットを六角レンチで締めて固定する



ルームミラーのミラー面と、ブラケットの面が平行になるように調整し、付属の六角レンチで六角穴つきボルトを締めて固定します。

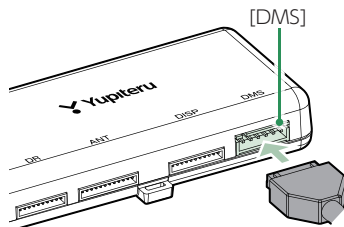
B-8 DMSユニットの向きを調整し、ナットを締めて固定する



ナットを緩め、本体の向きを調整し、ナットを締めて固定します。

- ※ 確実にナットを締めて固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
- ※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり破損するおそれがあります。

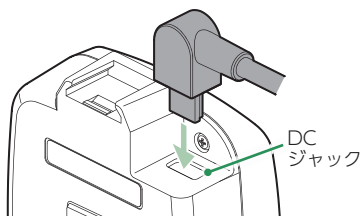
B-10 ジャンクションユニットと通信ケーブルを接続する



[DMS]へ接続します。

- ※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

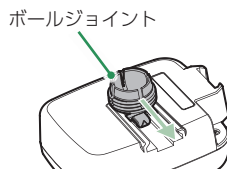
B-9 DMSユニットに通信ケーブルを接続する



- ※ コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■取り外し方法

- ① ナットを緩め、本体とルームミラー取付け用ブラケットを分解する
- ② ボールジョイントをジョイントレール方向に強く押すと外れます



ジャンクションユニットの取り付け

※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. 車両に取り付ける

付属品



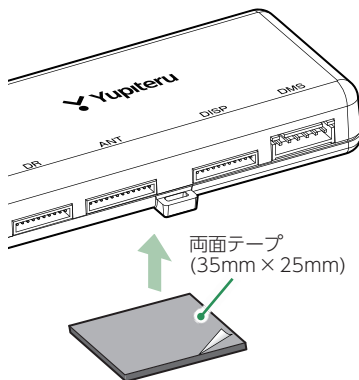
両面テープ
(35mm × 25mm)

注意

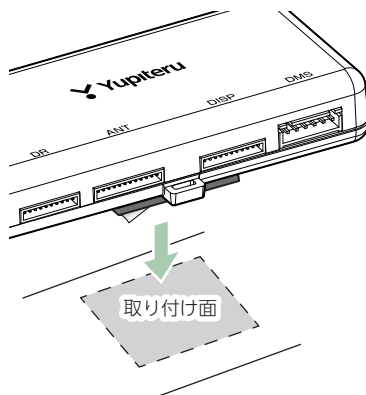
- ・両面テープは貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落の恐れがあります
- ・ジャンクションユニットおよびコードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。ジャンクションユニットおよび貼り付け場所などの破損の原因になります。

A. 車両に取り付ける

A-1 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ジャンクションユニットの底面に貼り付ける



A-2 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける

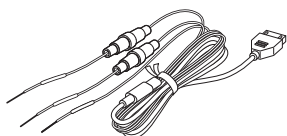


電源コードの配線

下記の4通りの配線方法があります。いずれかの方法で配線してください。

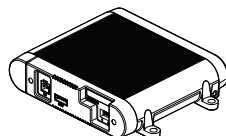
A. 電源直結コードによる配線 (👉 P.75) B. マルチバッテリーによる配線 (👉 P.76)

付属品



電源直結コード

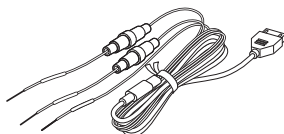
別売品



マルチバッテリー

C. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線 (👉 P.79)

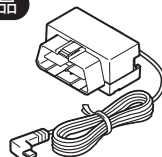
付属品



電源直結コード



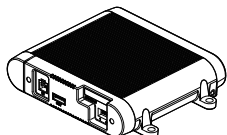
別売品



OBDIIアダプター※1

D. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線 (👉 P.80)

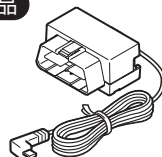
別売品



マルチバッテリー



別売品



OBDIIアダプター※1

※1：OBDIIアダプター単体で接続した場合、駐車監視録画を行うことができません。駐車監視録画を行う場合は「C. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線」または「D. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線」で接続してください。

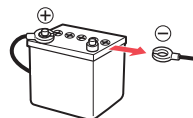
⚠ 注意

- ・特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。
- ・コードが長くても、切って短くしないでください。
- ・OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

A. 電源直結コードによる配線

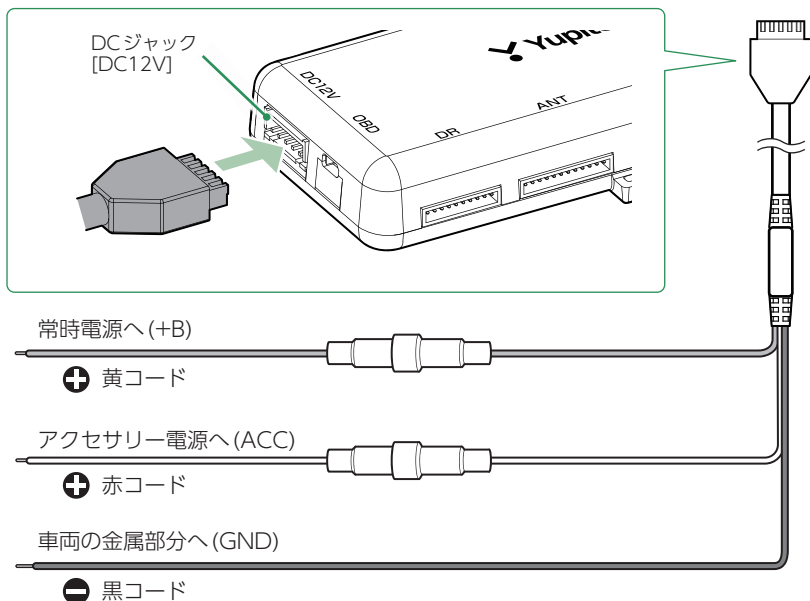
⚠ 警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



A-1 電源直結コードを接続する

黄コードは、必ず車両の始動/停止 (ACC ON/OFF) に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される常時電源に接続し、赤コードは必ず車両の始動/停止 (ACC ON/OFF) に連動する電源に接続してください。



付属の電源直結コードをジャンクションユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※ 電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

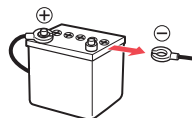
※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

B. マルチバッテリー (OP-MB4000) による配線

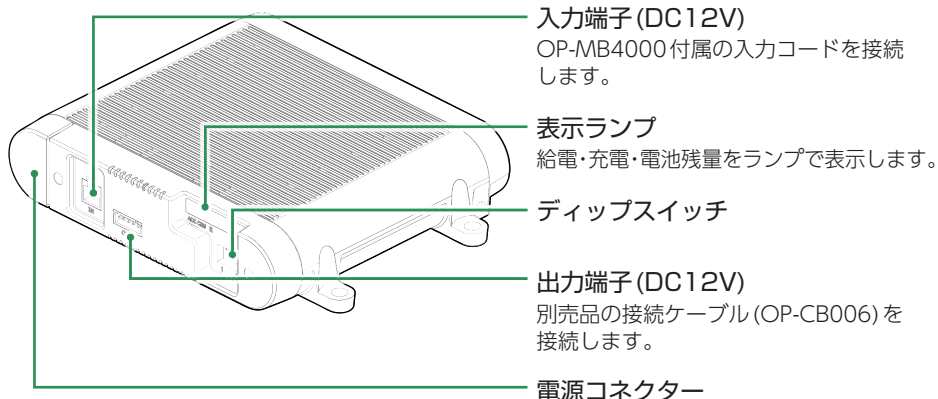
別売品

⚠ 警告

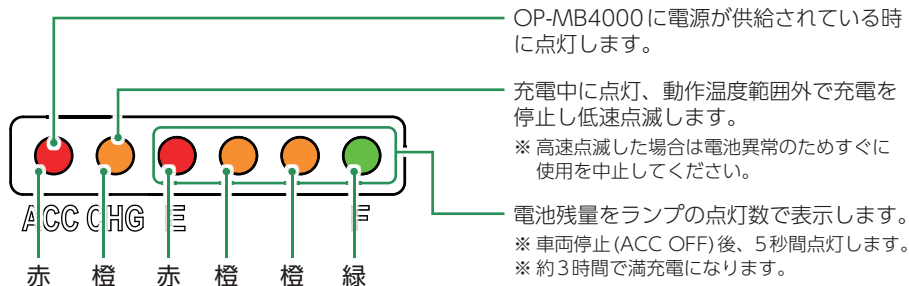
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。



■ OP-MB4000



■ 表示ランプについて



電源コードを配線後に駐車監視録画の設定を行ってください。(P.39)

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

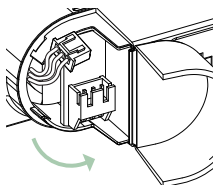
① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ 接続ケーブル (OP-CB006)

④ OP-MB4000 付属面ファスナー

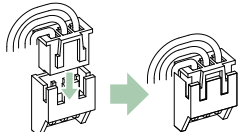
※ OP-MB4000 付属の出力コード、Z840DR 付属の電源直結コードは使用しません。

B-1 電源コネクタを接続する

① カバーを開ける

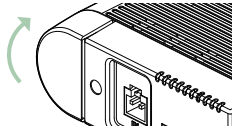


② 電源コネクタを接続する



※ 奥まで確実に挿し込んでください。

③ カバーを閉じる



※ 「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

B-2 ディップスイッチ4を[OFF(下)]にする

※ ディップスイッチ4が[ON(上)]の場合、正常に動作できないため、必ずご確認ください。

※ ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

ディップスイッチ



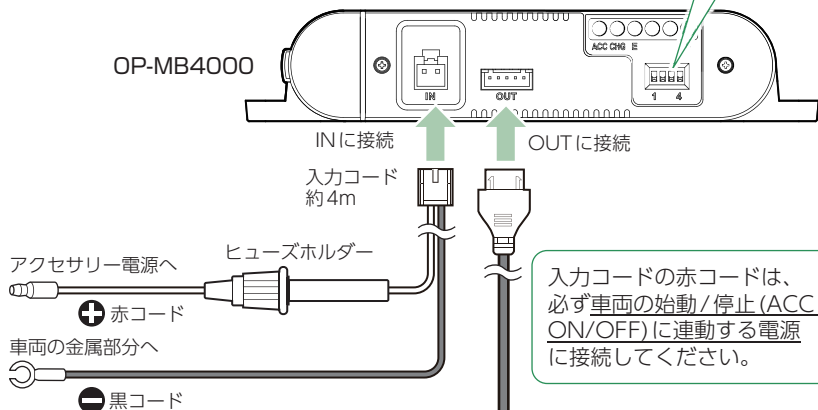
上：ON
下：OFF

1

4

初期値
：1~4 OFF

B-3 OP-MB4000 を車両に接続する

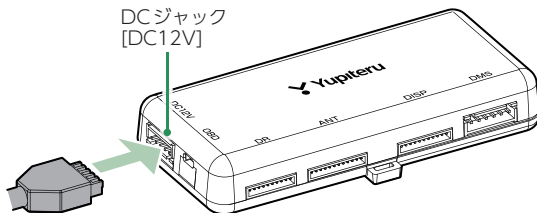


接続ケーブル (OP-CB006)

ジャンクション
ユニットへ

コード長：約4m

B-4 ジャンクションユニットと接続ケーブルを接続する



別売品の接続ケーブル(OP-CB006)をジャンクションユニットのDCジャックへ接続します。

※ 接続ケーブルのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

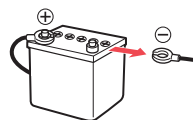
C. 電源直結コードと OBDIIアダプターによる配線

別売品

OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。また、OBD対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新のOBD適応表を必ずご確認ください。

⚠ 警告

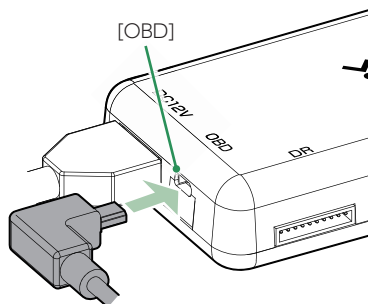
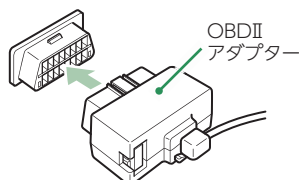
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



C-1 電源直結コードを接続する (P.76)

C-2 OBDIIアダプターを接続する

車両側OBDIIコネクタ

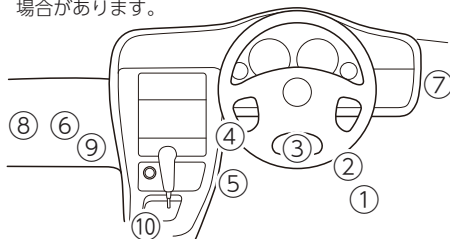


別売品のOBDIIアダプターをジャンクションユニットのOBD 接続端子と車両のOBDIIコネクタに接続してください。

※ OBDIIアダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■ OBDIIアダプター設置箇所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

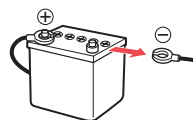
D. マルチバッテリーと OBDⅡアダプターによる配線

別売品

OBDⅡアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDⅡアダプターの取扱説明書をご確認ください。また、OBD 対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の OBD 適応表を必ずご確認ください。

⚠ 警告

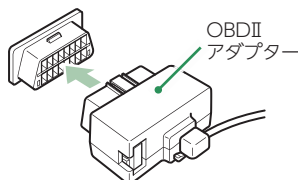
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



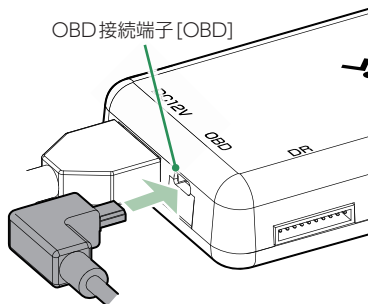
D-1 マルチバッテリーを接続する (P.76)

D-2 OBDⅡアダプターを接続する

車両側 OBDⅡコネクタ



OBD 接続端子 [OBD]

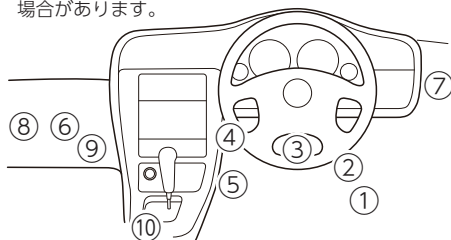


別売品の OBDⅡアダプターをジャンクションユニットの OBD 接続端子と車両の OBDⅡコネクタに接続してください。

※ OBDⅡアダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■ OBDⅡアダプター設置箇所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

配線処理について

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

電源 ON/OFF について

1. 電源 ON する

1-1 本体の電源スイッチを ON にし、車両を始動 (ACC ON) する



車両始動 (ACC ON) と連動して電源 ON になり、同時に録画が開始されます。
(● P.32)

必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。

- ※ 本体の電源スイッチが OFF の場合、車両始動 (ACC ON) に連動して電源 ON しません。
- ※ GPS の測位状況や無線の受信によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
- ※ GPS が非測位時は測位するまで衛星情報を表示します。
- ※ 初めて OBDII アダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。
- ※ 起動時の音 (起動音)、画面 (オープニング)、測位時の音声 (測位アナウンス) は変更できます。
(● P.101、164)
- ※ 公開取締情報がある場合は、公開取締情報を表示します。(● P.27)

■ 次のような場合、電源 ON してから『測位しました』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮へい物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源OFFする

■ A：駐車監視録画[OFF]の場合(※初期値)

A-1 車両を停止(ACC OFF)する

車両停止(ACC OFF)と連動して電源OFFになります。

※ 車種によっては車両停止(ACC OFF)しても、電源OFFにならない場合があります。その場合は、本体の電源スイッチを操作して電源OFFしてください。

※ OBDIIアダプターで配線を行った場合、車両停止(ACC OFF)したあと、電源OFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBDIIアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

■ B：駐車監視録画[ON]の場合

駐車監視エリア内

B-1 車両を停止(ACC OFF)し、 [今回のみ駐車監視キャンセル]にタッチする



電源OFFになります。

キャンセルエリア内

B-1 車両を停止(ACC OFF)し、 約10秒間無操作で待つ



画面を約10秒間表示し電源OFFになります。

■ C：強制的に電源OFFする場合

C-1 ディスプレユニット背面の電源スイッチをOFFする



電源OFFになります。

操作方法

1. ジャンプウィンドウについて

待受画面にタッチすることでジャンプウィンドウが表示されます。各操作はこの画面から行います。



<ジャンプウィンドウ>

※ 無操作時、数秒で待受画面に戻ります。

2. 音量の調整について

ジャンプウィンドウの[音量+]、[音量-]にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ 音量は0~7の8段階で調整できます。初期値は[5]です。

※ 0にした場合、音声による警報は行いません。

※ 音量7(最大)からさらに[音量+]にタッチすると『ブッ』と鳴ります。



3. 待受変更について

待受変更にタッチすることでいつでも待受画面を変更できます。(P.112)



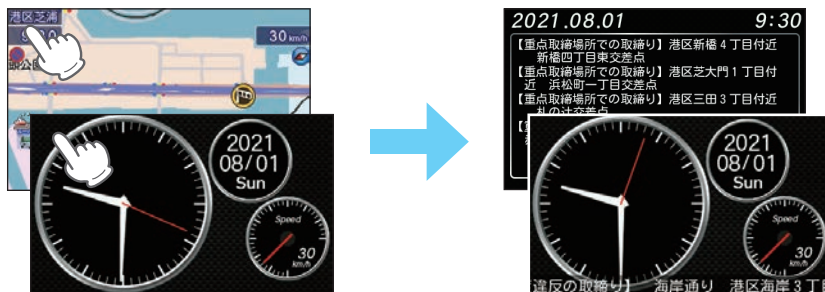
<待受変更画面>

4. 公開取締情報の表示について

取締情報がある路線に侵入した時に表示されます。また、公開取締情報設定が[テロップ1周][パネル]の場合、待受画面の左上にタッチすることで公開取締情報を再表示できます。

※ 公開取締情報を更新していない場合は表示することができません。弊社HPで無料で公開していますので、更新することをお勧めします。

※ お知らせする情報がある場所で起動した場合、起動時にも公開取締情報を表示します。



<公開取締情報>

※ 公開取締情報の表示方法は設定により異なります。(P.157)

5. 警報音のミュートについて

レーダー／レーザー警報中に待受画面にタッチすることで、受信中の信号を受信しなくなるまで警報音を一時的に消す(ミュートする)ことができます。ミュートを解除する場合は、再度待受画面にタッチしてください。



※ ミュートされます。再度タッチするとミュート解除されます。

※ タッチするたびにジャンプウィンドウを表示しますが、数秒で待受画面に戻ります。

6. 録画操作について

車両始動 (ACC ON) に連動し自動的に録画が開始されますが、DR操作の[録画停止]にタッチすることで手動で録画を停止できます。また録画停止後に[録画開始]をタッチすると再度録画を開始します。

※ 自動録画開始設定 (P.167) が [OFF] の場合、車両停止 (ACC OFF) に連動して録画が開始しないため、DR操作の[録画開始]にタッチしてください。



※ 録画を開始します。

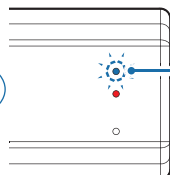
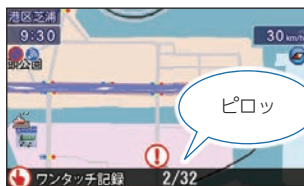


※ 録画を停止します。

7. ワンタッチ記録について

常時録画中にディスプレイユニットの キーにタッチすると、1 ファイル単位の映像をカメラユニット用SDカードの[EVSW]フォルダに移動します。

キーにタッチ



録画ランプ
(青) 早点滅

<ディスプレイユニット> <フロントカメラユニット>

8. 画面切替 (ライブビュー) について

ディスプレイユニットの キーにタッチでライブビューと待受画面を切り替えることができます。

※ 警報時は、マップ画面に切り替わります。

※ キーはSWITCHカスタマイズ設定で、機能を画面切替以外にも割り当てることができます。(P.166)



<待受画面>



<ライブビュー※1>

※ 1：別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみ、リアカメラ映像は表示されます。

ディスプレイユニット用SDカードの取り外し/装着のしかた

付属のディスプレイユニット用SDカードには本機を起動するためのデータが保存されています。パソコンなどでフォーマットしないようにしてください。

本書では、特にことわりのない場合、「SDカードアダプター」「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

⚠ 注意

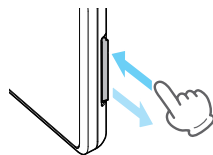
- ・誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または ity. クラブ窓口(0120-958-955)にご相談ください。
- ・SDカードアダプターの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- ・SDカードアダプターは一方方向にしか入りません。下図の向きで挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードアダプターが壊れることがあります。
- ・microSDカードのみを取り出さないでください。
- ・本体に付属のmicroSDカード、SDカードアダプターが装着されていないと、本機は起動しません。必ず付属品を装着してお使いください。
- ・microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- ・microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

1-2 ディスプレイユニット用SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



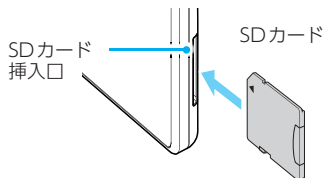
※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

2-2 ディスプレイユニット用SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

カメラユニット用SDカードの取り外し/装着のしかた

※ カメラユニットと市販品のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※ カメラユニット用SDカードは、8GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。

(SDスピードクラス「Class 10以上」)

⚠ 注意

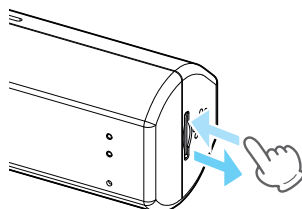
- ・ 電源ON時にカメラユニット用SDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、カメラユニットの電源ランプが消灯したのを確認してから行ってください。
- ・ SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・ 付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードをカメラユニットから取り外す

1-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

1-2 カメラユニット用SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



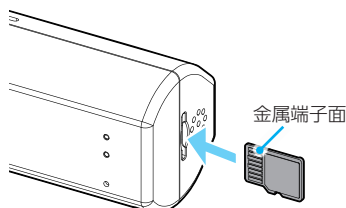
※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2. SDカードをカメラユニットへ装着する

2-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

2-2 カメラユニット用SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

登録について

任意の場所を登録、投稿することができます。

1. 登録画面を表示する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [登録]にタッチする



登録画面を表示します。



<登録画面>

※ 無操作時、約10秒で待受画面に戻ります。

項 目	説 明
 (黄)	・移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。 ・手前約1kmに近づくと登録画面のボタンが[マイエリア解除]に変わり、対象のマイエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイエリア、アイキャンセル、マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
 (黄)	・自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点やGPSターゲットを警告させたくない地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルします。 ・手前約200mに近づくと登録画面のボタンが[キャンセルエリア解除]に変わり、対象のマイキャンセルエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア、アイキャンセル/イベント記録地点/駐車監視エリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。 ※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルするもので、レーザー光/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。
—	ピン登録で登録した投稿ピンを確認/投稿/削除することができます。 ※ [確認]⇒[登録投稿]にタッチしてターゲットの種類などを選択していきQRコードから投稿してください。また、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]を選択するとサーバーへ接続し投稿を行います。(あらかじめ、接続先設定とMy Yupiteru ID、パスワードの設定が必要になります。)
	「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。 ※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

※ マイエリア/マイキャンセルエリア/ピンの一括削除は「システム」⇒「消去」(P.166)を参照ください。

※ GPS非測位時、マイエリア/マイキャンセルエリア/ピン登録は行うことができません。

※ 方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

マイエリアについて

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。

※ 登録数は、マイエリア/アイキャンセル/マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する(P.89)

A-2 約10秒以内に[マイエリア登録]にタッチする



「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録します。

※ GPS非測位時、マイエリアは登録できません。

B：解除する

B-1 登録した地点で登録画面を表示する(P.89)

B-2 約10秒以内に[マイエリア解除]にタッチする



「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- 登録後は地図上にアイコンを表示します。
- マイエリアに近づくと手前約1km/500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

※ GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。

- マイエリア手前約1kmに近づく登録画面のボタンが[マイエリア解除]に変わり、対象のマイエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。
- 全てのマイエリアを消去する場合は、「消去」⇒「マイエリア」(P.166)を行ってください。



マイキャンセルエリアについて

自動ドアなど取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点やGPSターゲットを警告させたくない地点を登録することができます。

※ 登録数は、マイキャンセルエリア/マイエリア/アイキャンセル/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルするもので、レーザー光/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。またマップ上にアイコンが表示されないGPSターゲットはキャンセルできません。(P.146)

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する(P.89)

A-2 約10秒以内に[キャンセルエリア登録]にタッチする



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録します。

※ GPS非測位時、マイキャンセルエリアは登録できません。

B：解除する

B-1 登録した地点で登録画面を表示する(P.89)

B-2 約10秒以内に[キャンセルエリア解除]にタッチする



「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- ・登録後は地図上にアイコンを表示します。
- ・マイキャンセルエリア登録したポイントから半径約200mでレーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。マイキャンセルエリアに近づくると登録時に警告していたGPSターゲットをキャンセルします。

※ レーダーキャンセルサウンド(P.163)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

- ・マイキャンセルエリア手前約200mに近づくると登録画面のキャンセルエリア解除ボタンが有効になり、対象のマイキャンセルエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。

- ・全てのマイキャンセルエリアを消去する場合は、「消去」⇒「キャンセルエリア」(P.166)を行ってください。



ピン登録について

「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。

※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する(➡ P.89)

A-2 約10秒以内に[ピン登録]にタッチする



ピンを登録します。

※すでに4箇所のピンが登録されている場合は「ピンが一杯です」と画面表示されて登録できません。

※GPS非測位時、投稿ピンは登録できません。

※方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

B：削除する

B-1 登録画面を表示する(➡ P.89)

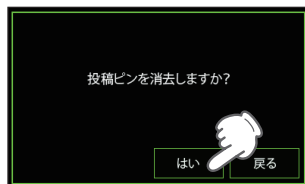
B-2 約10秒以内に[ピン投稿]にタッチする



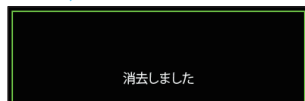
B-3 [ピン1消去]にタッチする



B-4 [はい]にタッチする



ピンを削除します。



全てのピン登録を消去する場合は、「消去」⇒「投稿ピン」(➡ P.166)を行ってください。

ピン投稿について

ピン登録で登録した投稿ピンを確認 / 投稿 / 削除することができます。

1. ピンを投稿する

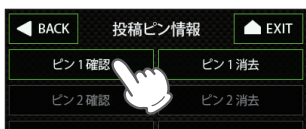
例：ピン1をオービスで投稿する

1-1 登録画面を表示する
(☞ P.89)

1-2 約10秒以内に[ピン投稿]
にタッチする



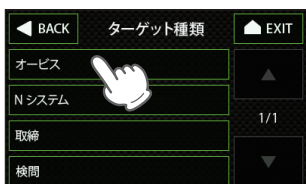
1-3 [ピン1確認]にタッチする



1-4 [登録投稿]にタッチする



1-5 [オービス]にタッチする



1-6 オービスの種類にタッチする



1-7 進行方向にタッチする



1-8 表示にタッチする



1-9 QRコードを読み取り投稿する



※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り投稿してください。

※ 別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を装着し、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]にタッチして投稿できます。

■ ターゲット種類

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締や、車両に測定装置を積載しての取締、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

● オービス

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。本機ではレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。 測定装置付近にパトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合。

● 対象方向の選択 (複数可)

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

進行方向	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向 (反対車線) に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

● 取締

取締の種類を選択します。

速度取締	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締。
追尾式取締	車両により、走行中の自車を追尾しての取締。
一時停止取締	一時停止違反の取締。
交差点取締	信号無視などの取締。
その他取締	上記に当てはまらない場合。

●速度取締、移動オービス

レーダー	レーダー波を用いた取締。
ステルス	計測する瞬間だけ電波を発射する取締。
光電管	道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締。
その他	上記以外の手法による取締。

●追尾式取締

追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面(パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

●取締日時

取締が行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1か月以内」から選択します。

●検問

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯電話	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

■投稿データのアイコンについて

取締・検問レベルによって、アイコンの色が決まっています。

・レベル4・5 金色アイコン



・レベル1~3 銀色アイコン



種 類(取締)	
	速度取締
	移動オービス
	一時停止
	交差点
	追尾
	その他

種 類(検問)	
	シートベルト
	飲酒
	携帯
	その他

2. ピンを削除投稿する

削除投稿は、以前取締機があったが撤去された場合などに使用します。

例：ピン1を削除投稿する

2-1 登録画面を表示する
(☞ P.89)

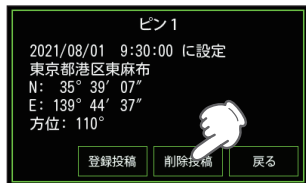
2-2 約10秒以内に[ピン投稿]
にタッチする



2-3 [ピン1 確認]にタッチする



2-4 [削除投稿]にタッチする



2-5 QRコードを読み取り削除
投稿する



※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り削除投稿してください。

※ 別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を装着し、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]にタッチで削除投稿できます。

ログ機能について

ログ機能をONにすると、走行データ(約18時間分)を本機に記録します。記録したデータは、付属(本体に装着済み)のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

- ※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。
- ※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。
- ※ 非測位時、時速10km/h未満の場合は記録されません。
- ※ ログの残量表示は「システム」⇒「ログ」⇒「ログ機能」にパーセント表示されます。
- ※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- ※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- ※ 記録容量が100%になりログ機能がOFFになっても消去を行うまで100%の表示は残ります。走行記録を消去する場合は、「消去」⇒「ログデータ」(P.166)を行ってください。

下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

OS : Microsoft Windows10、8、7

ご用意いただくもの

- ・ SDカードリーダーライター(使用中のSDカードに対応のもの)
- ・ GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ・ 弊社ホームページ(<https://www.yupiteru.co.jp>)をご覧くださいの上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter_setup.exe)をダウンロードしてください。

1. 走行データを記録する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



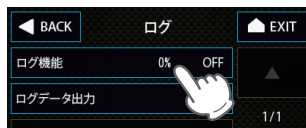
1-3 [システム]にタッチする



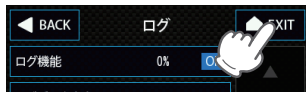
1-4 [ログ]にタッチする



1-5 [ログ機能]にタッチし、ONにする



1-6 [EXIT]にタッチし走行して走行データを記録する



※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能が[OFF]になります。

2. 走行データをコピーする

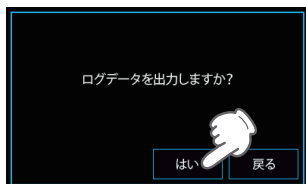
※ ログデータを出力しても、ログデータは消去されません。消去する場合は、「消去」⇒「ログデータ」(P.166)を行ってください。

2-1 手順「1-1 ～ 1-3」を行う

2-2 [ログデータ出力]にタッチする



2-3 [はい]にタッチする

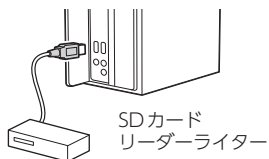


ディスプレイユニット用SDカード(本体に装着済み)に走行データ(※.log)がコピーされます。

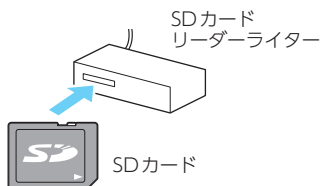
※ ファイル名は出力した日付になります。
21080100.log⇒2021年8月1日の00番のデータ。

3. 走行軌跡を確認する

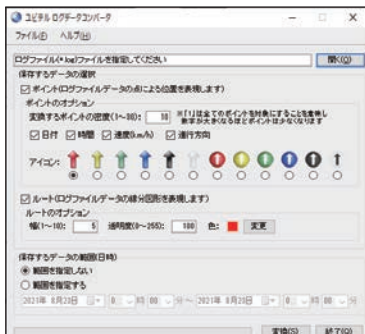
3-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



3-2 ディスプレイユニット用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



3-3 ユピテルログデータコンバータを起動する



[開く]ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.log)を選択してください。

3-4 保存する



[変換]ボタンをクリックし、好みのファイル名と保存先を指定して保存してください。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

3-5 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。
- ※ 走行軌跡確認後は、SDカードを本体に装着してご使用ください。
- ※ 必要に応じて、SDカード内にコピーした走行データ(※.log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

カスタムについて

本機能は、警報音やフォトフレームをお好みの音声や画像に変更することができます。

- ※ ディスプレイユニット用SDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで音声・画像データを保存しておいてください。
- ※ ディスプレイユニット用SDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようご注意ください。
- ※ 対応形式のデータであっても、エンコードソフトの設定や記録状態によっては本機の動作が不安定になる場合があります。あらかじめご了承ください。

1. お好みの音源でお知らせする

ディスプレイユニット用SDカードの「user」⇒「sound」フォルダにmp3ファイルを保存してください。

- ※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音になります。その場合は違うファイルでお試ください。
- ※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
例(起動音): 1.mp3 (「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります)
- ※ ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。
- ※ 起動音で設定した音声ファイルは、起動時に最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。

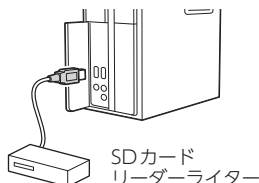
音声データ対応形式

- ・ 拡張子: MP3(.mp3)

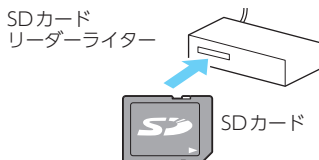
保存名の記載

- ・ 起動音: 1.mp3(再生時間上限なし)
- ・ オービスジングル: 2.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・ GPS 警報ジングル: 3.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・ GPS 告知ジングル: 4.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・ 無線警報ジングル: 5.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・ 測位アナウンス: 6.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・ レーダーメロディ 1: 7.mp3(再生時間上限なし)
- ・ レーザーメロディ: 8.mp3(再生時間上限なし)

1-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



1-2 ディスプレイユニット用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



1-3 音声データをsoundフォルダに入れる



音声データをSDカードの「user」⇒「sound」フォルダに入れます。

保存した音源への変更は、「音声」⇒「サウンドカスタム」にタッチし、変更する音声を選択して[カスタム]を選択してください。

※ タッチするたびに、音源を再生します。

※ [カスタム]に該当ファイルがない場合は、[サウンド1]が再生されます。



2. お好みの画像を表示する

ディスプレイユニット用SDカードの[user]⇒[photo]フォルダにJPEG ファイルを保存してください。

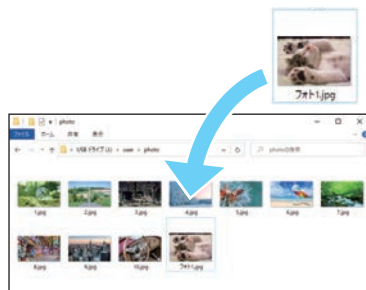
※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。再生される写真の順番はファイル名の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

画像データ対応形式

- ・拡張子：JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
- ・最大保存ファイル数：最大100ファイル(SDカード容量を超えない範囲)
- ・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

2-1 ② P.101手順「1-1 ～ 1-2」
を行う

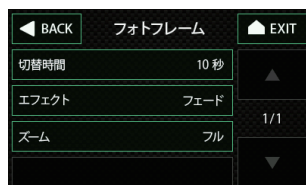
2-2 画像データをphotoフォルダ
に入れる



画像データをディスプレイ
ユニット用SDカードの[user]⇒
[photo]フォルダに入れます。

※ あらかじめ1.jpg～10.jpgの画像データ
が入っています。

フォトフレームの設定は、「マップ・待受」⇒「フォト
フレーム」にタッチして行ってください。
切替時間/エフェクト/ズームの設定ができます。
(② P.160)



3. お好みの画像をオープニングで表示する

ディスプレイユニット用SDカードの「user」⇒「logo」フォルダにJPEG ファイルを保存してください。

※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。

画像データ対応形式

- ・拡張子：JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
- ・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

3-1 ㊦ P.101手順「1-1 ～ 1-2」を行う

3-2 あらかじめ入っている「user」フォルダに新しいフォルダを作成する



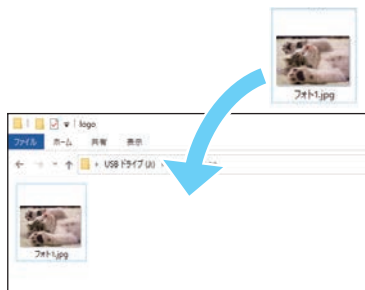
3-3 「logo」フォルダのファイル [1.jpg] を新しいフォルダに移動する



あらかじめ入っている [1.jpg] ファイルを別の位置に保存します。

※ ファイルを削除すると復元できませんのでご注意ください。

3-4 「logo」フォルダにお好みの画像データを入れる

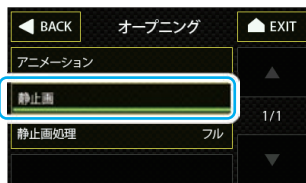


「logo」フォルダには表示させるファイルのみを入れてください。

※ ファイル名の指定はありません。

※ 複数ファイルを入れないようにしてください。

オープニングの設定は、「画面・LED」⇒「オープニング」にタッチし、静止画を選択してください。
(㊦ P.162)



4. 待受画面に背景を表示する

SDカードの「user」⇒「back」フォルダにJPEGファイルを保存してください。

※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。

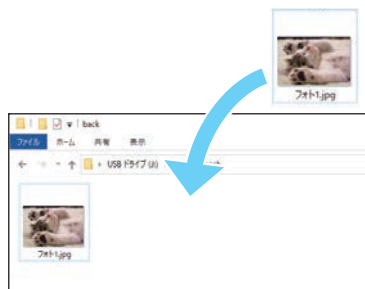
※ 待受画面が[マップ][フォトレーム]の場合、背景は表示されません。

画像データ対応形式

- ・拡張子：JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
- ・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

4-1 P.101手順「1-1～1-2」
を行う

4-2 画像データをbackフォルダ
に入れる

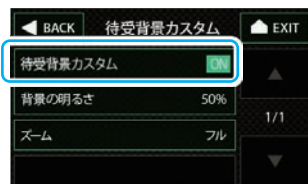


画像データをSDカードの「user」
⇒「back」フォルダに入れます。

※ ファイル名の指定はありません。

※ 複数ファイルを入れないようにしてくだ
さい。

待受背景の設定は、「マップ・待受」⇒「待受背景カス
タム」⇒「待受背景カスタム」にタッチしてONにし
てください。(P.160)



例



<デジタル時計>



<プリセットE>



<プリセットH>

ディスプレイユニットで再生する

録画ファイルを本機で再生することができます。

※ ドライブレコーダー設定時/再生時は自動で録画停止になるためその際は録画をすることはできません。

※ イベント記録中は再生することはできません。

※ フロントカメラとリアカメラの映像を同時に再生することはできません。

1. 再生モードを表示する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [DR操作]にタッチする



1-3 [DR再生]にタッチする



1-4 再生したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



<フォルダ選択画面>



<ファイル選択画面>

操作方法

2. 録画ファイルを再生する

2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、▶にタッチする

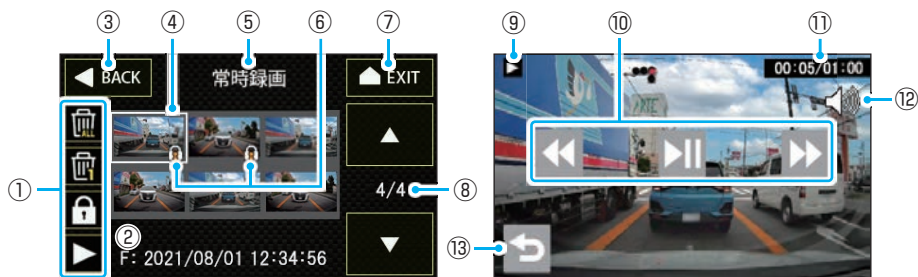


<ファイル再生画面>

録画ファイルを再生します。

■ 再生モード

再生モードでは、録画ファイルをディスプレイユニットで再生できます。



<ファイル選択画面(常時録画)>

<ファイル再生画面>

※ ⑩⑫⑬はファイル再生画面にタッチすると数秒表示されます。

No.	表示名	説 明	
①	操作メニュー		フォルダ内の録画ファイルを全て削除します。(P.111)
			選択中の1ファイルを削除します。(P.110)
			選択中の録画ファイルを保護します。保護したファイルを選択中に押すと、保護解除します。(P.109) ※ 保護した録画ファイルは、削除できません。保護を解除するか、SDカードをフォーマットしてください。
			選択した録画ファイルを再生します。
②	記録日時	選択中の録画ファイルの記録日時を表示します。	
③	BACK	フォルダ選択画面に戻ります。	
④	選択中のファイル	選択中の録画ファイルに白色枠を表示します。	
⑤	フォルダ種類	フォルダの種類を表示します。(常時録画/ワンタッチイベント記録/Gセンサーイベント記録/駐車監視録画/駐車監視イベント記録/DMSわき見イベント記録/DMS居眠りイベント記録)	
⑥	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。	
⑦	EXIT	待受画面に戻ります。	
⑧	ページ数	現在のページ数/総ページ数を表示します。	
⑨	動作アイコン		再生中に表示します。
			早送り中に表示します。
			早戻し中に表示します。
			一時停止中の表示します。
			停止中に表示します。
			2倍速の早送り/早戻し中に表示します。
			4倍速の早送り/早戻し中に表示します。
			8倍速の早送り/早戻し中に表示します。

No.	表示名	説 明
⑩	再生ボタン	再生中のファイルの再生速度を切り替え及び、再生/一時停止を行います。 ※ 早送り/早戻し中は音声再生されません。
		 再生/一時停止を行います。
		 早送りします。
		 早戻しします。
⑪	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑫	音声表示	タッチするたびに音声のON/OFFが切り替わります。  ON  OFF
⑬	戻る	ファイル選択画面に戻ります。

■ 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンを押すことで再生速度を切り替えることができます。

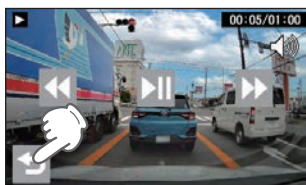


3. 録画を再開する

3-1 ファイル再生画面にタッチする



3-2 [REWIND] にタッチする



3-3 [EXIT] にタッチする



待受画面を表示し、自動で録画を開始します。

※ 自動録画開始設定 (P.167) が [OFF] の場合、自動で録画を開始しません。[ON] にするか、DR 操作の [録画開始] にタッチしてください。

録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

※ 保護した録画ファイルは削除できません。削除する場合は保護を解除、またはフォーマットを行うことで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみフロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを保護/保護解除した場合、対になる録画ファイルも一緒に保護/保護解除されます。

⚠ 注意

初期値では、保護していない録画ファイルは各記録方法の上限に達すると上書きされます。
(初期値「上書きモード：全て上書き」)

1. 録画ファイルを保護する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [DR操作]にタッチする



1-3 [DR再生]にタッチする



1-4 保護したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



1-5 保護したい録画ファイルにタッチする



1-6 アイコンにタッチする



選択中の録画ファイルを保護します。

※ 別売品のリアカメラユニット(OPCM203)接続時、選択中の録画ファイルと対になる録画ファイルも保護します。

※ 保護が完了すると録画ファイル選択画面上で録画ファイルに🔒アイコンを表示します。

保護を解除する場合は、再度手順「1-5～1-6」を行ってください。保護を解除すると、ファイル選択画面上の🔒アイコン表示が消えます。

録画ファイルの削除について

録画ファイルは下記の手順で削除することができます。

※ 保護した録画ファイルは削除できません。削除する場合は保護を解除、またはフォーマットを行うことで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンなどにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみフロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に削除されます。

1. 個別に削除する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [DR操作]にタッチする



1-3 [DR再生]にタッチする



1-4 削除したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



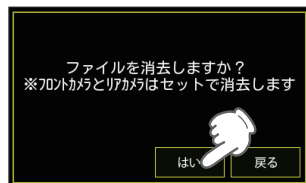
1-5 削除したい録画ファイルにタッチする



1-6 [削除]にタッチする



1-7 [はい]にタッチする



「ファイルを消しました」と数秒表示し、選択中の録画ファイルを削除します。

※ 別売品のリアカメラユニット(OPCM203)接続時、選択中の録画ファイルと対になる録画ファイルも削除します。

※ 対になる録画ファイルは個別に削除することはできません。

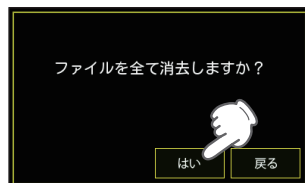
2. フォルダ別に削除する

2-1 ① P.110手順「手順 1-1
～ 1-4」を行う

2-2 ② アイコンにタッチする

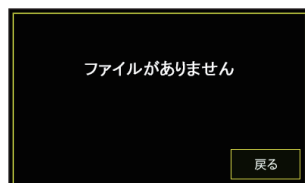


2-3 ③ [はい]にタッチする



「ファイルを全て消去しました」と
数秒表示し、フォルダ選択画に戻
ります。

フォルダに録画ファイルがない場合、「ファイルが
ありません」と表示されます。



待受画面について

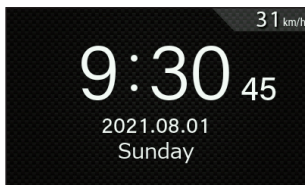
警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は14種類と待受画面を順番に表示する[AUTO]、待受画面を表示しない[OFF]があります。



<マップ>



<ライブビュー※1>



<デジタル時計>



<プリセットA※2>



<プリセットB※2>



<プリセットC※2>



<プリセットD※2>



<プリセットE※2>



<プリセットF※2>



<プリセットG※2>



<プリセットH※2>



<フォトフレーム>



<衛星情報>



<ハイブリッド※3※4>

- ※ 1：別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみ、リアカメラ映像は表示されます。
- ※ 2：表示項目 / 配置を変更して、お好みの情報を表示できます。
- ※ 3：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。
- ※ 4：ミニメーターの表示項目のみ変更できます。

1. 待受画面の変更方法

例：デジタル時計に変更する

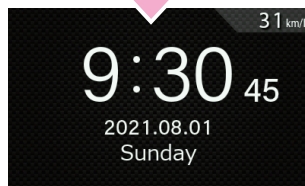
1-1 待受画面にタッチする



1-2 [待受変更]にタッチする



1-3 [デジタル時計]にタッチする



デジタル時計を表示します。

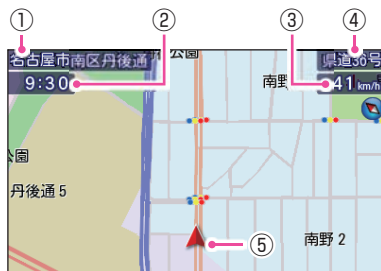
待受画面の種類について

1. マップ

全国版の地図上を自転車アイコンが移動します。

- ①地名
- ②時計
- ③速度※¹
- ④道路名
- ⑤自転車アイコン

※ 1：GPS 非測定時は走行速度は表示しません。
(OBDIIアダプター接続時除く)



■ メッセージウィンドウについて (P.144)

警報時やお知らせ時に画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。



警報 (赤)



警告 (黄)



告知 (青)



情報 (緑)

■ 駐車禁止・車上狙い多発アイコン/WLANアイコンについて

画面左上に駐車禁止エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコン、WLANアイコンを表示します。
駐車禁止エリア、車上狙い多発エリアではアイコンを表示し、エリア外では表示しません。
WLANアイコンは、別売品のWLAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を装着し、無線LAN接続をすると表示します。(P.184)



駐車禁止エリアアイコン



WLANアイコン

車上狙い多発エリアアイコン

※ 警報モードによっては
駐車禁止エリアアイコン/
車上狙い多発エリ
アイコンは表示され
ません。(P.171)

■ マップ表示形式について

マップ表示を常に進行方向が上の状態の「ヘディングアップ」、または常に北が上の状態の「ノースアップ」の2種類から選択できます。(☛ P.160「マップ」⇒「マップ表示形式」)



<ヘディングアップ>



<ノースアップ>

■ マップ配色について

マップ配色には、[AUTO][昼配色][夜配色]があります。[AUTO]の場合、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより暗いと判断された場合には[夜配色]に切り替わります。設定により、どちらかの配色に固定することができます。(☛ P.160「マップ」⇒「マップ配色」)



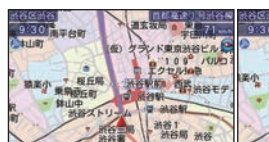
<昼配色>(白基調)



<夜配色>(黒基調)

■ マップズームについて

地図縮尺を4種類から選択できます。(☛ P.160「マップ」⇒「マップズーム」)



<ZOOM1>



<ZOOM2>



<ZOOM3>



<ZOOM4>

■ マップアイコンについて

地図に表示するアイコンを選択できます。(複数選択可)(☛ P.160「マップ」⇒「マップアイコン」)



<コンビニ>



<ファストフード>



<ファミレス>



<ガソリンスタンド>



<その他>

2. ライブビュー

カメラユニットの映像を表示します。

- ※  キーにタッチで表示することもできます。
- ※ フロントまたはリアカメラの映像のみにすることもできます。
( P.167「映像表示」⇒「ライブビュー」)
- ※ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみ、リアカメラ映像は表示されます。

- ① リアカメラ映像
- ② フロントカメラ映像
- ③ 録画アイコン



■ 録画アイコンについて

画面右上に録画動作をアイコンで表示します。

アイコン	説明
	常時録画中に表示します。
	Gセンサー記録中に表示します。
	ワンタッチ記録中に表示します。
	DMS わき見記録中に表示します。

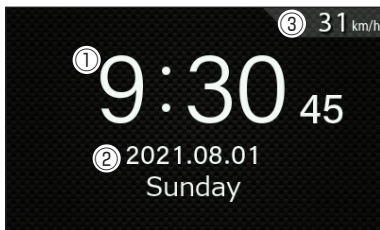
アイコン	説明
	DMS 居眠り記録中に表示します。
	録画停止中に表示します。
	異常などがあった場合に表示します。 ( P.208)

3. デジタル時計

デジタル時計、カレンダー(年/月/日/曜日)、速度を表示します。

- ※ 時計は24時間表示です。
- ※ 項目/配置の変更はできません。

- ① デジタル時計
- ② カレンダー
- ③ 速度



4. プリセットA

大メーター1個(①)、小メーター2個(②③)を表示します。

- ※ 項目/配置を変更できます。( P.120)

- ① アナログ時計
- ② カレンダー
- ③ 0-180km/h速度



5. プリセットB

大メーター 1 個 (①)、小メーター 3 個 (②③④) を表示します。

※ 項目 / 配置を変更できます。(P.120)

- ①★レーダースコープ
- ②★アナログ時計
- ③★平均速度
- ④★0-180km/h速度

初期値：★



6. プリセットC

大メーター 1 個 (③)、小メーター 4 個 (①②④⑤) を表示します。

※ 項目 / 配置を変更できます。(P.120)

- ①★アナログ時計
- ②★平均速度
- ③★0-180km/h速度
- ④★気圧
- ⑤★最高速度

初期値：★



7. プリセットD

大メーター 1 個 (④)、ミニメーター 3 個 (①②③) を表示します。

※ 項目 / 配置を変更できます。(P.120)

- ①★カレンダー
- ②★時刻
- ③★0-180km/h速度
- ④★傾斜・方位

初期値：★



8. プリセットE

大メーター 1 個 (⑥)、文字メーター 5 個 (①②③④⑤) を表示します。

※ 項目 / 配置を変更できます。(P.120)

- ①★カレンダー
- ②★時刻
- ③★速度
- ④★気圧
- ⑤★エコドライブ総合
- ⑥★潮汐情報

初期値：★



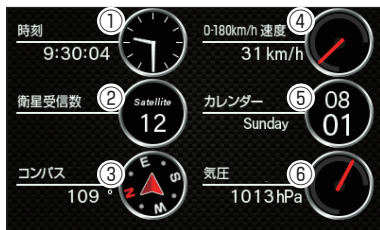
9. プリセットF

ミニメーター 6個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.120)

- ①★時刻
- ②★衛星受信数
- ③★コンパス
- ④★0-180km/h速度
- ⑤★カレンダー
- ⑥★気圧

初期値：★



10. プリセットG

小メーター 8個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.120)

- ①★ピッチ
- ②★ロール
- ③★コンパス
- ④★0-180km/h速度
- ⑤★アナログ時計
- ⑥★カレンダー 2
- ⑦★気圧
- ⑧★エコドライブ

初期値：★



11. プリセットH

文字メーター 10個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.120)

- ①★カレンダー
- ②★速度
- ③★最高速度
- ④★前後加速度
- ⑤★エコドライブ総合
- ⑥★時刻
- ⑦★平均速度
- ⑧★衛星受信数
- ⑨★左右加速度
- ⑩★気圧

初期値：★



12. フォトフレーム

写真を表示します。自動マップ切替が[待受固定]の場合、警報や公開取締情報は表示せず音声による警報のみでお知らせします。

※ お好みの画像を表示するには装着されているSDカードの「user」⇒「photo」フォルダにパソコンなどで保存する必要があります。(☛ P.102)

※ 写真の切替時間、切替時の表示方法(エフェクト)、写真の表示範囲(ズーム)の設定ができます。(☛ P.160 「フォトフレーム」)



13. 衛星情報

進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

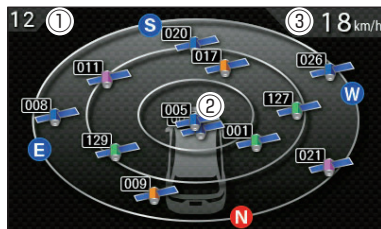
※ 項目/配置の変更はできません。

①衛星受信数

②衛星位置・方位

衛星の仰角と方位角を位置として表示します。外周に方位を示します。

③速度



緑色(みちびき、GAGAN)、
オレンジ色(グロナス)、青色(GPS)、
紫色(GALILEO)

14. ハイブリッド

ハイブリッド情報とミニメーターを2つ(①②)表示します。

※ トヨタハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

表示項目の詳細はバッテリー/ハイブリッドを参照ください。(P.121)

※ ミニメーター(①②)の項目は変更できます。(P.120)

※ ④⑥⑦⑧⑨はハイブリッド情報が取得できない場合は表示しません。

①★時刻

②★0-180km/h速度

③エンジン回転数

/エンジン水温

④HVエアコン消費電力

⑤今回エンジン走行比率

/瞬間燃費

⑥緑：エンジンブレーキ

黄：エンジン駆動

⑦赤(▼)：ジェネレーター発電

⑧緑：フロントモーター回生

黄：フロントモーター駆動

⑨バッテリー残量

⑩緑：リアモーター回生^{*1}

黄：リアモーター駆動^{*1}

※ 1：四輪駆動でない車両の場合は表示しません。



初期値：★

※ エンジンの色は状態により変化します。(白色:停止、緑色:アイドリング、赤色:駆動、水色:エンジンブレーキ)

15. AUTO

デジタル時計～ハイブリッド^{*1}の12種類の待受画面を1分ごとに順番に切り替えて表示します。

※ 1：ハイブリッド待受画面は、トヨタハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

※ 切替時間/表示待受は変更できます。(P.160[AUTO])

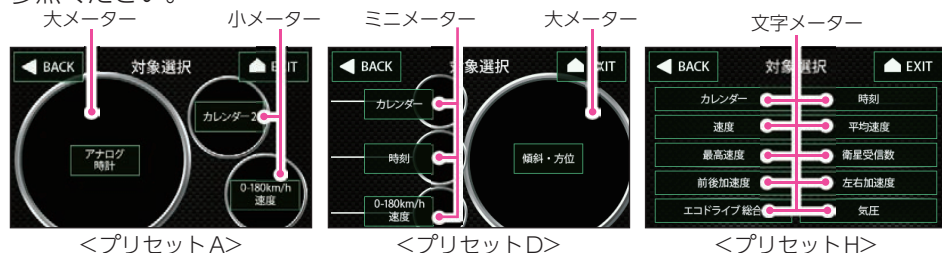
16. OFF

待受画面を表示しません。自動マップ切替が[待受固定]の場合、警報や公開取締情報は表示せず音声による警報のみでお知らせします。

※ イベント記録、わき見/居眠り警告時は通常通りお知らせします。

項目 / 配置変更のしかた

待受画面の[プリセット A/B/C/D/E/F/G/H]は表示項目と配置、[ハイブリッド]は表示項目を変更することができます。変更できる項目の詳細は P.121 を参照ください。



1. 表示項目を変更する

例：待受画面[プリセットA]の大メーターを変更する

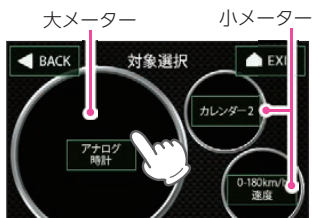
1-1 待受画面にタッチする



1-2 [項目変更]にタッチする



1-3 大メーターにタッチする



1-4 表示したい項目にタッチする



1-5 [EXIT]にタッチする



大メーターが変更されます。

2. 項目設定一覧

※ OBDⅡアダプターで接続していない場合や項目を取得できない車両の場合など、項目を選択することはできません。あらかじめご了承ください。

■ 大メーター(76項目)

●：[OBD]⇒[平均クリア]でリセットされます。

▲：[OBD]⇒[OBD情報オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

大メーター項目		OBD	説 明
時計・カレンダー	アナログ時計	—	時刻をアナログで表示します。
	デジタル時計	—	時刻(デジタル)と年/月/日/曜日を表示します。
速度	0-180km/h速度	—	速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
	0-240km/h速度	—	
	平均速度(●)	—	今回の速度の平均値を表示します。
	5秒速度	—	発車から5秒後の速度を表示します。
走行時間	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。 運転時間の秒：左半円バー、運転時間の分：長針、運転時間の時：短針、走行時間/停車時間比率：右バー
	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。 走行時間の秒：左半円バー、走行時間の分：長針、走行時間の時：短針、走行時間/停車時間比率：右バー
	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。 停車時間の秒：左半円バー、停車時間の分：長針、停車時間の時：短針、停車時間/走行時間比率：右バー
区間走行時間	ラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
	0-1000m時間	要	
走行比率	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	走行時間比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	速度別走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	エンジン走行比率(●)	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	走行距離	要	今回走行距離(●)/走行距離(●)/生涯走行距離(▲)を表示します。
	生涯エンジン走行距離(▲)	要	生涯エンジン走行距離/生涯エンジン走行比率/生涯走行距離を表示します。
加速度	加速度	—	前後左右方向の加速度を表示します。 ※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。 ※ 中央のボールが移動しなくなった場合は、内部で加速度の補正をしています。しばらくすると加速度に合わせ移動しますのでお待ちください。
	前後加速度	—	前後方向の加速度をアナログと数値で表示します。
	左右加速度	—	左右方向の加速度をアナログと数値で表示します。
加速時間	加速時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
	平均加速時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
	最短加速時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の最短時間を表示します。

大メーター項目		OBD	説 明
傾斜・方位 ^{*9}	傾斜・方位	—	前後左右の傾斜角と方位を表示します。
	ピッチレート	—	ピッチ角速度を表示します。
	ロールレート	—	ロール角速度を表示します。
	ヨーレート	—	ヨー角速度を表示します。
燃費 ^{*2}	瞬間燃費	要	瞬間の燃費を表示します。
	平均燃費(●)	要	燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)	要	直近 16km 区間での燃費を表示し、2km ごとに更新されます。
燃料	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	残燃料・燃料レベル	要	残りの燃料/燃料レベル(割合)を表示します。
	消費燃料	要	今回消費燃料(●)/消費燃料(●)/生涯消費燃料(▲)を表示します。
圧力 ^{*1}	気圧	—	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧(相対)	要	インタークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
	インマニ圧(絶対)	要	インタークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧)
	ブースト圧	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
温度	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
エンジン	スロットル開度 ^{*4}	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	エンジン負荷 ^{*4}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数(4000)	要	エンジン回転数を表示します。(メーター最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数(6000)		
	エンジン回転数(8000)		
	HV エンジンパワー	要 ^{*5}	エンジンの出力を表示します。
バッテリー	HV アクセル開度 ^{*7}	要 ^{*5}	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	バッテリー電圧	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	バッテリー電流	要	バッテリーの電流値を表示します。
	HV バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 補機バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 全電池容量	要 ^{*5}	バッテリーの充電率を表示します。
	HV バッテリー電流	要 ^{*5}	HV バッテリーの電流値を表示します。
	HV 補機バッテリー電流	要 ^{*6}	HV 補機バッテリーの電流値を表示します。
	HV 昇圧後電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。

大メーター項目		OBD	説 明
ハイブリッド	ハイブリッド情報	要※5	エンジン・モーター等の出力を表示します。 上部バー：今回エンジン走行比率、電池：HV全電池容量(8分割)、矢印：モーター駆動/回生/充電、暖気：強制暖気、充電：強制充電
	HVシステムパワー	要※5	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー	要※5	フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー	要※5	リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比	要※5	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力	要※5	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HV ジェレネータ 発電量	要※5	充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空	要※5	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
衛星	衛星情報	—	衛星の受信状態を表示します。衛星の種類により、色が4色に変わります。進行方向が上方向です。
その他	潮汐情報	—	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度	—	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ※8	—	エコドライブポイントを表示します。
	レーダースコープ	—	レーダースコープを表示します。
	OFF	—	大メーターを表示しません。

※ 1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。

※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※ 3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※ 4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※ 5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※ 6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。

※ 7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

※ 8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

※ 9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ 小メーター(138項目)

●：「OBD」⇒「平均クリア」でリセットされます。

▲：「OBD」⇒「OBD 情報オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

小メーター項目		OBD	説 明
時計・カレンダー	アナログ時計	—	時刻をアナログで表示します。
	デジタル時計	—	時刻をデジタルで表示します。
	カレンダー 1	—	月/日を表示します。
	カレンダー 2	—	月/日/曜日を表示します。
速度	0-180km/h速度	—	速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
	0-240km/h速度	—	
	平均速度(●)	—	今回の速度の平均値を表示します。
	一般道平均速度(●)	—	一般道の平均速度を表示します。
	高速道平均速度(●)	—	高速道の平均速度を表示します。
	最高速度	—	最高速度を表示します。
	5秒速度	—	発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度	—	発車から5秒後の平均速度を表示します。
	最高5秒速度	—	発車から5秒後の最高速度を表示します。
走行時間	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
区間走行時間	1000mラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム		
	10000mラップタイム		
	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間		
	0-400m最短時間		
	0-1000m時間		
	0-1000m平均時間		
	0-1000m最短時間		
走行比率	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	走行時間比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	速度別走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	今回エンジン走行比率(●)	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率(▲)	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離(●)	要	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離(●)	要	走行距離を表示します。
	生涯走行距離(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。

小メーター項目		OBD	説 明
走行距離	今回エンジン走行距離 (●)	要	今回エンジンで走行した距離を表示します。
	生涯エンジン走行距離 (▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	—	前後方向の加速度を表示します。
	最大前後加速度	—	最大前後方向の加速度を表示します。
	最大前後減速度	—	最大前後方向の減速度を表示します。
	左右加速度	—	左右方向の加速度を表示します。
	最大左右加速度	—	最大左右方向の加速度を表示します。
加速時間	0-20km /h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km /h 加速時間		
	0-60km /h 加速時間		
	0-80km /h 加速時間		
	0-100km /h 加速時間		
	0-20km /h 平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km /h 平均加速時間		
	0-60km /h 平均加速時間		
	0-80km /h 平均加速時間		
	0-100km /h 平均加速時間		
	0-20km /h 最短加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km /h 最短加速時間		
	0-60km /h 最短加速時間		
	0-80km /h 最短加速時間		
	0-100km /h 最短加速時間		
傾斜・方位 ^{*9}	ピッチ	—	前後方向の回転を表示します。
	ロール	—	左右方向の回転を表示します。
	コンパス	—	北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
	ピッチレート	—	ピッチ角速度を表示します。
	最大ピッチレート	—	ピッチ角速度の最大値を表示します。
	ロールレート	—	ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート	—	ロール角速度の最大値を表示します。
	ヨーレート	—	ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート	—	ヨー角速度の最大値を表示します。

小メーター項目		OBD	説 明
燃費 ^{*2}	瞬間燃費	要	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。
	最大今回燃費(●)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)	要	燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)	要	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)	要	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	残燃料・燃料レベル	要	残りの燃料 / 燃料レベル (割合) を表示します。
	今回消費燃料(●)	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)	要	消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力 ^{*1}	気圧	一	現在の気圧を表示します。
	インマニ二圧 (相対)	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
	最大インマニ二圧 (相対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(相対圧)
	インマニ二圧 (絶対)	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧)
	最大インマニ二圧 (絶対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(絶対圧)
	ブースト圧	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
	最大ブースト圧	要	最大ブースト圧を表示します。(相対圧)
温度	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	最高エンジン水温	要	エンジン冷却水の最高温度を表示します。
	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
	最高吸気温度	要	最高吸気温度を表示します。
	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
	最高外気温 ^{*3}	要	最高外気温度を表示します。
	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
	最高エンジン油温	要	エンジンオイルの最高温度を表示します。
エンジン	スロットル開度 ^{*4}	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	エンジン負荷 ^{*4}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。

小メーター項目		OBD	説 明
エンジン	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数 (4000)	要	エンジンの回転数を表示します。(メーターの最大値が 4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数 (6000)	要	
	エンジン回転数 (8000)	要	
	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
	HV エンジンパワー	要 ^{*5}	エンジンの出力を表示します。
	HV アクセル開度 ^{*7}	要 ^{*5}	アクセルの踏みこみ量を表示します。
バッテリー	バッテリー電圧	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	バッテリー電流	要	バッテリーの電流値を表示します。
	HV バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 補機バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 全電池容量	要 ^{*5}	バッテリーの充電率を表示します。
	HV バッテリー電流	要 ^{*5}	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	HV 補機バッテリー電流	要 ^{*6}	HV 補機バッテリーの電流値を表示します。
	HV 昇圧後電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
ハイブリッド	HV システムパワー	要 ^{*5}	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー	要 ^{*5}	フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー	要 ^{*5}	リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比	要 ^{*5}	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力	要 ^{*5}	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HV ジェネレータ 発電量	要 ^{*5}	充電用発電機の発電量を表示します。
	HV 滑空	要 ^{*5}	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
衛星	衛星受信数	—	衛星の受信状態を表示します。
	GPS 受信数	—	現在のGPS 受信数を表示します。
	GLONASS 受信数	—	現在のGLONASS 受信数を表示します。
	QZSS 受信数	—	現在のQZSS 受信数を表示します。
	SBAS 受信数	—	現在のSBAS 受信数を表示します。
	GALILEO 受信数	—	現在のGALILEO 受信数を表示します。
その他	潮汐情報	—	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 ※ 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度	—	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ ^{*8}	—	エコドライブポイントを表示します。
	レーダースコープ	—	レーダースコープを表示します。
	OFF	—	小メーターを表示しません。

- ※ 1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
- ※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
- ※ 3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
- ※ 4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
- ※ 5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。
- ※ 6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ) を装着時のみ選択できます。
- ※ 7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
- ※ 8：エコドライブのポイント (pt) は弊社独自の採点方法で、「急加速 (Accel)」、「急減速 (Brake)」、「アイドリング (Idling)」、「経済速度 (Speed)」から算出した総合点 (Total) です。
- ※ 9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ ミニメーター(146項目)

●：「OBD」⇒「平均クリア」でリセットされます。

▲：「OBD」⇒「OBD 情報オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

ミニメーター項目		OBD	説 明
時計・カレンダー	時刻	—	時計をアナログとデジタルで表示します。
	カレンダー	—	月/日/曜日を表示します。
速度	0-180km/h速度	—	速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
	0-240km/h速度	—	
	平均速度(●)	—	今回の速度の平均値を表示します。
	一般道平均速度(●)	—	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	高速道平均速度(●)	—	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	最高速度	—	今回の速度の最高値を表示します。
	5秒速度	—	発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度	—	発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
	最高5秒速度	—	発車から5秒後の速度の最高値を表示します。
走行時間	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
	1-20km/h走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
	20-40km/h走行時間	要	
	40-60km/h走行時間	要	
	60-80km/h走行時間	要	
	80-100km/h走行時間	要	
	100km/h以上走行時間	要	
	1000mラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム	要	
	10000mラップタイム	要	
区間走行時間	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間	要	
	0-400m最短時間	要	
	0-1000m時間	要	
	0-1000m平均時間	要	
	0-1000m最短時間	要	
走行比率	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	1-20km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	20-40km/h走行比率	要	
	40-60km/h走行比率	要	
	60-80km/h走行比率	要	
	80-100km/h走行比率	要	
	100km/h以上走行比率	要	

ミニメーター項目		OBD	説 明
走行比率	今回エンジン走行比率(●)	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率(▲)	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離(●)	要	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離(●)	要	走行距離を表示します。
	生涯走行距離(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回エンジン走行距離(●)	要	エンジンで走行した距離を表示します。
	生涯エンジン走行距離(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	—	前後方向の加速度を表示します。
	最大前後加速度	—	前後加速度の最大値を表示します。
	最大前後減速度	—	前後減速度の最大値を表示します。
	左右加速度	—	左右方向の加速度を表示します。
	最大左右加速度	—	左右加速度の最大値を表示します。
加速時間	0-20km /h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km /h 加速時間	要	
	0-60km /h 加速時間	要	
	0-80km /h 加速時間	要	
	0-100km /h 加速時間	要	
	0-20km /h 平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km /h 平均加速時間	要	
	0-60km /h 平均加速時間	要	
	0-80km /h 平均加速時間	要	
	0-100km /h 平均加速時間	要	
	0-20km /h 最短加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km /h 最短加速時間	要	
	0-60km /h 最短加速時間	要	
	0-80km /h 最短加速時間	要	
	0-100km /h 最短加速時間	要	
傾斜・方位 ^{*9}	ピッチ	—	前後方向の回転を表示します。
	ロール	—	左右方向の回転を表示します。
	コンパス	—	北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
	ピッチレート	—	ピッチ角速度を表示します。

ミニメーター項目		OBD	説 明
傾斜・方位 ^{*9}	最大ピッチレート	—	ピッチ角速度の最大値を表示します。
	ロールレート	—	ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート	—	ロール角速度の最大値を表示します。
	ヨーレート	—	ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート	—	ヨー角速度の最大値を表示します。
燃費 ^{*2}	瞬間燃費	要	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源ONごとにリセットされます。
	最大今回燃費(●)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)	要	燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)	要	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)	要	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	今回消費燃料(●)	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)	要	消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力 ^{*1}	気圧	—	現在の気圧を表示します。
	インマニ二圧(相対)	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
	最大インマニ二圧(相対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(相対圧)
	インマニ二圧(絶対)	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧)
	最大インマニ二圧(絶対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(絶対圧)
	ブースト圧	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
	最大ブースト圧	要	最大ブースト圧を表示します。(相対圧)
温度	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
	最高吸気温度	要	吸気温の最高値を表示します。
	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
	最高外気温 ^{*3}	要	外気温の最高値を表示します。
	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
	最高エンジン油温	要	エンジン油温の最高値を表示します。

ミニメーター項目		OBD	説 明
エンジン	スロットル開度 ^{*4}	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	エンジン負荷 ^{*4}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数 (4000)	要	エンジンの回転数を表示します。(メーターの最大値が 4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数 (6000)		
	エンジン回転数 (8000)		
	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
	HV エンジンパワー	要 ^{*5}	エンジンの出力を表示します。
	HV アクセル開度 ^{*7}	要 ^{*5}	アクセルの踏みこみ量を表示します。
バッテリー	バッテリー電圧	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	バッテリー電流	要	バッテリーの電流値を表示します。
	HV バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 補機バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 全電池容量	要 ^{*5}	バッテリーの充電率を表示します。
	HV バッテリー電流	要 ^{*5}	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	HV 補機バッテリー電流	要 ^{*6}	HV 補機バッテリーの電流値を表示します。
	HV 昇圧後電圧	要 ^{*5}	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
ハイブリッド	HV システムパワー	要 ^{*5}	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Fr モーターパワー	要 ^{*5}	フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rr モーターパワー	要 ^{*5}	リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rr トルク配分比	要 ^{*5}	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C 消費電力	要 ^{*5}	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HV ジェネレータ 発電量	要 ^{*5}	充電用発電機の発電量を表示します。
	HV 滑空	要 ^{*5}	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
衛星	衛星受信数	—	衛星の受信状態を表示します。
	GPS 受信数	—	現在のGPS 受信数を表示します。
	GLONASS 受信数	—	現在のGLONASS 受信数を表示します。
	QZSS 受信数	—	現在のQZSS 受信数を表示します。

ミニメーター項目		OBD	説 明
衛星	SBAS 受信数	—	現在のSBAS 受信数を表示します。
	GALILEO 受信数	—	現在のGALILEO 受信数を表示します。
その他	潮汐情報	—	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 ※ 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度	—	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ ^{*8}	—	エコドライブ総合ポイントを表示します。
	OFF	—	ミニメーターを表示しません。

- ※ 1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
- ※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
- ※ 3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
- ※ 4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
- ※ 5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
- ※ 6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
- ※ 7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
- ※ 8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。
- ※ 9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ 文字メーター(161項目)

●：「OBD」⇒「平均クリア」でリセットされます。

▲：「OBD」⇒「OBD情報オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

文字メーター項目		OBD	説 明
時計・カレンダー	時刻	—	時刻をデジタルで表示します。
	カレンダー	—	年/月/日/曜日を表示します。
速度	速度	—	速度を表示します。
	平均速度(●)	—	今回の速度の平均値を表示します。
	一般道平均速度(●)	—	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	高速道平均速度(●)	—	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	最高速度	—	今回の速度の最高値を表示します。
	5秒速度	—	発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度	—	発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
	最高5秒速度	—	発車から5秒後の速度の最高値を表示します。
走行時間	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
	1-20km/h走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
	20-40km/h走行時間		
	40-60km/h走行時間		
	60-80km/h走行時間		
	80-100km/h走行時間		
	100km/h以上走行時間		
区間走行時間	1000mラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム		
	10000mラップタイム		
	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間		
	0-400m最短時間		
	0-1000m時間		
	0-1000m平均時間		
	0-1000m最短時間		
走行比率	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	1-20km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	20-40km/h走行比率		
	40-60km/h走行比率		
	60-80km/h走行比率		
	80-100km/h走行比率		
	100km/h以上走行比率		

文字メーター項目		OBD	説 明
走行比率	今回エンジン走行比率(●)	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率(▲)	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離(●)	要	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離(●)	要	走行距離を表示します。
	生涯走行距離(▲)	要	OBD情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回エンジン走行距離(●)	要	今回エンジン走行時での走行距離を表示します。
	生涯エンジン走行距離(▲)	要	OBD情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	—	前後方向の加速度を表示します。
	最大前後加速度	—	前後加速度の最大値を表示します。
	最大前後減速度	—	前後減速度の最大値を表示します。
	左右加速度	—	左右方向の加速度を表示します。
	最大左右加速度	—	左右加速度の最大値を表示します。
加速時間	0-20km/h加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km/h加速時間		
	0-60km/h加速時間		
	0-80km/h加速時間		
	0-100km/h加速時間		
	0-20km/h平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km/h平均加速時間		
	0-60km/h平均加速時間		
	0-80km/h平均加速時間		
	0-100km/h平均加速時間		
	0-20km/h最短加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km/h最短加速時間		
	0-60km/h最短加速時間		
	0-80km/h最短加速時間		
	0-100km/h最短加速時間		
傾斜・方位 ^{*9}	ピッチ	—	前後方向の回転を表示します。
	ロール	—	左右方向の回転を表示します。
	コンパス	—	北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。

文字メーター項目		OBD	説 明
傾斜・方位 ^{*9}	ピッチレート	—	ピッチ角速度を表示します。
	最大ピッチレート	—	ピッチ角速度の最大値を表示します。
	ロールレート	—	ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート	—	ロール角速度の最大値を表示します。
	ヨーレート	—	ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート	—	ヨー角速度の最大値を表示します。
燃費 ^{*2}	瞬間燃費	要	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源ONごとにリセットされます。
	最大今回燃費(●)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)	要	燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)	要	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)	要	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	今回消費燃料(●)	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)	要	消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)	要	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力	気圧	—	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧(相対)	要	インマニ圧の相対値を表示します。
	最大インマニ圧(相対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(相対圧)
	インマニ圧(絶対)	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧)
	最大インマニ圧(絶対)	要	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(絶対圧)
	ブースト圧	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
	最大ブースト圧	要	最大ブースト圧を表示します。(相対圧)
温度	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
	最高吸気温度	要	吸気温の最高値を表示します。
	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
	最高外気温 ^{*3}	要	外気温の最高値を表示します。
	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
	最高エンジン油温	要	エンジン油温の最高値を表示します。

文字メーター項目		OBD	説 明
エンジン	スロットル開度 ^{*4}	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	エンジン負荷 ^{*4}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数	要	エンジンの回転数を表示します。
	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
	HVエンジンパワー	要 ^{*5}	エンジンの出力を表示します。
	HVアクセル開度 ^{*7}	要 ^{*5}	アクセルの踏みこみ量を表示します。
始動・停止	エンジン停止時間	要	今回アイドリングストップ/エンジン停止した時間の累積値を表示します。
	最小エンジン停止時間	要	アイドリングストップ/エンジン停止した時間の最小値を表示します。
	最大エンジン停止時間	要	アイドリングストップ/エンジン停止した時間の最大値を表示します。
	アイドリング時間	要	車速0でエンジンが掛かっていた時間を表示します。
	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数を表示します。
	エンジン停止回数	要	今回アイドリングストップ/エンジン停止した回数を表示します。
	0-10秒停止回数	要	
	10-20秒停止回数	要	
	20-30秒停止回数	要	
	30秒以上停止回数	要	アイドリングストップ/エンジン停止時間の各範囲の比率を表示します。
	0-10秒停止比率	要	
	10-20秒停止比率	要	
	20-30秒停止比率	要	
	30秒以上停止比率	要	
バッテリー	バッテリー電圧	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	バッテリー電流	要	バッテリーの電流値を表示します。
	HVバッテリー電圧	要 ^{*5}	HVバッテリーの電圧値を表示します。
	HV補機バッテリー電圧	要 ^{*5}	HV補機バッテリーの電圧値を表示します。
	HV全電池容量	要 ^{*5}	バッテリーの充電率を表示します。
	HVバッテリー電流	要 ^{*5}	HVバッテリーの充放電の電流値を表示します。
	HV補機バッテリー電流	要 ^{*6}	HV補機バッテリーの電流値を表示します。
	HV昇圧後電圧	要 ^{*5}	HVバッテリーの昇圧された電圧値を表示します。

文字メーター項目		OBD	説 明
ハイブリッド	HV システムパワー	要 ^{*5}	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー	要 ^{*5}	フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー	要 ^{*5}	リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比	要 ^{*5}	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力	要 ^{*5}	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HVジェネレータ 発電量	要 ^{*5}	充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空	要 ^{*5}	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
衛星	衛星受信数	—	衛星の受信状態を表示します。
	GPS受信数	—	現在のGPS受信数を表示します。
	GLONASS受信数	—	現在のGLONASS受信数を表示します。
	QZSS受信数	—	現在のQZSS受信数を表示します。
	SBAS受信数	—	現在のSBAS受信数を表示します。
	GALILEO受信数	—	現在のGALILEO受信数を表示します。
その他	潮汐情報	—	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度	—	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ総合 ^{*8}	—	エコドライブ総合ポイントを表示します。
	エコドライブ加速 ^{*8}	—	エコドライブ急加速ポイントを表示します。
	エコドライブ減速 ^{*8}	—	エコドライブ急減速ポイントを表示します。
	エコドライブ経済 速度 ^{*8}	—	エコドライブ経済速度ポイントを表示します。
	エコドライブアイド リング ^{*8}	—	エコドライブアイドリングポイントを表示します。
	OFF	—	文字メーターを表示しません。

※ 1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。

※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※ 3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※ 4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※ 5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※ 6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。

※ 7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

※ 8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

※ 9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

3. 配置を変更する

例：待受画面[プリセットA]の配置を変更する

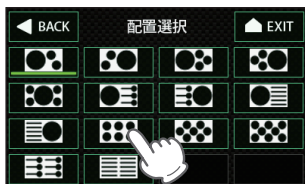
3-1 待受画面にタッチする



3-2 [配置変更]にタッチする



3-3 お好みの配置にタッチする



3-4 [EXIT]にタッチする



※ 表示項目を変更する場合は ➡ P.120
を参照ください。



配置が変更されます。

4. 配置項目一覧

■ 配置選択画面



No.	配 置
①	対象選択 BACK EXIT アナログ時計 カレンダー-2 0-180km/h 速度
②	対象選択 BACK EXIT カレンダー-2 0-180km/h 速度 アナログ時計
③	対象選択 BACK EXIT レーダー スコープ アナログ時計 平均速度 0-180km/h 速度
④	対象選択 BACK EXIT レーダー スコープ アナログ時計 平均速度 0-180km/h 速度

No.	配 置
⑤	対象選択 BACK EXIT アナログ時計 0-180km/h 速度 平均速度 最高速度
⑥	対象選択 BACK EXIT 傾斜・方位 カレンダー 時刻 0-180km/h 速度
⑦	対象選択 BACK EXIT 傾斜・方位 カレンダー 時刻 0-180km/h 速度
⑧	対象選択 BACK EXIT 潮汐情報 カレンダー 時刻 速度 気圧 エコドライブ総合

No.	配 置
⑨	
⑩	
⑪	

No.	配 置
⑫	
⑬	
⑭	

警報画面について

1. 警報画面について

取締レーダー波/レーザー光を感知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットに近づくと、各種待受画面から警報画面(マップ)に切り替わり警報します。

※ 自動マップ切替が[待受固定]の場合、画面下にテロップ表示(P.143)で警報します。([フォトフレーム][OFF]は除く)

■ GPSターゲット警報時(CG実写警報)

オービス



※ GPSターゲットが登録されていない場合は、警報画面に表示されません。

CG&実写警報

CG実写警報例



- 実写の前にCGでお知らせします。
- 高速道路のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- 実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例



- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。

警報画面 警告ムービー 4色識別アラーム

レベル高



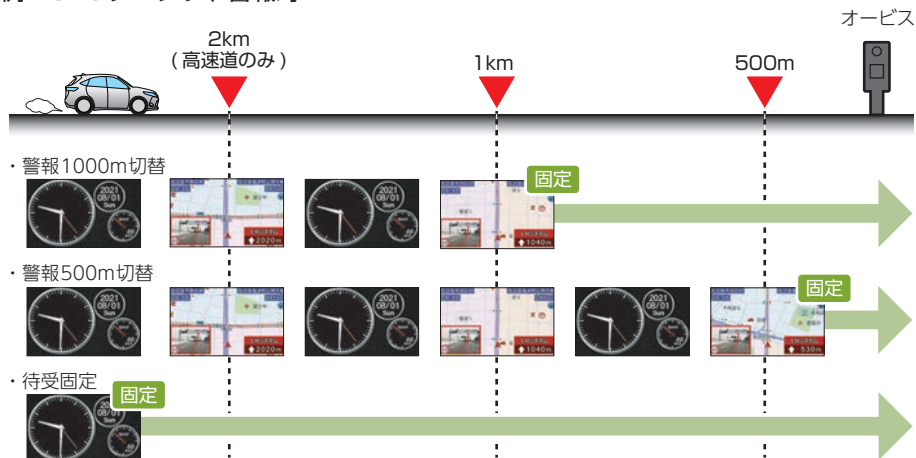
レベル低

- 赤** ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。
- 黄** 取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。
- 青** 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。
- 緑** ETCレーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせします。

■ 自動マップ切替 (P.160)

警報画面(マップ)に固定され警報する距離を選択できます。

例：GPSターゲット警報時



警報1000m切替※1 (初期値)	ターゲットの手前1kmから警報画面(マップ)に固定され警報します。
警報500m切替※1	ターゲットの手前500mから警報画面(マップ)に固定され警報します。
待受固定	待受画面で固定され、画面下にテロップ表示で警報します。 (テロップ警報)

※1：警報する距離が短いターゲットの場合は、「お知らせするタイミング(距離の目安) P.146」の距離で警報画面(マップ)に切り替わります。

※ ターゲット通過後は待受画面に戻ります。

■ テロップ警報

自動マップ切替が[待受固定]の場合、画面下にテロップ表示で警報します。([フォトレーム][OFF]は除く)



- ① GPSターゲットの種類
- ② 制限速度※2
- ③ GPSターゲットの方向※3
- ④ GPSターゲットまでの距離※3

※2：制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス/レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。

※3：GPSターゲットによっては表示されません。

※ 待受画面[マップ]は[待受固定]に設定してもCGと実写、メッセージウィンドウで警報します。

■ レーダースコープ

自動マップ切替が[待受固定]で項目が[レーダースコープ]の場合、現在地周辺のターゲットに近づくくと現在地との位置関係をイメージで表示します。



レーダースコープ

2. メッセージウィンドウについて

警報時やお知らせ時に画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。

- ※ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- ※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ※ GPS非測位時、走行速度は表示しません。
- ※ OBDIIアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

■ メッセージウィンドウ (取締レーダー波)



- ① 取締レーダー波の種類
- ② 受信レベル1(低)~5(高)

■ メッセージウィンドウ (取締レーザー光)



■ メッセージウィンドウ(無線)



- ① 無線の種類

■ メッセージウィンドウ (GPSターゲット)



- ① GPSターゲットの種類
- ② GPSターゲットの方向
- ③ GPSターゲットまでの距離
- ④ 制限速度※1

※ 1：制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス/レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。

3. ジングルについて

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。

例：GPS ターゲット警報時

「ジングル」+「〇〇m先オービスです」



オービス



4. Wアラーム(ダブルアラーム)について

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

※ 警報音はお好みの音声にカスタムできます。(👉 P.101)

5. オートクワイアットについて

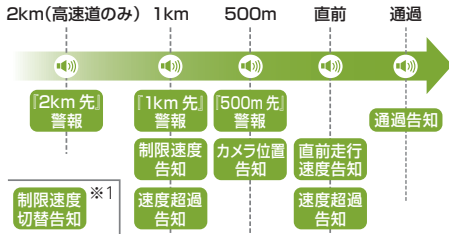
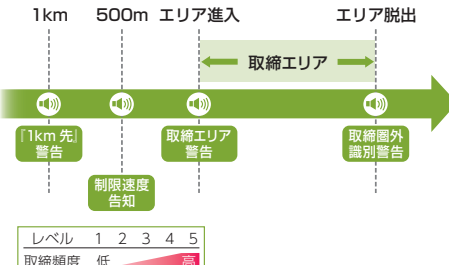
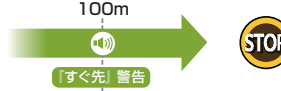
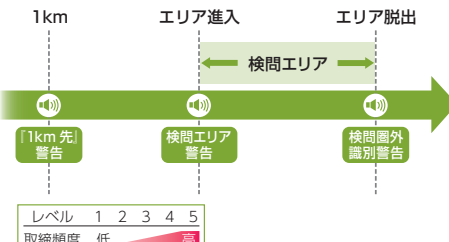
レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

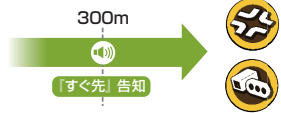
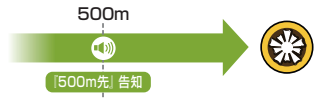
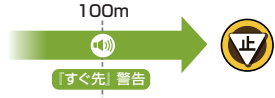
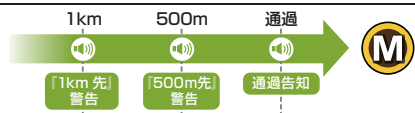
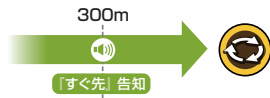
警報ボイスについて

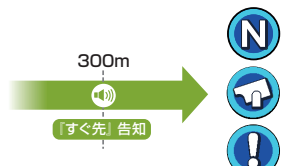
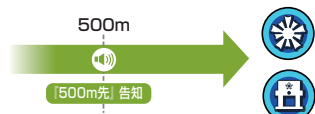
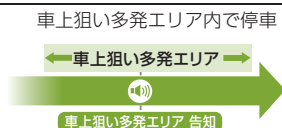
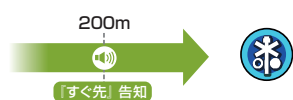
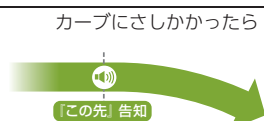
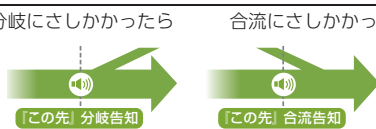
1. GPSターゲット58識別について

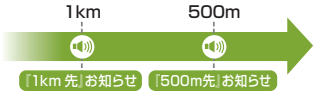
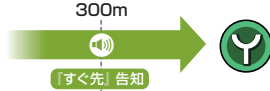
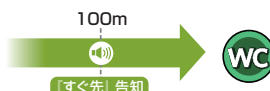
※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。

※ オービス警報時の音(オービスジングル)、GPS警報/告知時の音(GPS警報ジングル/GPS告知ジングル)は好みの音声にカスタムできます。(P.101)

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
	ループコイル	 ※ 1：制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED色は黄色になります。	赤 黄 ※ 1
	新Hシステム		
	LHシステム		
	レーダー式オービス(小型オービス含む)		
	レーザー式オービス		
	移動オービスエリア	 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 「トンネル内追尾式取締エリア」、「トンネル出口直後速度取締エリア」から脱出した場合は、取締圏外識別警告は行いません。	黄
	速度取締エリア		
	追尾式取締エリア		
	交差点取締エリア		
	その他取締エリア		
	一時停止取締エリア		黄
	シートベルト検問	 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。	
	携帯電話検問		
	飲酒検問		
	その他の検問		

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
	交差点監視ポイント		黄
	信号無視抑止システム		
	高速交通警察隊		
	駐禁最重点エリア / 駐禁重点エリア マップ上には表示されません。	駐禁監視エリア内で停車 	
	一時停止注意ポイント	 ※ 東京都23区内、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。	
	マイエリア		
	ゾーン30エリア マップ上には表示されません。		
	ラウンドアバウト		
	要注意踏切 ・ 事故多発踏切 ・ 通学路注意踏切 ・ 歩道狭隘踏切 ・ 歩行者ボトルネック踏切 ・ 自動車ボトルネック踏切 ・ 開かずの踏切		
	逆走注意ポイント マップ上には表示されません。	 ※ 状況により『すぐ先』は省略されます。	

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)		LED	
	Nシステム		  	青	
	交通監視システム				
	事故多发エリア				
	警察署				 
	交番				
	車上狙い多发エリア マップ上には表示されません。				
	踏切				
	高速道 急カーブ/ 連続カーブ マップ上には表示されません。				
 	高速道 分岐 /合流ポイント マップ上には表示されません。				
	ETCレーン	 ※ ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。		緑	
	サービスエリア		  		
	パーキングエリア				
	ハイウェイオアシス				

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
	高速道 長/連続トンネル		
	道の駅		
	ビューポイントパーキング		
	ハイウェイラジオ受信エリア		緑
	県境告知 マップ上には表示されません。		
	(駐車禁止エリア付近) 駐車場	ターゲットに近づくともマップに切り替わり、メッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	
	消防署		
	公衆トイレ		
	充電ステーション	ターゲットに近づくともマップに切り替わり、マップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	

※ 普通自動車の制限速度でお知らせします。

※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。

※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。

※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。

※ 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応していません。

※ 本機に登録されている検問エリア/取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

2. 左右方位認識ボイスについて

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

※『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。



3. オービスロケーションガイドについて

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

レーザー式取締について

1. レーザー光受信機能について

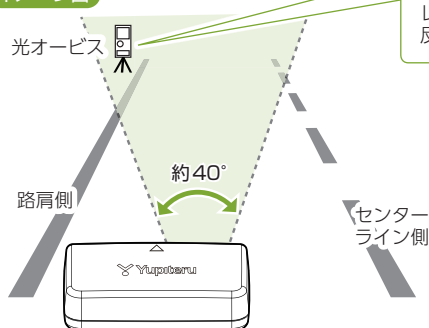
本機はアンテナユニットにあるレーザー受光部に、レーザー光を受信すると警報します。
※ レーザー受光部に受信しないと警報しません。取り付け位置や環境などによって受信できない場合があります。
先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

⚠ 注意

- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかに、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの一部)
- アンテナユニットのレーザー受光部は進行方向に向けてください。進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。
- フロントガラス上部の色が付いた部分や、ドット部がある箇所は透過率が低下し受信に影響が出る可能性があるため取り付けは避けてください。

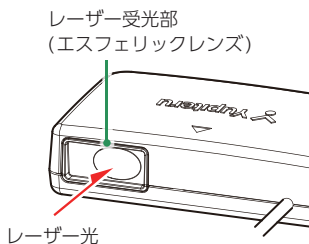
■ 探知範囲：水平約40°

イメージ図



光オービス (新型レーザー式移動オービス)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。

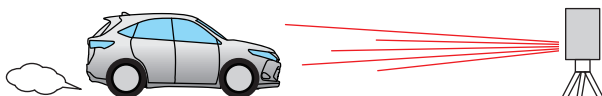


レーザー光発信源の位置を表示することはできません。

レーザー光の受信を警報する画面は、レーザー光を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係するレーザー光が発信されていることを警報します。



<レーザー光受信時警報>



取締レーダー波について

1. レーダー波4識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(P.174)により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

※ iDSPはステルス型の取締機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

※ ステルス波は通常レーダー波を基にして識別します。新型レーダー波からは識別されません。

■ レーダー波4識別

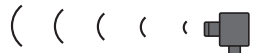
種 類	LED				
ステルス波	受信レベル により変化	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
通常レーダー波		レベル5			
新型レーダー波 (Kバンドレーダー式オービス)					
キャンセル告知					

2. 後方受信について

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波も受信が可能です。

3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)について

取締レーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。



発信源との距離	遠い		近い		
電子音	『ピロ・ピロ』		『ピーーーー』断続音から連続音		
受信レベル(1～5)	レーダー LEVEL 1	レーダー LEVEL 2	レーダー LEVEL 3	レーダー LEVEL 4	レーダー LEVEL 5

無線について

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \boxed{18 \text{ BAND}}$$

レーザー光、取締レーザー波のX・Kツインバンド、GPSの4バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません。

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線14バンド受信機能

※ 無線受信時の音(無線警報ジングル)は変更できます。(➡ P.101「カスタムについて」)

無線の種類	LED	無線の説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム)  『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』 ※ カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	  	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線  『取締無線です』		スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締が行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線  『デジタル無線です』		各都道府県警察本部と移動端末間で通信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線  『特小無線です』		取締現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締をしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

無線の種類	LED	無線の説明
署活系無線 ●『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話 ●『警察電話です』	水色	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 ●『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 ●『レッカー無線です』	水色	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 ●『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締を行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 ●『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 ●『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 ●『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 ●『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 ●『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855 号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262 号]

■ 「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定 (● P.174) をすべて [ON] にする

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	LED	無線の説明
並走注意 ● 『スピード注意』(2回くり返し)	桃	緊急車両が近くにいる可能性が高いときにお知らせします。
すれ違い注意 ● 『遠ざかりました』(2回くり返し)	桃	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いときにお知らせします。
取締注意 ● 『取締注意』(2回くり返し)	桃	比較的近くで取締などが行われている可能性が高いときにお知らせします。
検問注意 ● 『検問注意』(2回繰り返し)	桃	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いときにお知らせします。
カーロケ遠近識別 ● 『カーロケ近接受信です』 ● 『カーロケ遠方受信です』	桃 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いときにお知らせします。
カーロケ圏外識別 ● 『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いときにお知らせします。

ベストパートナー +(プラス)機能

レーダー波や無線の受信とGPSデータ情報をリンクさせ、エリア内で実際に取締が行われている可能性が高い事をお知らせします。

3. 無線警報音について

各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを音声でお知らせします。

※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、音声によるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。

※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。

※ カーロケ無線 (● P.153) とベストパートナー 6 識別は、復調を行わず、音声によるお知らせのみとなります。

交信音声受信機能 [特許出願中]

受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能 (復調) を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。

設定変更のしかた

本機は、大きく分けて6つの設定を行うことができます。

警報に関わる機能に関する設定を行う「警報」、マップや待受画面に関する設定を行う「マップ・待受」、画面の明るさやLEDの設定を行う「画面・LED」、音声アナウンスや警報音の設定を行う「音声」、設定の初期化など本機に関わる設定を行う「システム」、OBDⅡアダプターなど別売品の設定を行う「外部機器」があります。

1. 設定を変更する

例：システム設定を変更する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



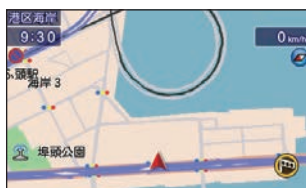
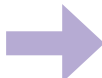
※ 無操作時、数秒で待受画面に戻ります。

1-3 [システム]にタッチする



システム設定メニューを表示します。
変更したい項目にタッチして変更してください。

設定時、[EXIT] ボタンにタッチすることで待受画面に戻ることができます。



設定項目について

1. 警報設定について

■ 警報

★：初期値

設 定	設定値	説 明
警報モード (👁 P.171)	★ノーマル ミニマム スペシャル オールオン マニュアル (レーダー・無線詳細) (GPS 詳細)	本機の警報モードを選択します。 ※ [マニュアル] に設定すると個別に設定内容を変更できます。(👁 P.174)
レーダー受信感度 (👁 P.158)	OFF シティ エクストラ スーパーエクストラ ★AAC/ASS AAC/SE AAC/CUSTOM (AAC/CUSTOM 詳細)	レーダーの受信感度を選択します。 ※ [AAC/CUSTOM] に設定すると個別に設定内容を変更できます。
レーザー受信 (👁 P.159)	ON/AAC 有効 ★ON/AAC 無効 OFF	レーザー受信時の警報条件を選択します。
無線受信感度	OFF ★LO HI	無線の受信感度を選択します。
道路選択 (👁 P.159)	一般道 高速道 オール オート気圧なし ★オート気圧あり	GPS 警報する道路を選択します。
公開取締情報 (👁 P.27、85)	★テロップ1周 テロップ連続 パネル OFF	公開取締情報の表示方法を選択します。 ※ [OFF] にした場合、公開取締情報 / 取締路線は表示しません。

レーダー受信感度

※ 受信感度が高いほど速くの電波を受信できますが、取締レーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

OFF	レーダー受信警報を行いません。
シティ	市街地(低感度)
エクストラ	郊外や高速道路(中感度)
スーパーエクストラ	高速道路(高感度)
AAC/ASS	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~29km/h……………警報しません。
	30km/h~39km/h ……[シティ]になります。
	40km/h~79km/h ……[エクストラ]になります。
	80km/h~ ……[スーパーエクストラ]になります。
AAC/SE	※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエクストラになります。
	※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(別売品のOBDIIアダプター(● P.21)で接続されている場合を除く。)
	※ ゾーン30エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。
	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~29km/h……………警報しません。
AAC/CUSTOM	30km/h~ ……[スーパーエクストラ]になります。
	※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。(別売品のOBDIIアダプター(● P.21)で接続されている場合を除く。)
	※ ゾーン30エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。
	警報する走行速度、受信レベルをそれぞれ設定できます。
	警報速度：レーダー受信警報を行う速度を設定します。
AAC/CUSTOM	0km/h以上、10km/h以上、20km/h以上、30km/h以上、40km/h以上、50km/h以上、60km/h以上、70km/h以上、80km/h以上、90km/h以上、100km/h以上から設定します。
	警報レベル：レーダー受信警報を行う受信レベルを設定します。
	ALL……………レベル1以上(全て)で警報します。
	レベル2以上……………レベル2~5で警報します。
	レベル3以上……………レベル3~5で警報します。
AAC/CUSTOM	レベル4以上……………レベル4~5で警報します。
	レベル5のみ……………レベル5のみで警報します。
	※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なく設定した受信レベル以上になると警報します。(別売品のOBDIIアダプター(● P.21)で接続されている場合を除く。)
	※ 受信レベルの詳細は、● P.152「取締レーダー波について」を参照ください。
	※ 受信感度はスーパーエクストラになります。

・ AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km/h未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

・ ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

※ GPS測位機能(別売品のOBDIIアダプター(● P.21)で接続されている場合は、OBDII車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

レーザー受信

ON/AAC有効 ON/AAC無効	ON/AAC有効……時速 30km/h 以上のときに警報を行います。 ON/AAC無効……全ての速度で警報を行います。 ※ 電源 ON 後、GPS 測位するまでの間は AAC 無効になります。 ※ 走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になります。(別売品の OBDⅡアダプター (P.21) で接続されている場合を除く。) ※ ゾーン 30 エリア内では走行速度に関係なく AAC 無効になります。
OFF	レーザー受信警報を行いません。

道路選択

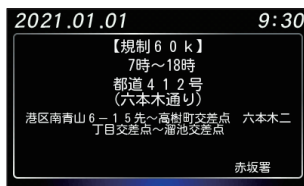
一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし	走行道路 (一般道か高速道) を GPS の位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ※ 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
オート気圧あり	※ GPS 測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ※ 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※ 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

公開取締情報

テロップ 1 周	テロップで 1 周スクロール表示します。
テロップ連続	テロップで繰り返しスクロール表示します。
パネル	パネルで一括表示します。 ※ 約 10 秒間情報を表示します。
OFF	公開取締情報/取締路線は表示しません。



<テロップ表示>



<パネル表示>

※ パネル表示の画面をタッチすると待受画面に戻ります。

2. マップ・待受設定について

■ マップ・待受

★：初期値

設 定	設定値	説 明
マップ	自動マップ切替 (★警報 1000m 切替)	警報時に待受画面を警報画面(マップ)に固定する距離を選択します。(P.143)
	マップズーム (★ZOOM4)	地図縮尺を切替ます。(P.115) ※ ZOOM1 > ZOOM2 > ZOOM3 > ZOOM4 (広域>詳細)
	マップ配色(★AUTO)	地図表示の配色を選択します。(下記参照)
	マップアイコン (★その他ON)	地図に表示するアイコンを選択します。 (P.161)
	マップ表示形式 (★ヘディングアップ)	マップ表示を選択します。
待受背景カスタム ^{※1}	待受背景カスタム (★OFF)	[ON]にすると待受画面に背景を表示します。 ※ [ON]で背景の明るさ/ズームを選択できます。
	背景の明るさ(★50%)	背景の透過率を選択します。(10 ~ 100%)
	ズーム(★フル)	表示サイズを選択します。(P.161)
プリセット	ベースカラー(★Black)	待受画面の基本色を選択します。(P.161)
	プリセット A/B/C/D/ E/F/G/H	各プリセットの配置/項目を選択します。 (P.120)
フォトフレーム	切替時間(★10秒)	待受画面[フォトフレーム]時の切替時間を選択します。(10秒/30秒/1分/5分)
	エフェクト(★フェード)	待受画面[フォトフレーム]時のエフェクトを選択します。(P.161)
	ズーム(★フル)	表示サイズを選択します。(P.161)
AUTO	切替時間(★1分)	待受画面[AUTO]時の切替時間を選択します。 (15秒/30秒/1分/3分/5分/10分/15分)
	項目選択(★全てON)	待受画面[AUTO]時の表示待受を選択します。

※ 1：あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。(P.104)

マップ

● マップ配色 (P.115)

AUTO	日の出～日没までは[昼配色]、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は[夜配色]になります。
昼配色	常に[昼配色](白基調)の状態で地図が表示されます。
夜配色	常に[夜配色](黒基調)の状態で地図が表示されます。

● マップアイコン (P.115)

コンビニ	地図にコンビニをアイコンで表示します。
ファーストフード	地図にファーストフードをアイコンで表示します。
ファミレス	地図にファミレスをアイコンで表示します。
ガソリンスタンド	地図にガソリンスタンドをアイコンで表示します。
その他	地図にスーパー / 駅 / 銀行 / 図書館などをアイコンで表示します。

● マップ表示形式 (P.115)

ヘディングアップ	常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。
ノースアップ	常に北が上の状態で地図が表示されます。

プリセット

● ベースカラー



フォトフレーム

● エフェクト：写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択します。

なし	現在の写真が瞬時に次の写真に切り替わります。
フェード	現在の写真が徐々に消えて次の写真に切り替わります。
スライド	横から次の写真がスライドして次の写真に切り替わります。
ウィンドウ	現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって次の写真に切り替わります。
ズーム	現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて次の写真に切り替わります。
すべて	[なし]以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

● ズーム：写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

フル	写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
ノーマル	写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
ノーマル拡大なし	写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
画面サイズ強制	写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

3. 画面・LED 設定について

■ 画面・LED

★：初期値

設 定	設定値	説 明
明るさ(昼)	最小 暗い ★普通 明るい	画面の明るさ(昼)を調整します。
明るさ(夜)	最小 暗い ★普通 明るい	画面の明るさ(夜)を調整します。
マルチカラー LED	OFF 音声連動 エリア連動 ★音声+エリア連動	警報時や音声案内時のLEDの点灯方法を選択します。(● 下記参照)
フレックスディマー	衛星情報 ★照度+衛星 OBDイルミ連動	画面の明るさの切り替えを選択します。(● 下記参照)
画面反転	ON ★OFF	[ON] で画面表示を上下反転します。
オープニング※ ¹	★アニメーション 静止画 静止画処理(★フル)※ ²	起動時の画面をアニメーション、静止画から選択します。

※ 1：あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。(● P.103)

※ 2：ズームと同様になります。詳細はズームの説明を参照ください。(● P.161)

マルチカラー LED

OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音声に合わせて明るさが変化します。
エリア連動	警報エリアに侵入すると警報ターゲットの種類によって決まった色のLEDが点灯します。優先度の高い警告が優先されます。警報ターゲットへ接近するにつれて点滅が速くなります。
音声+エリア連動	音声連動とエリア連動の両方でお知らせします。音声連動が優先されます。

フレックスディマー

衛星情報	衛星情報により画面明るさを切り替えます。
照度センサー+衛星情報	照度センサーと衛星情報による画面明るさを切り替えます。
OBD イルミ連動	イルミ信号により明るさを切り替えます。 ※ [OBD イルミ連動] は OBDⅡアダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。

4. 音声設定について

■ 音声

★：初期値

設 定	設定値	説 明
音声切替	★日本語女性1 日本語女性2 日本語女性3 日本語女性4 英語女性	ナレーションの音声を選択します。
警報音	レーダー警報音 (★メロディ 1)	レーダー警報音を選択します。(P.164)
	レーザ警報音 (★メロディ)	レーザ警報音を選択します。(P.164)
	無線警報音(★ボイス)	無線警報音を選択します。(P.165)
	レーダーキャンセル サウンド(★OFF)	[ON] で I キャンセル中、マイキャンセル中に 10 秒ごとに「キャンセル中です」とお知らせします。
	オービスロケーション ガイド(★ON)	[ON] でオービス手前 500m で目標物とオービスの種類などのアナウンスを行います。
	オービスカウントダウン (★OFF)	選択した距離から 100m ごとにオービスまでの距離をお知らせします。(P.165)
	ベストパートナー + (★OFF)	[ON] で従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPS の複合で判断します。
	取締・検問レベル告知 (★ON)	[ON] で取締/検問を警報時にレベル告知でお知らせします。
	速度アラーム(★OFF)	選択した速度以上になるとお知らせします。(P.165)
その他の音	操作音(★ON)	[ON] で操作時に音が出ます。
	時報(★ON)	[ON] で毎時、正時になると時刻をお知らせします。
	測位時あいさつ (★OFF)	[ON] で衛星の初期測位時にあいさつします。
	照度低下ライト確認 (★OFF)	[ON] で周辺が暗くなったときにお知らせします。
	日没ライト確認 (★OFF)	[ON] で GPS によって計算された日没時間になるとお知らせします。
	エコドライブ告知 (★OFF)	[ON] でエコドライブのポイントが満点になったときや減点になったときにお知らせします。
	リラックスチャイム (★2 時間)	休憩を促すアナウンス時間を選択します。(P.165)

設 定	設定値	説 明
サウンドカスタム	起動音 (★サウンド1)	各音源を選択します。 ※ お好みの音源に変更する場合、あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで音声データを保存しておく必要があります。(P.101)
	オービスジングル (★サウンド1)	
	GPS 警報ジングル (★サウンド1)	
	GPS 告知ジングル (★サウンド1)	
	無線警報ジングル (★サウンド1)	
	測位アナウンス (★サウンド1)	
	レーダーメロディ 1 (★サウンド1)	
	レーザーメロディ (★サウンド1)	

音声切替

日本語女性 1 ～ 4	日本語の女性でナレーションします。
英語女性	英語の女性でナレーションします。

警報音

●レーダー警報音

電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ 1 ⇒メロディ 2⇒メロディ 3の順)で警報します。

●レーザー警報音

電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『レーザーです』とボイスで警報します。
メロディ	オリジナルメロディで警報します。

●無線警報音

ボイス	各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザー光を受信した場合、レーダー警報またはレーザー警報が優先されます。
復調	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザー光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーローケ無線(P.153)とベストパートナー6識別(P.155)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

●オービスカウントダウン

OFF	お知らせしません。
400mから /900mから	選択した距離から100mごとにオービスまでの距離をお知らせします。 ※ カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。

●速度アラーム

OFF	お知らせしません。
30 ~ 130km/h以上	選択した速度以上になるとお知らせします。 ※ 速度アラーム警報中に画面をタッチすると、約5分間速度アラーム警報をミュートします。

その他の音

●リラクスクチャイム

OFF	休憩を促すアナウンスを行いません。
30分/1時間/2時間	設定時間おきに、『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声でお知らせします。

5. システム設定について

■ システム

★：初期値

設 定	設定値	説 明
バージョン情報	—	本機データのバージョンを表示します。 ※ 公開取締情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。
ログ (P.98)	ログ機能 (★OFF)	[ON] で走行データを約 18 時間分記録します。 ※ 測位および走行の状況により記録する時間は異なります。
	ログデータ出力	ログ機能で記録された走行ログを SD カードにコピーします。
リマインダー (P.179)	オイル	入力した日数で通知を行います。OBDII アダプターを接続すると距離での通知もできます。
	オイルエレメント	
	タイヤ	
	バッテリー	
デモモード	—	レーダー受信や GPS 警報などの音声や待受画面を表示します。 ※ デモモードを終了する時は画面にタッチしてください。
SWITCH カスタマイズ	★ライブビュー SDカードフォーマット 待受画面OFF 音量0(ミュート)	SWITCH キーに割り当てる機能を選択します。
消去 ^{※1}	ログデータ	各データを消去します。 ログデータ/マイエリア/キャンセルエリア (マイキャンセルエリア、アイキャンセル)、投稿ピン/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアを個別に消去できます。
	マイエリア	
	キャンセルエリア	
	投稿ピン	
	イベント記録地点	
	駐車監視キャンセルエリア	
初期化 ^{※1}	エコドライブ	70 ポイント ^{※2} にリセットされます。
	設定	各設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

※ 1：一度実行すると元に戻せませんのでご注意ください。

※ 2：エコドライブのポイント (pt) は弊社独自の採点方法で、「急加速 (Accel)」、「急減速 (Brake)」、「アイドリング (Idling)」、「経済速度 (Speed)」から算出した総合点 (Total) です。

6. 外部機器設定について

■ ドライブレコーダー

※ 付属のカメラユニット接続時のみ表示されます。

※ ドライブレコーダー設定時/再生時は自動で録画停止になるためその際は録画をすることはできません。

★：初期値

設 定	設定値		説 明
解像度	★1080P 720P		解像度を選択します F：フロントカメラ R：リアカメラ 1080P：1920×1080 720P：1280×720
	F 1080P/R 1080P ★F 1080P/R 720P F 720P/R 720P	リアカメラ ユニット 接続時	
録画コマ数	15FPS ★30FPS		1秒間に記録するコマ数(フレームレート)を選択します。
上書きモード (🔊 P.36)	★すべて上書き 常時録画上書き 上書き禁止		SDカードの録画ファイルがいっぱいになった時の動作を選択します。
Gセンサー設定	記録(★ON)		Gセンサー記録のON/OFFやGセンサー感度を設定します。
	感度(★全て1.0G)		
音声録音	★ON OFF		ONにするとファイルに音声を記録します。
自動録画開始	★ON OFF		ONにすると本体起動時や待受画面表示時に録画を開始します。
イベント記録 地点登録 ※1	★ON OFF		ONにするとイベント記録が発生した地点を地図上に🚨アイコンで表示します。
駐車監視※2※3 (🔊 P.38)	駐車監視録画(★OFF)		駐車時に映像を記録することができません。
	駐車監視時間(★9時間)		
	駐車監視終了電圧(★12.2V)		
	駐車監視イベント記録(★OFF)		
タイムスタンプ	★ON OFF		ONにすると記録している映像の右下に日時を記録します。
映像表示※4 (🔊 P.168)	ライブビュー (★フロント+リア)	リアカメラ ユニット 接続時	画面に表示するカメラの映像を設定します。
	リア映像左右反転 (★ON(鏡像))		
DMS イベント記録※4	居眠り検知(★OFF)	DMS ユニット 接続時	ONにするとわき見・居眠りなどを検知した場合にイベント記録を行います。
	わき見検知(★OFF)		

※1：SDカードにある録画ファイルを消去してもアイコンは消去されません。消去する場合は、システム設定の「消去」⇒「イベント記録地点」から行ってください。

※2：付属の電源直結コード、または別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)の接続が必要になります。

※3：駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、専用ソフトなどで再生すると早送りの映像になります。

※4：別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)、またはDMSユニット(OP-EWS3)の接続が必要になります。

G センサー設定

●記録：ONにするとGセンサー記録を行います。(ON/OFF)

●Gセンサーの衝撃感度を設定します。(0.5～4.0G)

※ 数値を小さくすると敏感になり、Gセンサー記録をしやすくなります。

駐車監視

●駐車監視録画：ONにすると駐車監視エリアで駐車監視録画を行います。(ON/OFF)

●駐車監視時間：駐車監視録画を行う時間を設定します。(30分～12時間)

※ 電源の状態により設定時間より短い時間で停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

●駐車監視終了電圧：設定した電圧以下になると駐車監視を停止します。(11.6V～13.0V)

※ 別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) で接続した場合、設定は無効になります。

●駐車監視イベント記録：ONにすると駐車監視時にイベント記録(Gセンサー記録)も行います。
(ON/OFF)

映像表示

●ライブビュー：現在記録しているカメラの映像を表示できます。

フロント	フロントカメラ映像を表示します。
リア	リアカメラ映像を表示します。
フロント+リア	フロントカメラとリアカメラ映像を表示します。

●リア映像左右反転：リアカメラの映像を左右反転表示できます。(ON/OFF)

※ ライブビューの表示のみに反映され、記録映像は全て正像になります。



<ON(鏡像)>



<OFF(正像)>

■ OBD 別売品

※ 別売品のOBDIIアダプター装着時のみ表示されます。

★：初期値

設 定	設定値	説 明
満タンスタート (P.181)	—	実走行による走行距離、給油量により燃費数値の精度を高めます。
満タン補正 (P.182)	—	満タンスタート後の実走行による走行距離、給油量の入力により燃費数値の精度が上がり、本機内に補正係数が登録されます。
係数補正 (P.183)	—	オールクリアをした場合に、以前算出した係数を入力することにより、満タンスタート・満タン補正が不要になります。
平均クリア	—	画面内の平均燃費の値をリセットします。満タン補正の直後に行うと、これまでの平均燃費がクリアされ新たに計算を開始します。 ※ 平均クリアを行っても、補正係数はクリアされません。
月間記録	ON ★OFF	月間記録をONにすると月ごとに走行履歴が保存されます。日時、距離、燃費などが月間最大2,000件保存されます。
月間記録データ	—	保存された月間記録データを表示します。
月間記録消去	—	保存された月間記録データを消去します。
OBD 情報 オールクリア	—	OBDIIアダプターで受け取った車両に関する本機内の数値をリセットします。燃費の補正係数もクリアされるので満タンスタート・満タン補正を行わないと正確な燃費が表示されません。

■ WLAN 別売品

※ 別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)装着時のみ表示されます。

★：初期値

設 定	設定値	説 明
WLAN	★ON OFF	無線LANを常時ON/OFFします。
WLAN接続先設定 (P.184)	新規登録 (検索)	無線LAN(接続先)を登録します。 ※ 一度設定しておけば以降は自動で接続します。
	新規登録 (手動入力)	
	自動登録	
	削除	
WLAN接続先情報	—	接続している無線LANの情報を表示します。
My Yupiteru設定	ID 設定	登録してあるMy Yupiteruアカウントの情報を本機に記憶させます。 ※ あらかじめパソコンなどでMy Yupiteruのアカウント登録が必要です。
	パスワード設定	
	ログインテスト	
手動ダウンロード (P.187)	公開取締情報	各項目手動でダウンロードします。
	オービスデータ	
	実写データ	
	リアルタイム配信データ	
自動ダウンロード (P.187)	公開取締情報 (★ON)	各項目を自動でダウンロードします。
	オービスデータ (★ON)	
	リアルタイム配信データ (★OFF)	

★：初期値

設 定	設定値	説 明
Google カレンダー設定	アカウント設定	Google アカウント、パスワード、カレンダー ID を入力することで月間記録データを Google カレンダーに登録できます。(P.190) ※ あらかじめ Google アカウントを取得しておく必要があります。
	パスワード設定	
	カレンダー ID 設定	
	ログインテスト	
	端末から設定	
	カレンダー自動(★OFF)	
ファームウェア更新	—	ダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は更新や更新内容の確認ができます。
ファームウェア更新通知	★ON OFF	ダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は、待受画面にメッセージを表示します。

WLAN 接続先設定

接続先	現在接続しているアクセスポイント名 (SSID)
チャンネル	現在接続しているチャンネル
受信強度	現在の受信強度
セキュリティ	現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示
IP アドレス	本機に割り当てられている IP アドレス
MAC アドレス	本機無線 LAN の物理アドレスを表示します。(OP-WLSD16 の裏面に「MAC:」の後ろに記載されています。アクセスポイントで MAC アドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。

接続先	:XXXXXXXXXXXXXX
チャンネル	:XXch
受信強度	:XX%
セキュリティ	:有効
IP アドレス	:XXX.XXX.XX.XX
MAC アドレス	:00:00:00:00:00
戻る	

<WLAN 接続先情報画面>

■ DMS 別売品

※ 別売品のわき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS3) 装着時のみ表示されます。

★：初期値

設 定	設定値	説 明
居眠り検知 (P.44)	OFF LO ★HI	時速 10km/h 以上で目を閉じている状態を検知して警報を行います。 LO：低感度、HI：高感度
わき見検知 (P.44)	★ON OFF	時速 10km/h 以上でわき見を検知したときに警報します。

警報モードについて

本機には、プリセットが4種類(「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャル」、「オールオンモード」と、お好みにより機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。

★：初期値

種 類	説 明
★ノーマルモード	機能同士のバランスを重視したモードです。
ミニマムモード	レーダー、無線、GPS すべてにおいて最低限の項目だけをONに設定しています。
スペシャルモード	取締に関する項目を重視した内容に設定されています。
オールオンモード	すべての機能をONに設定しています。
マニュアルモード	項目別にON/OFFを設定できます。

■ 項目一覧

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
レーダー・ 無線詳細	I キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	174
	反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	
	カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	
	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察電話無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF		

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
GPS 詳細	オービス	ON	ON	ON	ON	ON	176
	直前速度	ON	ON	ON	ON	ON	
	通過	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度	ON	ON	ON	ON	ON	
	カメラ位置	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度切替	ON	ON	ON	ON	ON	
	速度超過	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締エリア	レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	
	検問エリア	レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	
	交差点監視 ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	ON	
	駐禁監視エリア※1	ON	OFF	ON	ON	ON	
	一時停止注意	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	Nシステム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	車上狙いエリア※2	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイ オアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

※ 1：OFF では駐車禁止エリアアイコンは表示されません。

※ 2：OFF では車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
GPS	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	176
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	県境	ON	ON	ON	ON	ON	
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ビューポイント	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ゾーン30	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	ラウンドアバウト	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	要注意踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	充電ステーション	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	逆走注意ポイント	ON	OFF	ON	ON	ON	

マニュアル個別設定について

※ 警報モードの[マニュアル](P.157)選択時に表示されます。

■ レーダー・無線詳細

★：マニュアルモード初期値

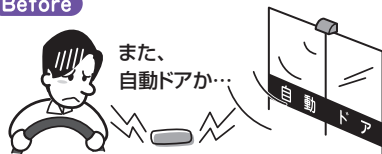
設 定	設定値	説 明
Iキャンセル	★ON OFF	自動ドアなどがあり、電波を発信していて誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。(P.175)
反対キャンセル	★ON OFF	[新Hシステム][レーダー式オービス]の反対車線で、レーダー波の受信機能をキャンセルします。(反対車線オービスキャンセル機能)
カーロケ無線	★ON OFF	緊急車両などが発信するカーロケーターシステムを受信したときに、警報します。
取締無線	★ON OFF	取締現場で使用されている可能性のある無線(350.1MHz)を受信したときに、警報します。
デジタル無線	★ON OFF	緊急車両が使用している可能性のあるデジタル無線(159～160MHz)を受信したときに、お知らせします。
特小無線	ON ★OFF	取締現場で使用される可能性のある特定小電力無線を受信したときに、お知らせします。
署活系無線	ON ★OFF	パトロール中の警察官が連絡用として使用する署活系無線を受信したときに、お知らせします。
警察電話無線	ON ★OFF	警察専用の自動車携帯電話システムを受信したときに、お知らせします。
警察活動無線	ON ★OFF	機動隊などが連絡用などで使用する無線を受信したときに、お知らせします。
レッカー無線	ON ★OFF	主にレッカー業者が駐車違反や事故処理の時に連絡用として使用する業務用無線を受信したときに、お知らせします。
ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使って事件や事故処理、取締を行うときに使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使った火事の事故処理や火災現場との連絡用に使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防無線	ON ★OFF	災害、救助活動で使用する無線(400MHz)を受信したときに、お知らせします。
新救急無線	ON ★OFF	救急車が使用している無線を受信したときに、お知らせします。
高速道路無線	ON ★OFF	NEXCOが使用している業務用無線を受信したときに、お知らせします。
警備無線	ON ★OFF	主に警備会社が使用している無線を受信したときに、お知らせします。

●Iキャンセル(アイキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

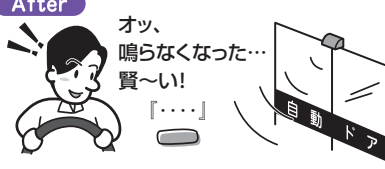
・Iキャンセルの仕組み

- ①取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ②取締レーダー波かどうかを識別。
- ③誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before



After



登録数は、Iキャンセル/マイエリア/マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ Iキャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。

※ Iキャンセルを[OFF]に設定すると、Iキャンセル機能を停止させることができます。

※ 自動登録したエリアは、Iキャンセルの設定や電源OFFしても記憶されています。

※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「消去」⇒「キャンセルエリア」(P.166)を行ってください。

■ GPS 詳細

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
オービス	★ON OFF	設置式の数値取締装置[ループコイル][新Hシステム][LHシステム][レーダー式オービス][レーザー式オービス]が接近したときに、警報します。
直前速度	★ON OFF	オービスに接近したときに自車速度を、お知らせします。
通過	★ON OFF	オービスを通過したときに通過を、お知らせします。
制限速度	★ON OFF	ターゲットのおよそ1km手前で制限速度を、お知らせします。
カメラ位置	★ON OFF	オービスのおよそ500m手前でカメラの位置を、お知らせします。
制限速度切替	★ON OFF	高速道路で制限速度が切り替わるポイントで、お知らせします。
速度超過	★ON OFF	制限速度に対して速度が超過しているときに、お知らせします。
取締エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に取締が行われていた場所[移動オービス][速度取締][交差点取締][その他取締]に接近したときに、警告します。
検問エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に検問が行われていた場所[シートベルト検問][携帯電話検問][飲酒検問][その他の検問]に接近したときに、警告します。
交差点監視ポイント	ON ★OFF	注意すべき交差点に接近したときに、お知らせします。
信号無視抑止	ON ★OFF	信号無視抑止システムが設置されている交差点に接近したときに、お知らせします。
高速交通警察隊	★ON OFF	高速交通警察隊の待機所が接近したときに、お知らせします。
駐禁監視エリア※1	★ON OFF	本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車したときに、お知らせします。
一時停止注意	ON ★OFF	東京23区、名古屋市、大阪市内の一時停止注意ポイントに接近したときに、お知らせします。
Nシステム	ON ★OFF	自動車ナンバー読み取り装置に接近したときに、お知らせします。
交通監視システム	ON ★OFF	画像処理式交通流計測システムなどに接近した時に、お知らせします。

※1：OFFでは駐車禁止エリアアイコンは表示されません。

設 定	設定値	説 明
警察署	ON ★OFF	警察署に接近したときに、お知らせします。
交番	ON ★OFF	交番に接近したときに、お知らせします。
事故多発エリア	ON ★OFF	本機に登録されている事故多発エリアに接近したときに、お知らせします。
車上狙いエリア※ ²	ON ★OFF	本機に登録されている車上狙い多発エリア内で停車したときに、お知らせします。
急カーブ	ON ★OFF	本機に登録されている高速道路の急カーブ・連続カーブにさしかかったときに、お知らせします。
分岐合流ポイント	ON ★OFF	高速道路の分岐・合流ポイントにさしかかったときに、お知らせします。
踏切	ON ★OFF	踏切に接近したときに、お知らせします。
ETCレーン	ON ★OFF	ETCレーンにさしかかったときにETCレーンの位置を、お知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応していません。実際の交通状況に従ってください。
SA	ON ★OFF	サービスエリアに接近したときに、お知らせします。
PA	ON ★OFF	パーキングエリアに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイオアシス	ON ★OFF	ハイウェイオアシスに接近したときに、お知らせします。
スマートIC	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにスマートICが併設されているときに、お知らせします。
ガソリンスタンド	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにガソリンスタンドが設置されているときに石油会社名とともに、お知らせします。
トンネル	ON ★OFF	高速道路の長いトンネル、連続するトンネルに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイラジオ	ON ★OFF	高速道路のハイウェイラジオ受信エリアに接近したときに、お知らせします。
県境	★ON OFF	県境ポイントにさしかかったときに、お知らせします。 ※ 高速道路及び主要一般道路のみ。
道の駅	ON ★OFF	道の駅に接近したときに、お知らせします。
ビューポイント パーキング	ON ★OFF	ビューポイントパーキングに接近したときに、お知らせします。

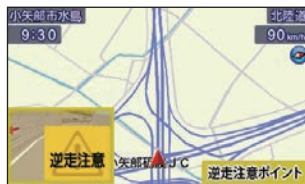
※ 2：OFF では車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
(駐車禁止エリア付近) 駐車場	ON ★OFF	駐車禁止エリア付近にある駐車場に接近したときに、お知らせします。 ※ 画面のみでお知らせし、音声でのお知らせはありません。
消防署	ON ★OFF	消防署に接近したときに、お知らせします。
公衆トイレ	ON ★OFF	公衆トイレに接近したときに、お知らせします。
ゾーン30	ON ★OFF	ゾーン30エリアに入ったときに、お知らせします。
ラウンドアバウト	ON ★OFF	ラウンドアバウトに接近したときに、お知らせします。
要注意踏切	ON ★OFF	開かずの踏切や事故多発踏切など改良すべき踏切に接近したときにお知らせします。
充電ステーション	ON ★OFF	充電ステーションに接近したときにお知らせします。
逆走注意ポイント	★ON OFF	逆走注意ポイントに接近したときにお知らせします。

●逆走注意ポイント

過去に逆走が行われた場所の手前でお知らせします。



リマインダーについて

各項目(オイル/オイルエレメント/タイヤ/バッテリー)について日数で通知、または別売品のOBDIIアダプターで接続すると距離での通知も可能になります。通知は指定した日数、または距離到達後の車両始動時(本機起動時)に約5秒間、最大3回通知されます。

※ 初期値は日数/距離は設定されていません。

※ トヨタハイブリッド車にOBDIIアダプターで接続した場合、[オイル][オイルエレメント]の項目は、エンジンが始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

1. リマインダーを設定する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



1-3 [システム]にタッチする



1-4 [リマインダー]にタッチする



1-5 通知したいにタッチする



1-6 日数入力または距離入力にタッチする



※ 距離入力は別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ有効になります。

1-7 入力し[OK]にタッチする



リマインダーが設定されます。

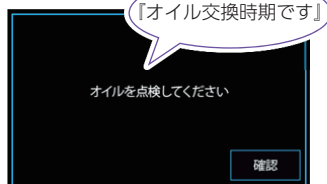
※ 設定単位は日数：1ヶ月、距離：100km
単位になります。

※ 「0ヶ月」または「0km」で通知はOFFになります。

※ システムの[初期化]で日数/距離はリセットされます。

※ 日数/距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前(通知中)の残り日数/距離はリセットされ、再設定後の日数/距離で通知されます。

通知表示例(オイル)



※ [確認]にタッチで次回起動時に通知は表示されなくなります。

本機能は別売品のOBDⅡアダプターで接続することで、平均燃費の数値補正や月ごとの走行履歴を保存する月間記録(P.167)を行うことができます。

1. 満タンスタートをする

1-1 満タン給油する

油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

1-2 待受画面にタッチする



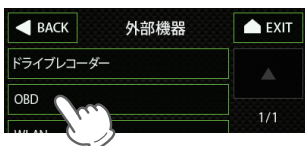
1-3 [設定]にタッチする



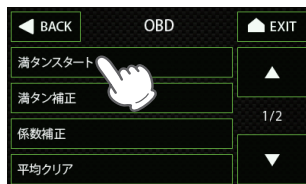
1-4 [外部機器]にタッチする



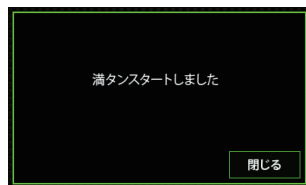
1-5 [OBD]にタッチする



1-6 [満タンスタート]にタッチする



1-7 [はい]にタッチする



※ [閉じる]にタッチしなくても数秒で画面を閉じます。

1-8 車両のトリップメーターをリセットし走行する

満タン補正進歩率が100%になるまで走行してください。

※ 200 ~ 300km程度の走行で100%になります。

※ 満タンスタートを何度も行うことで補正精度は向上します。

※ 満タン補正進歩率が100%になっても走行すれば、それだけ補正精度は向上します。

2. 満タン補正をする

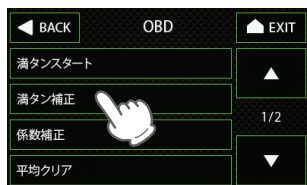
満タン補正進捗率が100%になってから満タン補正を行ってください。

2-1 満タン給油する

前回給油時の油面位置まで給油してください。

2-2 P.181手順「1-2～1-5」を行う

2-3 [満タン補正]にタッチする



2-4 [距離補正]にタッチする



2-5 トリップメーターの走行距離を入力し[OK]にタッチする



2-6 [燃料補正]にタッチする

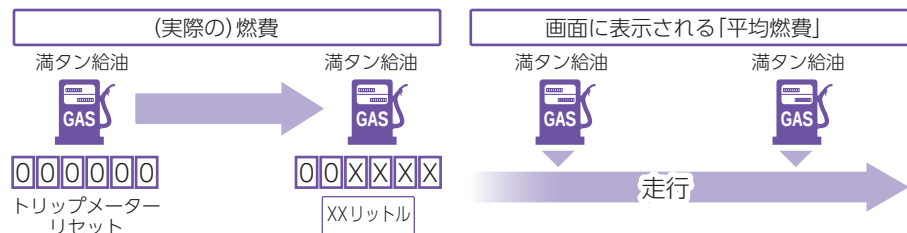


2-7 給油量を入力し[OK]にタッチする



※ 給油量は給油伝票で確認してください。
※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[EXIT]にタッチしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するというものではありません。



3. 係数補正をする

OBD 情報オールクリア時や車両変更・機種変更時に行ってください。

燃費計算を行う上での本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、これまでの燃料計算に戻すことができます。

※ 係数補正を行うことにより「満タンスタート」「満タン補正」が不要になります。(あらかじめ「満タンスタート」「満タン補正」を行って正確な補正係数取得している場合に限り)

※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

例：係数補正を行う場合

3-1 P.181 手順「1-2 ～ 1-5」
を行う

3-2 「係数補正」にタッチする



3-3 「距離補正」にタッチする



3-4 距離係数を入力し [OK] に
タッチする



※ メモしておいた距離係数を入力してください。

3-5 「燃料補正」にタッチする



3-6 燃料係数を入力し [OK] に
タッチする



※ メモしておいた燃料係数を入力してください。



より正確な数値に修正されます。

※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[EXIT]にタッチしてください。

WLAN 設定 (無線 LAN) について

別売品

本機能は別売品の無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) を本体にあらかじめ装着されている SD カードと入れ替えることで、無線 LAN 接続を行うことができます。

無線 LAN 接続にはあらかじめ WLAN 接続先設定と My Yupiteru 設定 (P.186) の設定が必要になります。本機に WLAN 機器 (接続先) を登録するには、「新規登録 (検索)」/「新規登録 (手動入力)」/「自動登録 (プッシュ認証) (P.185)」の 3 種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。

※ 本機を廃棄したり、人に譲ったりする際など、ID・パスワードを削除したい場合は、[B5] で文字を全部消去して [設定] を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用されるおそれがあります。

※ 接続先は 8 件まで登録できます。

※ 本機では、ログインが必要な無線 LAN サービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線 LAN サービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

※ アクセスポイントの SSID 名に「ひらがな」が含まれている場合、文字化けして接続できない場合があります。

※ 全ての通信環境における動作を保証するものではありません。ご使用の通信環境ではダウンロードできない場合は、パソコンでのダウンロードも併用していただきますようお願いいたします。

1. 新規登録 (検索)

1-1 待受画面にタッチする



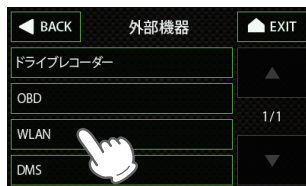
1-2 [設定] にタッチする



1-3 [外部機器] にタッチする



1-4 [WLAN] にタッチする



1-5 [WLAN 接続先設定] にタッチする



1-6 [新規登録] にタッチする



1-7 アクセスポイントにタッチする

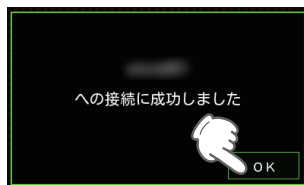


※ アクセスポイントがSSID非公開の場合は前の画面に戻り[新規登録(手動入力)]にタッチし、SSIDを入力してください。

1-8 パスワードを入力し[接続]にタッチする



1-9 [OK]にタッチする



※ 失敗した場合は再度、新規登録を行ってください。

接続したくない接続先がある場合は、手順「1-6」の[削除]で削除してください。
システム設定の初期化(P.166)では、接続先は削除されません。

2. 自動登録(プッシュ認証)

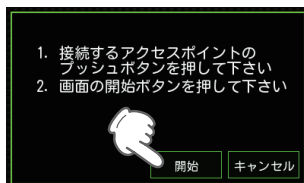
2-1 P.184手順「1-1 ~ 1-5」を行う

2-2 [自動登録]にタッチする

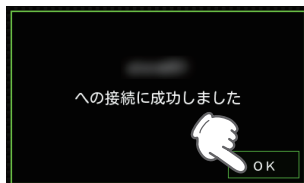


2-3 接続するアクセスポイントのプッシュボタンを押す

2-4 [開始]にタッチする



2-5 [OK]にタッチする



※ 何度も失敗する場合は、新規登録(検索)で登録を行ってください。(P.184)

3. My Yupiteru 設定

ID、パスワードを入力して、My Yupiteruにログインします。

※ My Yupiteruのアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ 機種登録があっても無料会員の場合は、(機種名)データ更新プラン:無効と表示されますのでご注意ください。

3-1 P.184手順「1-1 ～ 1-4」を行う

3-2 「My Yupiteru 設定」にタッチする



3-3 「ID 設定」にタッチする



3-4 My YupiteruのIDを入力し「設定」にタッチする



3-5 「パスワード設定」にタッチする



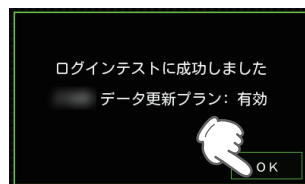
3-6 My Yupiteruのパスワードを入力し「設定」にタッチする



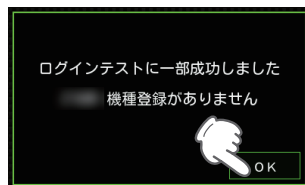
3-7 「ログインテスト」にタッチする



3-8 「OK」にタッチする



<My Yupiteru 有料会員の場合>



<My Yupiteru 有料会員ではない場合>

※ 失敗した場合は、My YupiteruのIDとパスワードを確認し、再度ログインテストを行ってください。

データのダウンロードについて

別売品

※ あらかじめ無線LAN (WLAN) 接続の準備を行ってください。(● P.184)

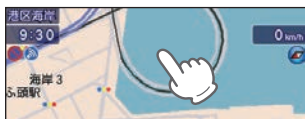
1. 自動でダウンロードする

あらかじめダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN接続が確立されていれば電源ONのたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。

※ 接続が確立されていれば、最初のデータ確認から約2時間ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新データの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。

※ 実写データは容量が大きいため自動ダウンロードはできません。実写データをダウンロードする場合は手動で行ってください。(● P.188)

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



1-3 [外部機器]にタッチする



1-4 [WLAN]にタッチする



1-5 [自動ダウンロード]にタッチする



1-6 自動ダウンロードしたい項目にタッチして[ON]にする

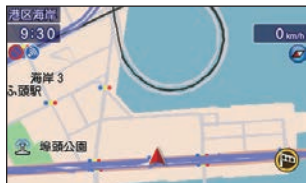


1-7 [EXIT]にタッチする

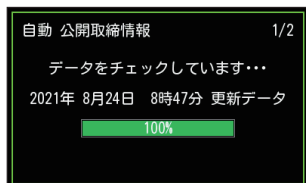


待受画面を表示します。

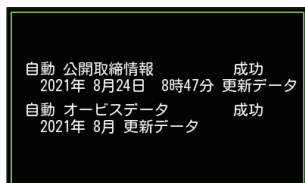
1-8 走行する



最新のデータがある場合、自動でダウンロード画面に移行します。



『ダウンロードを開始します』と音声でお知らせします。



『ダウンロードを終了しました』と音声でお知らせします。

※ ダウンロード終了後は自動で待受画面に戻ります。

2. 手動でデータをダウンロードする

※ 実写データはデータ量が大きいため、ダウンロードに時間がかかります。

※ 実写データは手動ダウンロードのみ可能です。

2-1 待受画面にタッチする



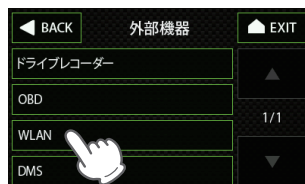
2-3 [外部機器]にタッチする



2-2 [設定]にタッチする



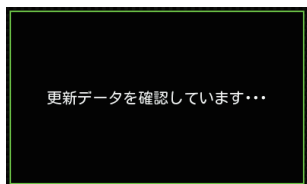
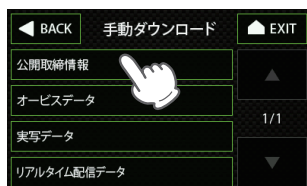
2-4 [WLAN]にタッチする



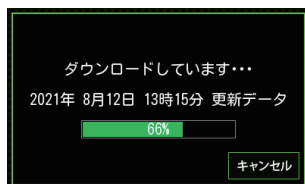
2-5 [手動ダウンロード]にタッチする



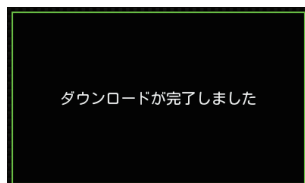
2-6 ダウンロードしたい項目にタッチする



最新のデータがある場合、自動でダウンロード画面に移行します。



『ダウンロードを開始します』と音声でお知らせします。



『ダウンロードを終了しました』と音声でお知らせします。

※ ダウンロード終了後は自動で前の画面に戻ります。

■ ダウンロード項目

項 目	ダウンロード制限	手動 ^{※1} (P.188)	自動 ^{※2} (P.187)
公開取締情報	制限なし	○	○
オービスデータ	My Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのityクラブの加入も必要です。)	○	○
実写データ	My Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのityクラブの加入も必要です。)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN経由の投稿	My_Yupiteru会員	○	—

※ 1 : My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、オービスデータ、実写データはダウンロードできません。

※ 2 : My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、オービスデータはダウンロードできません。

Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID を入力することで月間記録データを Google カレンダーに登録できます。

パソコンや端末(スマートフォンなど)を使用して Google カレンダー設定を行ってください。

- ① Google カレンダーを作成する
- ② Google カレンダーセキュリティを設定する (P.192)
- ③ Google カレンダー設定をする (P.195)

※ 別売品の OBDII アダプターと無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) が必要になります。別途ご購入ください。

※ あらかじめ無線 LAN (WLAN) 接続の準備を行ってください。 (P.184)

※ Google カレンダーのサービスは 2022 年 3 月現在では利用できますが、今後 Google 社のサービス変更やセキュリティ変更により、端末からのアクセスが出来なくなる可能性があります。本機からの永続的なサービス利用を保証致しかねますので、あらかじめご了承ください。

1. Google カレンダーを作成する

※ あらかじめお使いの Google カレンダーを使用する場合は新しくカレンダーを作成する必要はありません。
 P.192「Google アカウントのセキュリティを設定する」へ進んでください。

例：パソコンで設定する場合

1-1 Google にログインする



パスワードを入力し、Google にログインしてください。



1-3 + (他のカレンダーを追加) をクリックする

1-2 〰️ をクリックして[カレンダー]をクリックする



1-4 [新しいカレンダーを作成]をクリックする



1-5 カレンダーの名前を入力する



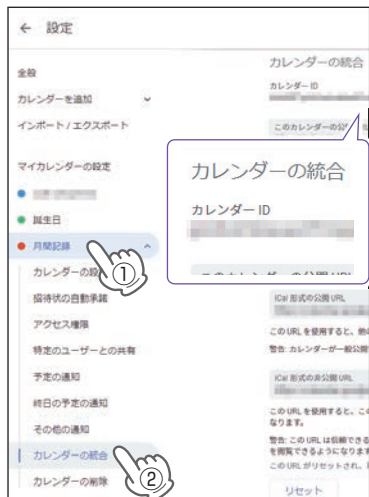
1-6 [カレンダーを作成]をクリックする



新しいカレンダーが作成されます。

1-7 作成したカレンダーをクリックして、[カレンダーの結合]をクリックする

※ 作成したカレンダーが表示されていない場合は左上にあるC(更新)をクリックしてください。



カレンダー IDを確認し、メモしてください。

※ 本機の登録が必要になります。必ずメモしてください。

2. Google アカウントのセキュリティを設定する

Google アカウントへのアクセスを許可するために、「2段階認証プロセス」「アプリパスワード」の設定を行ってください。

例：パソコンで設定する場合

2-1 Googleにログインする

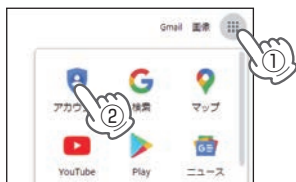


パスワードを入力し、Googleにログインしてください。

2-4 [使ってみる]をクリックする



2-2 設定アイコンをクリックして[アカウント]をクリックする



2-5 パスワードを入力し、[次へ]をクリックする



2-3 Googleへのログインの「2段階認証プロセス」をクリックする



- 2-6 コードを取得する、端末の電話番号を確認し、[次へ]をクリックする

← 2段階認証プロセス

電話番号の設定

使用する番号を選択してください。

Googleはこの番号をアカウントのセキュリティ確認にのみ使用します。Google Voice 番号は使用しないでください。データ送信料金がかかる場合があります。

コードの取得方法

☒ テキスト メッセージ ☐ 音声通話

他のオプションを表示

手順 1 / 3

次へ

- 2-7 端末へ送られたコードを入力し、[次へ]をクリックする

← 2段階認証プロセス

利用できるかの確認

このコードを入力して、2段階認証プロセスのテキストメッセージが送信されました。

コードを入力

受け取れなかった場合、再送信

戻る

手順 2 / 3

次へ

- 2-8 [有効にする]をクリックする

← 2段階認証プロセス

確認が完了しました。2段階認証プロセスを有効にしますか？

2段階認証プロセスの仕組みは以下のとおりです。お使いの Google アカウント @gmail.com で 2段階認証プロセスを有効にしますか？

手順 3 / 3

有効にする

← 2段階認証プロセス

2段階認証プロセスは 2022/05/11 より有効になっています

オフにする

利用できる 2 つ目の手順

パスワードの入力後、2 つ目の手順によって、ご自身のログインであることを確認できます。詳細

注: 2段階認証プロセスのうち 1 つの方法として、既登録スマートフォンで Google アカウントにログインした場合に Google からメッセージが利用できるようになります。

音声またはテキスト メッセージ (デフォルト) ③

確認コードはテキストメッセージで送信されます。

2段階認証が有効になります。

- 2-9 [←]をクリックする

← 2段階認証プロセス

2段階認証プロセスは 2022/05/11 より有効になっています

オフにする

- 2-10 Googleへのログインの「アプリパスワード」をクリックする

Google へのログイン

パスワード 最新の更新: 2021/12/16

2段階認証プロセス オン

アプリパスワード なし

Google による本人確認の方法

- 2-11 パスワードを入力し、[次へ]をクリックする

Google

ゆびてるたろう

@gmail.com

続けるには、まず本人確認を行ってください

パスワードを入力

パスワードを表示/非表示

パスワードをお忘れの場合

次へ

2-12 [アプリを選択]⇒[その他(名前を入力)]をクリックする



2-13 名前を入力し、[生成]をクリックする



※ お好みの名前をつけてください。
(例：RDのカレンダー)

2-14 アプリパスワードをメモする



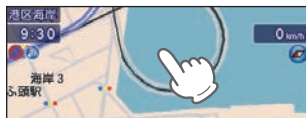
メモ後は、[完了]をクリックして終了してください。

※ 本機の登録で必要になります。必ずメモしてください。

※ アプリパスワードを忘れた場合は、手順
[2-10]から再作成してください。

3. Google カレンダー設定をする

3-1 待受画面にタッチする



3-2 [設定]にタッチする



3-3 [外部機器]にタッチする



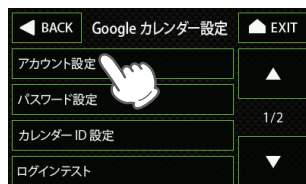
3-4 [WLAN]にタッチする



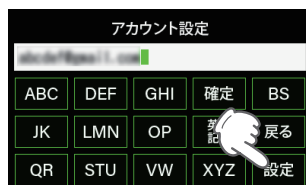
3-5 [Googleカレンダー設定]にタッチする



3-6 [アカウント設定]にタッチする



3-7 Google アカウントを入力し [設定]にタッチする



※ @マーク以降も入力してください。
※ 入力したGoogleアカウントはカレンダーID設定に反映されます。

3-8 [パスワード設定]にタッチする



3-9 アプリパスワードを入力し [設定]にタッチする



※ P.194手順「2-14」でメモしたアプリパスワードを入力してください。

3-10 [カレンダー ID 設定]にタッチする

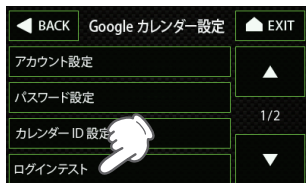


3-11 カレンダー IDを入力し、[設定]にタッチする

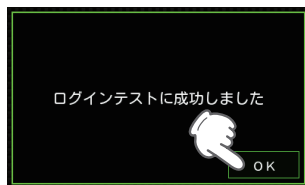


☞ P.191 手順「1-7」でメモしたカレンダー ID を入力してください。
※ 初めからあるカレンダー ID を使用する場合は、Google アカウントがカレンダー ID になります。@ マーク以降も入力されているか確認してください。

3-12 ログインテストにタッチする



3-13 [OK]にタッチする



※ 失敗した場合は、画面表示を確認し、再度ログインテストを行ってください。

ログインに失敗しました
ネットワークに接続できません

カレンダーがありません
カレンダー ID を確認して下さい

ログインに失敗しました
ID とパスワードを確認して下さい

端末から Google カレンダー設定を行うこともできます。

本機と端末(スマートフォンなど)がテザリングで接続されている、または同じ無線 LAN 親機でネットワークに接続されている場合に QR コードを読み込むことで端末から Google カレンダー設定を行うことができます。

※ 設定できる項目は、[アカウント設定][パスワード設定][カレンダー ID 設定]です。

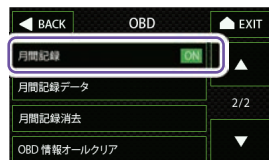
・QR コード表示手順

- ① ☞ P.195 手順「3-1~3-5」を行う
- ② [端末から設定]にタッチする



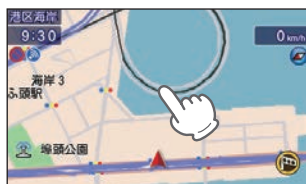
あらかじめGoogleカレンダーの準備 (P.190)、
月間記録を [ON] にして走行し、走行履歴を保存してく
ださい。(初期値: OFF)

「設定」⇒「外部機器」⇒「OBD」⇒「月間記録」



1. 自動でGoogleカレンダーに月間記録データを登録する

1-1 待受画面にタッチする



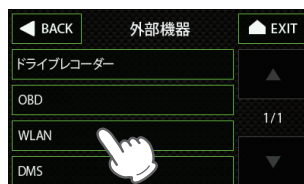
1-2 「設定」にタッチする



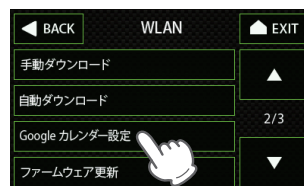
1-3 「外部機器」にタッチする



1-4 [WLAN]にタッチする



1-5 [Googleカレンダー設定]にタッチする



1-6 「カレンダー自動」にタッチし、ONにする



※ ネットワークに接続すると、画面が自動
で切り替わり登録を開始します。

2. 手動でGoogleカレンダーに月間記録データを登録する

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [設定]にタッチする



2-3 [外部機器]にタッチする



2-4 [OBD]にタッチする



2-5 [月間記録データ]にタッチする



2-6 [Googleカレンダー]にタッチする



※ 画面が切り替わり登録を開始します。

ファームウェアの更新について

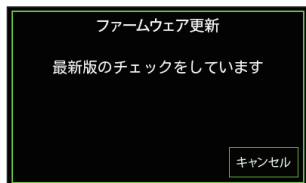
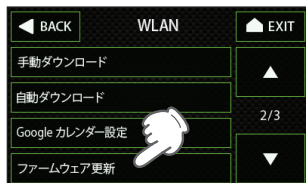
別売品

※ ファームウェアの更新中は電源OFFしないでください。

1. ファームウェアを更新する

1-1 ① P.197手順「1-1 ～ 1-4」
を行う

1-2 [ファームウェア更新]に
タッチする

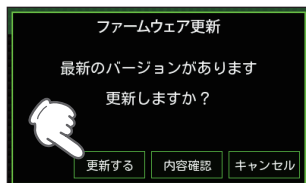


バージョン更新の有無を確認します。

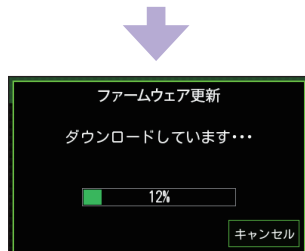
※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し、再度[ファームウェア更新]にタッチしてください。

※ 本機のバージョンが最新の場合は、「すでに最新です」と表示されます。

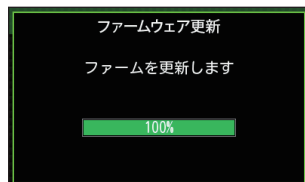
1-3 [更新する]にタッチする



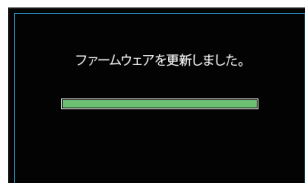
※ [内容確認]にタッチすると、ファームウェアの更新内容を確認できます。



データが確認され、ファームウェアのダウンロードが始まります。



ファームウェアの解凍が終了すると自動で再起動します。



データがチェックされ、ファームウェアが更新されます。

1-4 バージョンを確認する

② P.166「バージョン情報」でプログラム(ソフトウェアのバージョン)を確認してください。

※ ファームウェアの更新に失敗した場合は再度、手順「1-3」から行ってください。

専用ビューアソフトで再生する

カメラユニットで録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

OS : Microsoft Windows 11、10

CPU : Intel Core i3、2.7GHz 以上

メモリ : 4GB 以上

(2022年7月現在)

- ※ CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
- ※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
- ※ WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer TypeN] アイコンをダブルクリックする

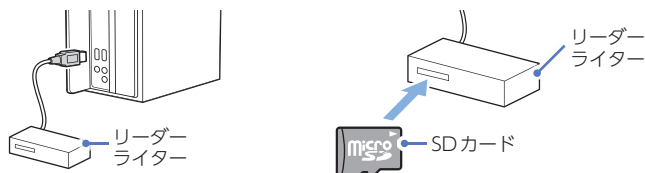


専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する

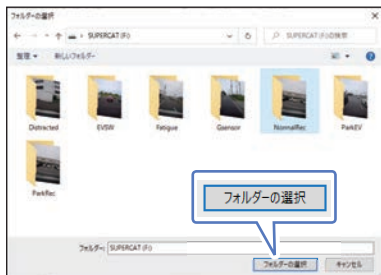


※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

3-2 (フォルダを選択)をクリックする



3-3 接続したSDカードのフォルダを選択し、[フォルダーの選択]をクリックする

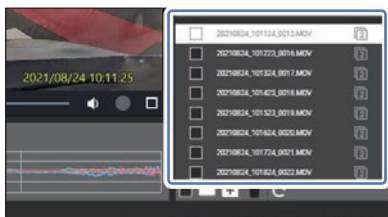


- ・フォルダ名について
常時録画：NormalRec
Gセンサー記録：Gsensor
ワンタッチ記録：EVSW
DMSわき見記録：Distracted
DMS居眠り記録：Fatigue
駐車監視録画：ParkRec
駐車監視イベント記録：ParkEV

※ イベント記録がない場合、イベント記録のフォルダは生成されません。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-4 録画ファイルをダブルクリックする



選択した録画ファイルを再生します。

※ 別売品のリアカメラユニット (OP-CM203) 接続時のみ、リアカメラの映像も自動で表示されます。
(別ウィンドウ表示)

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の✕をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



＜標準表示(フロントカメラ)＞



＜標準表示(リアカメラ)＞



＜全画面表示(フロントカメラ)＞

※ 別売品のリアカメラユニット(OP-CM203)接続時のみ、リアカメラの映像も自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

No.	表示名	説 明		
①	ソフトウェア名称	専用ビューアソフトの名称を表示します。		
②	ファイル コントロール		再生 /一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。 ※ 再生画面をクリックでも再生/一時停止できます。
			前フレーム	クリック毎に1フレーム前の映像を表示します。
			静止画保存	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGファイル)に変換して保存します。
			次のフレーム	クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。
			前のファイル	前の録画ファイルを再生します。
			次のファイル	次の録画ファイルを再生します。
			再生速度を 下げる	クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ~ 0.3倍速)
			再生速度を 上げる	クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ~ 4.0倍速)
③	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
④	バージョン情報	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
⑤	再生時間	再生中の現在時間/全体時間を表示します。		
⑥	タイムライン	クリック位置から再生できます		
⑦	音量	アイコンクリックでミュートON/OFFできます。 アイコンにカーソルを合わせると音量バーが表示され、左右操作で音量を調整できます。		
⑧	—	本機では使用しません。		
⑨	全画面表示	全画面表示になります。		
⑩	記録日時	記録した日時を表示します。		
⑪	メニュー		全て選択	全てのファイルにチェックを入れます。 ※ ファイルを個別に選択する場合は、ファイル名の左側チェックボックスをクリックしてください。
			フォルダを 選択	フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。
			ファイルを 選択	1ファイルを再生リストに追加します。
			削除	チェックが入った録画ファイルを再生リストから削除します。
			全てループ	ループ(繰り返し)の動作を切り替えます。  : 再生リストループ再生します。
			1ファイル ループ	 : 1ファイルをループ再生します。
			ループしない	 : 再生リスト最後の録画ファイルを再生後、停止します。

No.	表示名	説 明		
⑫	再生リスト	録画ファイルの録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 フロント+リアカメラには  が表示されます。 ※ ファイル名の詳細は  P.206を参照ください。		
⑬	緯度経度	GPS で記録した緯度経度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑭	走行速度	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑮	標高	GPS で記録した標高を表示します。(単位:メートル(m)) ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑯	地図	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。		
⑰	再生速度	再生速度を表示します。(0.3 ~ 4.0 x)		
⑱	プログラム	—	最小化	ウィンドウを最小化します。
		□	最大化 /元に戻す	ウィンドウを最大化/元に戻します。
		×	閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑲	ミラー表示切り替え	リアカメラの映像を左右反転します。		

MEMO

[illegible]

録画ファイルの読み出しについて

カメラユニットで録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 11、10

CPU : Intel Core i3、2.7GHz 以上

メモリ : 4GB 以上

(2022年7月現在)



※ CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時動作等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※ 対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※ 本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

※ 本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※ 推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※ CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20210801 _ 123456 _ 0001R . MOV — 動画形式

記録日(年月日) 記録時間(時分秒) ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます)

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード	NormalRec(常時録画)	20210801_123456_0001.MOV
	Gsensor(Gセンサー記録)	20210801_133456_0002.MOV
	EVSWE(ワンタッチ記録)	20210801_143456_0003.MOV
	Distracted(DMSわき見記録)	20210801_143456_0004.MOV
	Fatigue(DMS居眠り記録)	20210801_143456_0005.MOV
	ParkRec(駐車監視録画)	20210801_143456_0006.MOV
	ParkEV(駐車監視イベント記録)	20210801_143456_0007.MOV

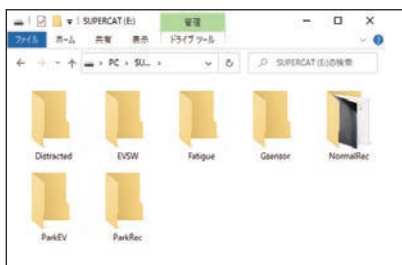
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



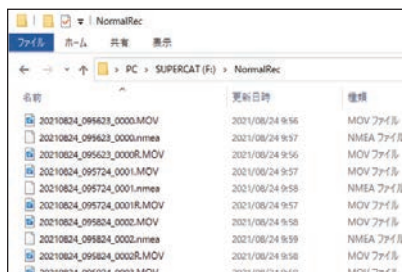
※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



- ・フォルダ名について
常時録画：NormalRec
Gセンサー記録：Gsensor
ワンタッチ記録：EVSW
DMS わき見記録：Distracted
DMS 居眠り記録：Fatigue
駐車監視録画：ParkRec
駐車監視イベント記録：ParkEV

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



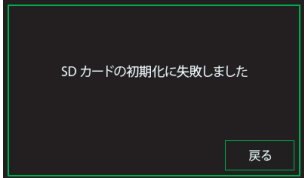
- ・「.nmea」ファイルについて
GPSの位置情報やGセンサー情報などが記録されているファイルです。削除すると、専用ビューアソフトで走行速度などが表示されなくなります。

Windows 標準の「映画&テレビ」または「Windows Media Player」で再生することができます。

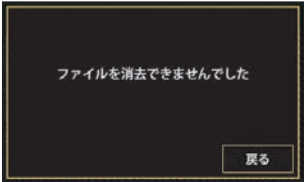
こんなときは

ディスプレイユニットやカメラユニットに異常などがあった場合に音/画面でお知らせします。

※ 本機でSDカードフォーマットを行っても、SDカードエラーが頻繁に起こる場合は、SDカードの寿命の可能性があります。新しいSDカードに交換してください。

ディスプレイユニット	音
 SDカードを挿入してください (SDカードを挿入してください)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』
 SDカードエラー (SDカードエラー)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』
 SDカードがいっぱいです (SDカードがいっぱい)  イベント領域がいっぱいです (イベント領域がいっぱいです)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』
 ドライブレコーダー異常 (ドライブレコーダー異常)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』
 SD カードの初期化に失敗しました 戻る (SDカードの初期化に失敗しました)	♪『ピロッ』

	対処方法
	☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていないときなどは録画を開始できません。 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFし、カメラユニット用SDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.88)
	☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 ☐ 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(● P.15) ※ フォーマットを行うと保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから本機でフォーマットしてください。
	☐ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。(● P.36) ☐ 録画ファイルを削除してください。(● P.110) ※ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。 ☐ 保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは上書きできません。保護を解除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてしてください。(● P.15) ※ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。
	☐ カメラユニットの動作温度範囲を超えています。しばらく時間を置いて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
	☐ カメラユニット用SDカードの容量は下記の対応範囲内ですか。 記録媒体：microSDHCカード 容量：8~32GB SDカードスピードクラス：Class10以上 ☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 ☐ カメラユニット用SDカードをパソコンなどの機器に接続してSDカードが認識できるか確認してください。 認識できない場合は、本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(● P.15)

ディスプレイユニット	音
 (ファイルを消去できませんでした)	♪『ピロッ』
 (DR 接続エラー)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』
 (SDカードを挿入してください)	—

	対処方法
	☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。 ☐ 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(● P.15) ※ フォーマットを行うと保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから本機でフォーマットしてください。
	☐ カメラユニットケーブルが外れていないか確認してください。
	☐ ディスプレイユニット用SDカードが挿入されているか確認してください。 ディスプレイユニット用SDカードが挿入されていないと使用することができません。 また、データの破損等は有償での交換となります。弊社お客様ご相談センターまでご連絡ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

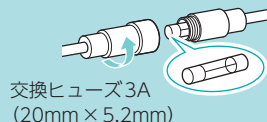
電源がONにならない

☐ 電源スイッチがONになっていますか。(☛ P.82)

☐ 電源コードが外れていませんか。

☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出してください。



☐ 付属のディスプレイユニット用SDカード(SDカードアダプター / microSDカード)を装着していますか、または抜けかけていませんか。

本機は付属のディスプレイユニット用SDカード(SDカードアダプター / microSDカード)を装着していないと起動しません。

☐ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。

初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

電源がOFFにならない(駐車監視録画[OFF]の場合)

☐ OBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。

車両停止(ACC OFF)してから本体が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。

OBDIIアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

電源がOFFにならない(駐車監視録画[ON]の場合)

☐ 車両停止(ACC OFF)後、駐車監視録画になります。

強制的に電源OFFする場合は、ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにしてください。

OBDIIアダプターを接続中に突然電源OFFになった

☐ OBDIIアダプターのコネクタが外れていないか確認してください。

車両の振動等によってコネクタが緩むことがあります。

画面が常に暗い

☐ フレックスディマーの設定で[照度センサー+衛星情報]に設定すると、設置場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を[衛星情報]にしてご使用ください。

何も表示しない

☐ 待受画面が[OFF]ではありませんか。

待受画面を変更してください。(☛ P.113)

音が出ない

- ☐ 音量[0]になっていませんか。
[音量+]にタッチし音量を調整してください。(👉 P.84)

GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

レーダー警報しない

- ☐ 電源 ON になっていますか。
- ☐ 取締レーダー波が発射されていませんか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ マイキャンセルエリア登録した場所ではありませんか。
- ☐ アイキャンセルしていませんか。
- ☐ レーダー受信感度が[AAC/ASS]または[AAC/SE]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。

レーザー警報しない

- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部付近に障害物はありませんか。
アンテナユニットのレーザー受光部が隠れていると、レーザー光を受けることができず警報できません。
- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(👉 P.151)
- ☐ レーザー受信感度が[AAC 有効]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

ひんぱんにレーザー警報する

- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(● P.151)
- ☐ レーザー受信感度を[AAC有効]にしてください。(● P.157)
時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では受信する場合があります。

地図がズレる

- ☐ GPS測位していましたか。障害物や遮へい物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- ☐ マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締もしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器

マイクロ波のドップラー式自動ドア/防犯センサー/自動販売機の人感センサー/自動車用先進運転支援システム/信号機の近くに設置されている車両通過計測器/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー/航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部/まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS警報する

- ☐ 道路選択の設定を[オール]でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(● P.171)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、[一般道]に設定された場合もGPS告知されます。

ひんぱんに無線警報する

- ☐ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

取締現場なのに 350.1 MHz を受信しない

- ☐ 取締無線を [ON] に設定していましたか。
- ☐ 取締現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

警報の途中で警報音が小さくなる

- ☐ レーダー波/レーザー光の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(● P.145「オートクワイアットについて」)

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

Google カレンダー設定ができない

- ☐ 別売品のOBDIIアダプターを接続していますか。
Google カレンダー設定をする場合、別売品のOBDIIアダプター (● P.21) が必要になります。

Google カレンダー設定のログインテストに失敗する

- ☐ Google アカウントのセキュリティ「2段階認証プロセス」「アプリパスワード」の設定を行っていますか。(● P.192)

わき見・居眠り運転警報器の誤報が多い

- ☐ キャリブレーション範囲内に本体を取り付けていますか。(● P.42)
- ☐ 笑っていませんか。
笑っているときなど、目が小さくなっているのを検知してしまう場合があります。
- ☐ 右左折時や駐車時による顔の動きを検知し、警告する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は誤報の原因となる場合があります。
- ☐ 1台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。(● P.43)
- ☐ マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが隠れていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。

わき見・居眠り運転警報器が警告しない

- ☐ 運転者が顔検知範囲内にいますか。(● P.42)
- ☐ キャリブレーションをしましたか。(● P.43)
キャリブレーションを行っていない場合警報しません。
- ☐ 片目だけ閉じていませんか。(● P.44)
居眠り警報は両目を約1秒以上閉じている状態を検知します。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は正しく警報しない場合があります。
- ☐ マスク、眼帯などをしていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。
- ☐ 本体のカメラに結露はありませんか。
本体のカメラに結露があるとキャリブレーションできない場合があります。水滴が付いた場合は拭き取ってください。
- ☐ 1台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。(● P.43)
- ☐ 駐停車中、または約10km/h未満で走行中ではありませんか。
駐停車中、または約10km/h未満での走行中は、本機のフィルタリング機能がはたらき警告を行いません。

無線LAN接続に失敗する

- ☐ アクセスポイントのSSID名に「ひらがな」が含まれていませんか。
SSID名に「ひらがな」が含まれている場合、文字化けして接続できない場合があります。
「ひらがな」を削除し、再度無線LAN接続を行ってください。

映像が記録できない

- ☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。
- ☐ 自動録画開始の設定が[OFF]になっていませんか。(● P.166)
[ON](● P.167)にするか、DR操作の[録画開始]にタッチして録画を開始してください。
- ☐ 手で録画を停止していませんか。
DR操作の[録画停止]にタッチして録画を停止した場合、自動録画開始の設定が[ON]で待受画面を表示しても自動で録画を開始しません。DR操作の[録画開始]にタッチして録画を開始してください。
- ☐ ドライブレコーダー設定変更や録画ファイルを再生していませんか。
ドライブレコーダー設定時/再生時は自動で録画停止になるためその際は録画をすることはできません。
- ☐ 保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは上書きできません。保護を解除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットすることで録画ファイルを全て削除することができます。
保護したファイルには、ファイル選択画面上で  アイコンを表示します。(● P.109)

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。(● P.32)

カメラユニット用SDカードに録画ファイルが保存されない

- ☐ 録画ファイルのバックアップ等を行い、本機でSDカードをフォーマットしてください。
- ☐ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属品以外のSDカードを使用する場合は、初回起動時に必ずフォーマットしてください。(● P.15)

再生時に音が出ない

☐ 音声録音 [ON] になっていますか。(👉 P.167)

☐ 駐車監視録画をしていませんか。

駐車監視録画中は音声録音されません。(👉 P.38)

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

☐ 「.nmea」ファイルを削除していませんか。

録画ファイルと同じフォルダにある「.nmea」ファイル内に情報が保存されています。削除しないようにしてください。

☐ インターネットに接続されていますか。

インターネットに接続されていない場合、地図 (Google Maps) は表示されません。

☐ GPS 測位していましたか。

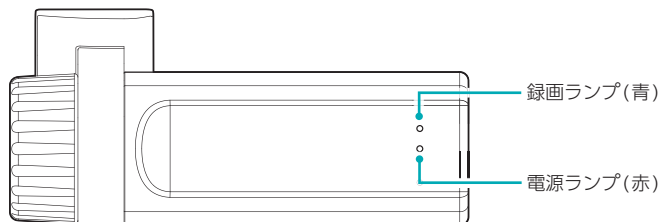
録画ファイルに GPS データがない場合、地図 (Google Maps) は表示されません。

☐ 駐車監視録画をしていませんか。

駐車監視録画中は、「.nmea ファイル(👉 P.38)」が作成されないため、再生時に地図などは表示されません。

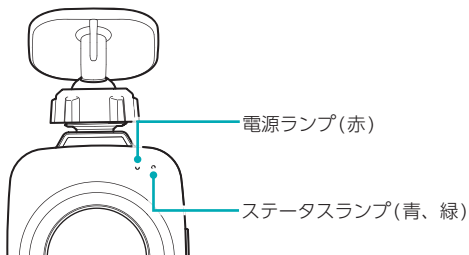
動作一覧

■ フロントカメラユニット



動作状態	ランプの状態 録画ランプ(青) / 電源ランプ(赤)	参照ページ
録画準備中 / 録画停止中	(青) : 消灯 (赤) : 点灯	—
常時録画中	(青) : 点灯 (赤) : 点灯	☞ P.32
駐車監視録画中	(青) : 遅点滅 (赤) : 点灯	☞ P.33
イベント記録中	(青) : 早点滅 (赤) : 点灯	☞ P.34、35
異常時	(青) : 消灯 (赤) : 早点滅	☞ P.208
電源OFF	(青) : 消灯 (赤) : 消灯	—

■ DMSユニット(OP-EWS3) 別売品



動作状態	ランプの状態	参照ページ
キャリブレーション中	電源ランプ(赤) : 点灯 ステータスランプ(青) : 点灯	☞ P.43
ドライバー モニタリング中	電源ランプ(赤) : 点灯 ステータスランプ(緑) : 点灯	☞ P.44
電源OFF	電源ランプ : 消灯 ステータスランプ : 消灯	—

地図データ

背景地図(Top,Middle,Base)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第44条に基づく成果使用承認) [2020年3月発行データ使用]
- ・©2020 INCREMENT P CORPORATION

詳細背景地図(City)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第44条に基づく成果使用承認) [2020年3月発行データ使用]
- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平30情使、第256号-55号)
- ・このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第320号-55号)
- ・上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL : https://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2020_2.pdf
- ・©2020 INCREMENT P CORPORATION

道路ネットワーク

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第44条に基づく成果使用承認) [2020年3月発行データ使用]
- ・©2020 INCREMENT P CORPORATION

仕様

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)	
消費電流	待機時：420mA(初期値) 最大時：560mA 駐車監視時：170mA	別売品併用時(OP-CM203/OP-EWS3) 待機時：650mA(初期値) 最大時：780mA 駐車監視時：230mA
受信方式	GPS部：32チャンネル/パラレル受信方式 レーダー部：スweepオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	
測位更新時間	最短0.5秒	
表示部	液晶ディスプレイワイド3.0インチ	
受信周波数	GPS部：1.6GHz帯	
	レーダー部：Xバンド/Kバンド	
	UHF部：336～470MHz帯	
	VHF部：154～163MHz帯	
動作温度範囲	ディスプレイユニット：-20℃～+85℃(UHF/VHF部：-10℃～+60℃)	
	カメラユニット：0℃～+60℃	
外形寸法	ディスプレイユニット：97(幅)×53(高さ)×14(奥行)mm(突起部除く)	
	アンテナユニット：84(幅)×21(高さ)×49(奥行)mm(突起部除く)	
	ジャンクションユニット：110(幅)×18(高さ)×50(奥行)mm(突起部除く)	
	フロントカメラユニット：104(幅)×35(直径)mm(突起部除く)	
	※取付ブラケット(テープ貼付)装着時50(高さ)mm(窓ガラス25°想定の場合)	
本体重量	ディスプレイユニット：約133g(接続ケーブル、SDカード含む)	
	アンテナユニット：約128g(接続ケーブル含む)	
	ジャンクションユニット：約70g	
	フロントカメラユニット：約73g(microSDカード含む)	
製品保証期間	3年(消耗品は除く)	

■ ドライブレコーダー機能

カメラユニット用 記録媒体	microSDカード(16GB付属) 8GB～32GB(Class 10以上)
撮像素子	200万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ²)
レンズ画角	対角 157°
最大記録画角※ ¹	対角 157° (127° (水平)、66° (垂直))
記録解像度	最大200万画素
	1080P HD (1920×1080) / 720P (1280×720)
F値	2.0
GPS	有
Gセンサー	有 (感度設定可能)
HDR	有
記録方式	常時録画 / 駐車監視録画 / イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録 ＜手動録画＞、DMS わき見記録※ ³ 、DMS 居眠り記録※ ³)
録画ファイル構成	1分単位、30分単位※ ⁴
音声録音	ON / OFF 可能
フレームレート	30コマ/秒、15コマ/秒、1コマ/秒※ ⁴
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法※ ⁵	・専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows 標準の「映画＆テレビ」または「Windows Media Player」

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※ 2：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※ 3：別売品のDMSユニット(OP-EWS3)接続時のみ。

※ 4：駐車監視録画中のみ。

※ 5：Microsoft Windows11、10に対応。

別売品：リアカメラユニット(OP-CM203)	
撮影素子	200万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※2)
レンズ画角	対角 157°
最大記録画角※1	対角 157° (127° (水平)、66° (垂直))
F 値	2.0
HDR	有
外形寸法	57(幅)×30(直径)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 39(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	約 30g

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※ 2：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

別売品：DMS ユニット(OP-EWS3)	
キャリブレーション範囲	上下：± 15° 左右：± 15°
動作温度範囲	− 10℃ ~ + 60℃
外形寸法	51(幅)×68(高さ)×32(奥行) (突起部除く)
本体重量	約 45g

別売品：マルチバッテリー (OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子 B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0 ~ 45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm (突起部除く)
本体重量	約 950g (内蔵電池含む)

・オープンソースソフトウェア

zlib

本製品は ZIP ファイルのデコードに「zlib」を使用しています。

・ゾーン30のデータについて

本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を使用しています。本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

カメラユニット用SDカード対応一覧表

- ※ 本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
 ※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
 ※ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
 ※ 容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

■ フロントカメラユニットのみ

microSD カード容量	通常時			
	1080P HD 30FPS(初期値)	1080P HD 15FPS	720P 30FPS	720P 15FPS
32GB	約280分	約440分	約360分	約520分
16GB(付属)	約140分	約220分	約180分	約260分
8GB	約70分	約110分	約90分	約130分

microSD カード容量	駐車監視録画時	
	1080P HD(初期値)	720P
32GB	約140時間	約180時間
16GB(付属)	約70時間	約90時間
8GB	約35時間	約45時間

■ フロントカメラユニット+リアカメラユニット(OP-CM203) **別売品**

microSD カード容量	通常時		
	F1080P HD R1080P HD 30FPS	F1080P HD R1080P HD 15FPS	F1080P HD R720P 30FPS(初期値)
32GB	約140分	約220分	約160分
16GB(付属)	約70分	約110分	約130分
8GB	約35分	約55分	約40分

microSD カード容量	通常時		
	F1080P HD R720P 15FPS	F720P R720P 30FPS	F720P R720P 15FPS
32GB	約240分	約180分	約260分
16GB(付属)	約120分	約90分	約130分
8GB	約60分	約45分	約65分

※ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

2. イベント記録の最大記録件数

■ フロントカメラユニットのみ

microSD カード容量	※解像度による件数の変化はありません。
32GB	64件
16GB(付属)	32件
8GB	16件

■ フロントカメラユニット+リアカメラユニット(OP-CM203) **別売品**

microSD カード容量	※解像度による件数の変化はありません。
32GB	32件
16GB(付属)	16件
8GB	8件

※ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※ 1件につき1カメラで1ファイル、2カメラで2ファイル(フロント/リア)移動した場合。

※ 最大記録件数は、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMSわき見記録/DMS居眠り記録/駐車監視イベント記録を合わせた件数です。

MEMO

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features approximately 20 evenly spaced horizontal blue lines across the entire page, providing a guide for letter height and placement. The lines are consistent in color and thickness throughout.

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※ 修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・ 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ



0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ



0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
(<https://www.yupiteru.co.jp/>)